臺灣日日新報 夕刊
三月十一日
夕刊定價一部金三錢

我が提議を容れて交渉開始を受諾

討議範圍限定の留保付きで

支那側から回答來る

（上海十日發電通至急報）支那側は重光公使の提案を容れ討議範圍限定の留保付で交渉開始を受諾した

支那側の回答

【上海十日發電通】支那側は十日[illegible]重光公使に對し交渉開始の提議を[illegible]その回答を寄せて來た、支那政府は三月四日の聯盟總會において可決せる決議案を承認し居り、第三回決議案の規定に從ひ日本[illegible]

[illegible]日支交渉を開始する用意がある、但しそれは[illegible]が決議案を承諾するに際し[illegible]せる通り

一、新たな交渉は[illegible]の停止及び日本軍の完全なる撤退に關係する事項のみに限定し

二、この種の[illegible]につき何等條件を付せず

との諒解なるを要す、支那政府は既にゼネバの[illegible]を通して前記の目的及び諒解の下に交渉開始の用意ある事を發表せり、日本官憲に於てもこの事實を充分承知せらるる事と信ず、三月九日午後五時半ランプソン英公使を通して[illegible]の意向に於ても同樣交渉開始の用意あるを知り支那政府は茲に交渉開始の方法を商議する事とせり

急轉直下解決か

【上海十一日發聯合】[illegible]の決議が通告して日本と上海事件解決交渉を[illegible]日支間には急轉直下解決に向ふべしと[illegible]するに至つた

聯盟總會の決議案起草委員會で決定

全會一致は確實か

【ゼネバ十日發聯合至急報】決議案文は本日午後一時起草委員會で決定した、その内容は日支を含む總會の全會一致を見る事確實と云はる

可決された總會決議案

【ゼネバ十日發聯合】十一日の聯盟總會で可決された決議案の如し

聯盟加盟國に課せられた聯盟規約上の義務、特に總ての條約上の義務の嚴格な尊重、聯盟加盟國の領土保全と政治的獨立及び兩國間の總ての紛爭を平和的解決に委ねる義務は現在の日支紛爭に當嵌まると諒解される

聯盟理事會は十二ケ國理事會が二月十六日の對日アッピールに於て援用した十二月十日のブリアン議長宣言中に明示された原則を[illegible]しつゝ述べてゐる

國際間の紛爭の原則及び聯盟規約の[illegible]國間の紛爭解決の方法が聯盟規約と共に世界平和の機構の柱石の一たる不戰條約と完全に一致することを考慮に入れつつ、而して[illegible]の紛爭の段階的解決となるべき決定を期待しつつ、[illegible]は前記の原則及び手段の[illegible]を[illegible]し、[illegible]規約に反する方法で成立した如何なる状態も、如何なる條約も[illegible]

承認す[illegible]る用意なきことを宣言する日支紛爭の解決が一方の軍事的壓迫の下に行はるることは聯盟規約の精神に背反することを確言しつつ總會は昨年九月三十日及び十二月十日全會一致の[illegible]同意を得て理事會が採擇した決議を想起する、又總會は敵對的行爲及び日本軍の撤退に關し全代表國の同意を得て三月四日

本總會が採擇した決議を想起すると共に上海に特殊利益を有する聯盟國及び關係列國は如上の目的達成の爲め援助を與ふる

用意あ[illegible]ることを承認し關係列國は茲に希望された決議の[illegible]せしめんことを要請する、支那政府は一月二十九日聯盟規約第十五條に規定せる手續の適用を要請せる要求を提出し、又二月十二日聯盟規約第十五條第九項に基き紛爭を總會に要求せんことを總會に要求したので

總會は紛爭を取上げ、前記條項に規定された調停手續を適用し更に紛爭が解決せぬ場合は同條第四項を適用することを考慮して特別委員會を設置することに決定した、而して右委員會は總會議長を委員長とし紛爭當事國を除く十二理事國及び總會投票に依り選出された他の六ケ國代表を以て組織する

特別委員會の設置も決定さる

十日の起草委員會で

【ゼネバ十日發電通】聯盟總會決議起草委員會は九日追加提案をなしたエストニア、フインランド、スエーデンの三ケ國を加へて、十八ケ國代表出席の許に十日午後から開かれ、先づ特別委員會設置に就き審議の結果、左の

權限を[illegible]有する特別委員會を設置するに決定した

一、昨年九月三十日及び十二月十日の理事會決議の實行を監督すること

二、日支兩國間の紛爭解決を促進する目的で總會に提出すべき調停案を作製すること

三、常設國際司法裁判所に諮問する樣總會に對し提議するや否や[illegible]

四、必要と思惟する總ての緊急手段を提議すること

五、五月一日迄に可及的速かに上海の事件に關する第一報告を總會に提出すること

六、委員會が總會に提出する必要[illegible]

一般委員會十五日には開會

イーマン議長談

【ゼネバ十日發電通】議長イーマン氏は十四日中には日支兩國政府の回答を[illegible]から決議案に對する[illegible]に接し十五日午前十時から一般總會を開くだらうと語つた

日本にとつて重大な二項目

我が代表部政府に請訓

【ゼネバ十日發聯合】聯盟總會決議文は本日起草委員會で確定を見たが、決議成立には全會一致を要するので午後特派イーマン氏が日本代表部に内示した、決議案中

一、平和手段以外により生じたる如何なる新事態をも認めざる事

二、總會調査委員會が日支紛爭を終局的に解決する

の二項は日本に取り重大であるので代表部に右決議案文を直に政府に[illegible]

小委員會で協議

【ゼネバ十日發電通】聯盟總會起草委員會の[illegible]は全部で十一日の[illegible]十時から[illegible]

支那の宣傳は眉唾もの

【ゼネバ十日發電通】[illegible]伊國代表の上海からの[illegible]

大體に於て日本代表部滿足

字句が抽象的の爲

【ゼネバ十日發電通】日本代表部では起草委員會で可決された總會決議案は抽象的字句を用ひてゐるから、日本政府から重大な反對があるとは思はれぬと語つた、[illegible]

代表部でも決議案が日本軍の撤退に關し特に規定してゐないのは遺憾であるとしてゐるが、大體に於て滿足してゐる模樣である

委員會は[illegible]委員長、紛爭當事國を除く十二理事國代表及び總會投票に依つて選出される他の六ケ國代表合計十九名をもつて組織することとなつた

[illegible]十九條に[illegible]紛爭解決に至らざる時は規約第十五條四項に依り總會に[illegible]報告を用意することを[illegible]

蔣介石私かに前線を視察

具體的に停戰協定を考慮するに方針變更

【上海十一日發電通】[illegible]蔣介石は八日[illegible]前線を視察し[illegible]日本軍は[illegible]支那軍も[illegible]

新舊總督の事務引繼ぎ

十一日午前十一時から總督府總督室に於て新舊總督の事務引繼が行はれた（右南新總督左太田前總督）

英蘭銀行また利下げ

五分から四分に

【ロンドン十日發電通】英蘭銀行は十日公定歩合を五分から四分に引下げた、同行は去る二月十八日公定歩合を六分から五分に引下げ今度が二回目である

愛蘭中央銀行も利下げ

【ダブリン十日發電通】アイルランド自由國中央銀行は十日公定歩合を五分から四分に引下げた

丁抹中央銀行も引下げ

【コペンハーゲン十日發電通】デンマーク中央銀行は公定歩合を六分から五分に引下げた

米日爲替反撥

【ニューヨーク十日發電通】本日當地の米日爲替は俄然一弗方反撥し三十二弗三十七仙二分の一と引上げた

木原部長出府

人事問題で打合

【新竹電話】木原新竹州内務部長は十日出府、人事問題に[illegible]し打合

總會開會

議長に權限付與

【ゼネバ十日發電通】日支紛爭に關する聯盟臨時總會は[illegible]總會は開會せず議長は必要と認めた場合は何時でも[illegible]

必要に應じ

[illegible]支那の[illegible]は[illegible]ものと[illegible]の[illegible]となつてゐる

空軍、國防の兩委員會

一齊に開會さる

【ゼネバ十日發電通】軍縮會議は[illegible]軍委員會の專門家會議[illegible]空軍委員會及び國防委員會は十日午前十時から一齊に開かれた

開會する[illegible]を付與された

その日その日

○

上海の[illegible]地から日本軍を撤退してもよいとの意思表示は、芳澤外相としては[illegible]に重大事

○

斯りなると聯盟總會を[illegible]に[illegible]かした支那の外交戰が[illegible]く成功した形になり、無理が通る

○

むしろ今の日支はガッチリ組んで動きがとれぬ、水入れ代りの[illegible]表示も解決促進には役立たう

○

支那のヘタバリ方は一通りでない、然し誰も日支問題[illegible]解決をせひ出せない、大きな[illegible]だ

[illegible]の小國などに引摺られる[illegible]ではおすひだ、我が代表部には[illegible]以後に方策がないのか

○

政友會[illegible]に次いで[illegible]の[illegible]、[illegible]と[illegible]に統一國家への[illegible]取りを進めてゆく

○

この[illegible]の大勢は、金で動いてゐる[illegible]の[illegible]ではどうにもならぬ、[illegible]の[illegible]めずか

○

日本[illegible]もよいが、[illegible]な[illegible]して[illegible]りますねー

○

社會[illegible]は多少手間取つても[illegible]から改めて議會政治を手段として進む外ないでせう

○

公爵[illegible]の[illegible]、それが[illegible]政治の根本、[illegible]を[illegible]ふ[illegible]

社會人の[illegible]が[illegible]立つて飛び出す、[illegible]は[illegible]かつたが社會は少々[illegible]い、[illegible]され

に此目的に[illegible]したい

[illegible]止めしたが、からお客さんが[illegible]行しやバスに[illegible]れる[illegible]だ▲[illegible]一般の心[illegible]知らずといふやり方だ[illegible]は自分に[illegible]する[illegible]迷へなどを[illegible]ひ、且つ[illegible]

迎へや歡迎方法等についても時代の[illegible]を[illegible]んで大いに[illegible]を主張してゐる[illegible]である、[illegible]な[illegible]だがお互ひ考へねばならぬ事だらう。

人事

▲小栗前内務局長　十一日來[illegible]社、拜功神社其他[illegible]

▲二神駿吉氏（[illegible]社長）十一日南部へ

▲丸山浩太郎氏（[illegible]）十日夜行にて[illegible]

▲文留部次郎氏（[illegible]）十一日中南部へ

▲大井清[illegible]氏（[illegible]）十日來臺（鐵道ホテル）

會事

△[illegible]會　十三日午後七時より[illegible]で川柳同好者相寄り開く

無絃琴

[illegible]部長[illegible]三十四[illegible]を[illegible]して[illegible]石の[illegible]を[illegible]ひ入れ[illegible]もせずに[illegible]の[illegible]に[illegible]りつけて[illegible]み合つてみる、その[illegible]と云ふのが今に[illegible]ら[illegible]け出して[illegible]み付きさうな[illegible]だ、この[illegible]み合つてゐると[illegible]年から[illegible]きでも[illegible]共に[illegible]つてゐたのが反[illegible]に[illegible]が出て來るさうで一種の[illegible]だと[illegible]つてゐる、[illegible]たものさね▲大正三年以來の[illegible]だつた[illegible]も今回は立法に先き立[illegible]及[illegible]の[illegible]が[illegible]してゐるので、ものになりさうだから[illegible]の[illegible]が[illegible]いたのではなからうか▲[illegible]の人事に[illegible]内務大臣の[illegible]が[illegible]はれてゐるが[illegible]しもさうでなく[illegible]プロバーの[illegible]は相當重要な[illegible]を[illegible]してゐるやうに[illegible]は[illegible]を[illegible]てゐる、[illegible]から[illegible]をあけるものを見てをれば[illegible]だから▲九日[illegible]が[illegible]部では[illegible]のアットホームに[illegible]が下車して[illegible]を[illegible]一[illegible]のまま

美しい子供（二）

火の鳥

（38）

中村星湖作
吉本雅生畫

一緒に[illegible]へ行つてみやうといふ[illegible]が四人、津村氏と新城と[illegible]川と秋山とが、大[illegible]へ出てタクシイを拾ふと、それで[illegible]の[illegible]なる[illegible]な[illegible]で[illegible]をもするオテール・オウソヂヤまで行つて、夜中に目ざめて[illegible]の[illegible]るのを待つてゐた女の子のやうに可愛い[illegible]の初[illegible]年を連れ出した。

其時ちやうど、町から[illegible]に[illegible]りつめられた、物[illegible]かなパリの夜空に、から[illegible]として[illegible]のカリオン（[illegible]）がひゞき渡つた。

「あ、もう、[illegible]のクリスマスの儀式が始まるんだね？早く行かうよ。」

少年は、長い間[illegible]こがれてゐた[illegible]を[illegible]に[illegible]へられない

やうな[illegible]を[illegible]してゐた。[illegible]では[illegible]が行はれ、[illegible]の前では[illegible]の[illegible]で[illegible]たちの[illegible]や[illegible]があり、[illegible]えては[illegible]く[illegible]、[illegible]つたり[illegible]たりする人[illegible]は、すべて千九百三十[illegible]年の過去にこの世へ生れ出たあの偉大な救世主の誕生をことほぐ心の現はれに相違なかつたが、秋山に取つては、[illegible]神しいものには[illegible]はれなかつた。それらは[illegible]よりもむしろ[illegible]の[illegible]だつた。[illegible]の子の[illegible]は[illegible]の[illegible]の[illegible]一[illegible]だつたからかも知れなかつた。

「[illegible]の[illegible]ではある、かび臭いやうな、[illegible]げたやうな……」

さう云つたのは新城だつた。

「しかし、から[illegible]のなかに、少年時代から育てられたものは、また違つた[illegible]を受けるだら

[illegible]れた。

ものやうに、[illegible]の[illegible]を[illegible]りは

「どこの教會がよからう？」と津村氏は誰へともなく云つた。

「ここから一番近いのは」と新城が答へた。「アレジアの地下鐵の入口わきにある教會だよ。」

「さう、あの、三角の街かどに立つてゐる大きな教會…」

秋山もその教會を知つてゐた。[illegible]かれは、以前その教會の[illegible]が大へん有名だから聞きに行かないかとイルマ[illegible]にさそはれて一緒にそこに行つたことのあるのを思ひ出した。

それと同時に、小[illegible]が[illegible]つてやしないか、せめて[illegible]のうちに、子供への[illegible]り物でも[illegible]する[illegible]があつたらよかつた、と[illegible]。

間もなく[illegible]は、[illegible]に[illegible]つて[illegible]く[illegible]た[illegible]のある、石[illegible]の大きな教會の入口の[illegible]を[illegible]つて、押せば[illegible]かに[illegible]く[illegible]なドアの[illegible]からなか[illegible]は一ぱいにつまつて、[illegible]けられない人々は[illegible]のかげや、[illegible]り[illegible]や、[illegible]は[illegible]に[illegible]んでゐた。[illegible]の[illegible]のあたりは、[illegible]大小の[illegible]の光や、香[illegible]から[illegible]のほる[illegible]で[illegible]づまるやうな、[illegible]のわるい

さう言つたのは津村氏だつた。

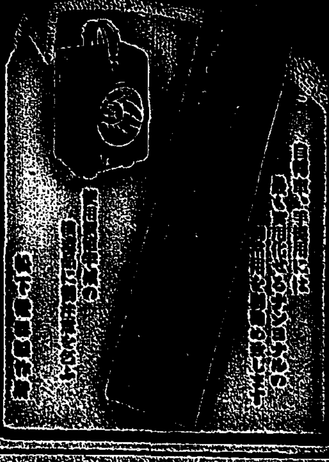
「さうだよ、[illegible]に佛教の儀式がある[illegible]を[illegible]へるやうにね」と新城はつづけた、「だが、[illegible]としては東洋の[illegible]の方に[illegible]い物があると[illegible]は思つてゐる。」

「[illegible]い？さうだな。」と云つて津村氏は[illegible]へるやうな[illegible]をした。

「[illegible]は一[illegible]に、[illegible]に[illegible]いところで[illegible]を分けてゐる、が、佛教はさうでないのだ、[illegible]ま[illegible]で行つて、無[illegible]のものを[illegible]んでゐる。[illegible]的と見えるのもそのためだ」

秋山は、さういふ問答に[illegible]いて[illegible]く考へた[illegible]はなかつたので、[illegible]つてゐるより外はなかつた。ただ、新城が[illegible]ゆづりの財産を[illegible]つて海外[illegible]の[illegible]に出る前に、[illegible]や[illegible]山に[illegible]つたことのあつたのを知つてゐるかれは、新城が[illegible]に[illegible]といふやうな[illegible]に興味を持ち、[illegible]子のやうな女を[illegible]として「生活[illegible]し、[illegible]する」ことを[illegible]したのも[illegible]にかれの性[illegible]からばかりでなくて今云つたやうな[illegible]的の[illegible]があつたためであらうと[illegible]つた。

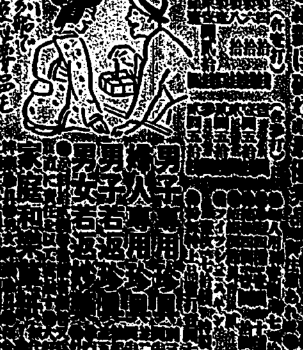
電氣治療法
[illegible]



（株） 洋傘 （印） 日
（製造卸）
大阪市東區北久太郎町
合資會社 横田商店

男女
[illegible]

月やく
[illegible]



無効返金 別府温泉で出來た[illegible]
別府湯の花
特約店募集
[illegible]

滿洲國の大舞臺に

登場する人々(上)

數奇な運命から更生した溥儀氏

奉天にて　小濱生

東亞の一角に彗星の如く現はれた大滿洲國は、世界地圖に大變革を與へ、一大センセーションを起して大同元年三月一日完全に獨立した、今や滿蒙の天地は、世界の樂土として、更生の意氣に燃ゆる中に着々人國家としての道程を辿りつつあるのだ。顧みれば昨年九月、暴戻なる東北軍が我滿鐵線を爆破して以來、僅かに半歳にして今日の如き獨立を見た此半面には、幾多同胞の血と汗が深き滿蒙の曠野を染めた結果である事を永遠に忘れる事は出來ない。と共に、此機會に於て、斷然目醒めた東北人の熱烈なる心情が今日の新國家を形成したのである。北滿洲の舞臺に立つて、我友邦吾人の激勵を受け、新國家獨立の大芝居を見事に打つた新政府登場人物に就て語らう

◇

先づ民意によつて、思ひ出深い滿洲國執政として推戴された溥儀氏こそ、清朝の末帝宣統帝たるは周知の事實。而して二十七歳の若き執政は御年三歳にして帝位につかれたが、生れながらに數奇な運命に翻弄された、宣統帝は光緒帝の崩御や、帝位を繼ぎ合ひの醜い暗闘の裡に治世を重ね、清朝三年秋十月十日、革命勃發に追はれ、在位僅かに三年、退位を餘儀なくされ、北京に於て清朝三百年の輝しい歴史は、革命の反逆兒によつて蹂躙された、而かも尚生々しい、そして悲しい其月々を紫禁城奥深く、僅かな側近者と共に送つた、民國十一年十七歳の時、直隸省東北道[illegible]氏の女、婉容姫を妃として迎へられ、遣る瀬ない思ひを切めても、美しい妃の宮の慰めと、學問修業によつて忘れて居たのである

◇

斯くて數年、悲しい歳月は無情に流れて、十三年秋、北京にクーデターを斷行した馮玉祥は、國民軍をして、無謀にも宮殿を包圍せしめ、強制的に帝の宮城退出を迫つたのである。帝は逃がれる[illegible]の無謀をも咎め得ず、[illegible]の部落[illegible]ちにも似た姿となつて、妃の宮を伴ひ、ある夜秘かに我北平公使館に逃れ、手厚い保護を受くること三ヶ月、翌十四年二月二十六日[illegible]び危險は身邊に迫つて、[illegible]も三萬軍の苦力にまぎれて天津に脱出し、大和ホテルから[illegible]ひの[illegible]の月を眺めつつ一陽來復の春を待望されてゐたが、今回計らずも新國家獨立と共に、三千萬民衆の希望を擔ひ推戴の[illegible]は[illegible]としてたかまり、帝は一市民となつて清朝三百年の發祥地たる思ひ出の滿洲に、新國家の執政元首として迎へられたのだ。恐らく宮殿から脱出してから新生の日を踏みて、そぞろ感慨深いものがあらうと察せられる

◇

氏の趣味は斯の如き、むしろ悲惨な運命に囚はれて大となつたが現在の氏は快活にして、殊にスポーツに就ては殊の外造詣深く、特にテニス、ゴルフに至つては一門の選手も裸足といふ腕の所有者だといふ分けでゴルフは殊に氏の好むところで、クラブの二段とまでなつて熱心に研究されてゐるといふ

◇

何れにしても春は寒さを凌ぐ臘の枯木にも惠みを與へて、今や[illegible]たる花は見事に綻びんとして居るのだ、[illegible]の梅花を喜び、梅花に似た貴顯の身の上にも惠みの光は燦として輝いて居る(寫眞は溥儀氏夫妻)

滿洲問題の特殊性は理解

サイモン、イーマン ボンクール氏述ぶ

わが代表との會見に於て

【ゼネバ十日發電通】十日の總會閉會後、松平大使はサイモン英代表を、佐藤代表はイーマン總會議長及びボンクール佛代表を訪問して、決議中にある日本に不滿の點を擧げて懇談を遂げたが、サイモン、イーマン、ボンクール三氏は小國側の強硬の態度を抑へて漸く今回の會議を此處まで指導し來つた苦心を述べ、決議の中には日支紛爭全般について解決を試みんとする事が含まれてゐるが、吾々は事實上滿洲問題の特殊性については充分な理解を持つてゐると述べ、決議案中に隨所に支那側を諫める文句あるを指摘し、總會においては全會一致で決議案を可決したいと希望した

陣容を整へた滿洲國首腦

新興の意氣に燃えて

新國家滿洲國は大同元年三月一日(昭和七年三月一日)呱々の聲をあげ、三月九日盛々しく建國の式典を執行したが、執政以下院長閣員の顔觸れは次の如くである

執政　溥儀

國務院

國務總理　鄭孝胥

[illegible]　臧式毅

民政部長　臧式毅

同次長　[illegible]

外政總長　謝介石

軍政總長　馬占山

同次長　王靜修

財政總長　熙洽

同次長　孫其昌

實業總長　張燕卿

交通總長　丁鑑修

司法總長　馮涵淸

立法院長　趙欣伯

監察院長　于沖漢

參議府議長　張景惠

謝總長から謝電來る

本社の祝電に對して

滿洲國の外政總長に就任した謝介石氏に對し本社より祝電を送つたのに對し同氏より次の謝電を寄せて來たが、臺灣に於ける友人知己の好意につき深く感謝してゐる模樣である

臺灣に於ける親友各位より懇切なる御祝電を拜受し感謝に堪へず、就任匆々多忙極まり一々返電いたし兼ね勝手ながら貴紙を通じ各位の御好意を謝し併せて御健康を祈る

滿洲國政府外政總長　謝介石

侍從長　張海鵬

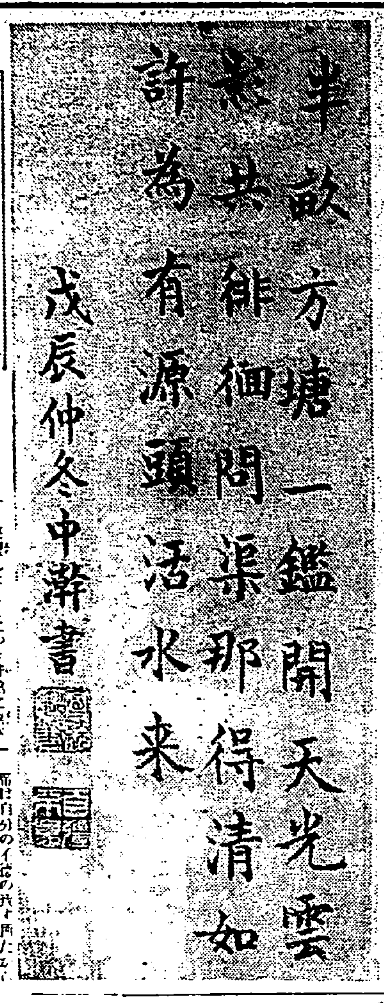
同　[illegible]

同　[illegible]

同　[illegible]

同　[illegible]

溥儀氏の直筆



半畝方塘一鑑開天光雲

影共徘徊問渠那得清如

許為有源頭活水来

戊辰仲冬中澣書

滿洲國の元首たる地位に就いた溥儀氏將來は國家と共に多望の中に[illegible]されてゐるが、同氏の[illegible]を持つてゐる臺北市[illegible]町の小[illegible]氏は先年[illegible]の用務で天津へ旅行した際、[illegible]同氏に[illegible]しく右の[illegible]を書き與へられたもので、溥儀氏に一度[illegible]來訪したことにつき非常に喜びながら次の樣に語つた

一昨年天津へ參つた時[illegible]天津の日本軍司令官が荒井[illegible]大郎中將であり、同郷の人であつたので同氏を通じ[illegible]の[illegible]を[illegible]に出た所、[illegible]溥儀氏[illegible]は自分の[illegible]を[illegible]して[illegible]とて自ら[illegible]してゐられた、[illegible]荒井中將とは[illegible]と見た[illegible]に揮毫して下さつた、[illegible]

(寫眞は溥儀氏の書)

基隆の燈火管制

第一回としては割合に好成績を示す

【基隆電話】基隆市に於ける防備演習及び燈火管制は十日午後十時から開始された、演習開始の時刻を合圖に各々部署につき[illegible]の兵隊に對して[illegible]方に[illegible]物凄い警報が市内に鳴つた、十時十五分五回のサイレンを合圖に燈火管制の用意を促し、二十七分再び十回のサイレンとともに愈々管制に入り五分の後警戒[illegible]つたが、林司令官其の他統監部幹部は[illegible]時計臺に上つて全市を觀察した、十一時[illegible]全員再び公會堂下に集合、[illegible]降り始めた雨の中で司令官の講評をうけ散會したが始めての演習としては割合に好成績であつた

日本總領事館に脅迫狀來る

十五日迄に殺すと支那語で書いて

【マニラ十日發電通】「三月十五日午後十一時日本總領事を殺害する」と支那語で書いた脅迫狀が十日マニラ日本總領事館に舞込んだ、總領事館では直ちに警察に送つたが、右手紙は出所日の住所が書いてあり警察では重大視し犯人を嚴探中である

北一二中卒業式

臺北第二中學校卒業式は十一日午前[illegible]同校講堂にて行はれ、州知事代理[illegible]内務部長其の他多數來賓父兄參集、[illegible]校長より卒業生八十八名に卒業證書を授け式を終つた

外人にも施療

上海兵站病院

【上海十日發本社特電】上海派遣軍兵站病院は現在の大西院長以下十八名の軍醫の外今朝[illegible]の名和、吉井兩軍醫正外二名加はり完備したが、近く陸軍赤十字救護班五十名來着を待つて邦人のみならず外人にも施療を行ふ事となつた

閘北方面情況

【東京十一日發電通】十日海軍省着電

一、租界外閘北方面支那人續々家財を取纏め引揚ぐるに反し、邦人の復歸[illegible]に行はれ、內地より歸還するもの便船毎に相當多し

二、閘北治安維持は[illegible]に行はれ[illegible]所の治療成績二百十一名にて極めて良好なり

賀川氏講演會

盛況を極む

臺北に於ける賀川氏講演會九、十兩夜共非常な盛況にて會衆約千三[illegible]

[illegible]確定したわけである

高給者の整理確定

新敎員配置の打合を行ふ

【新竹電話】新竹州にては十一日午前九時から州市役所を[illegible]

極右過激派も嚴罰に處せよ

改正刑法委員會で議論が持上がらう

【東京十一日發本社特電】極左的共產系に對しては司法部では治安維持法を振翳して徹底的彈壓を加へしつつあるが、極右的な國家主義思想から出發した愛國運動の一端と目さるる過激な行動に對する取締りは從來緩漫に流れすぎてゐた嫌あるに今回井上氏團男と財界一巨頭が右傾團體の者に暗殺された事に就いて司法部に非常なる衝動を與へた結果、來る十六日開かれる改正刑法委員會ではこの左右兩極端の思想團體に關する法律を犯罪各論の一部に挿入すべしと説くものが議決多數を占むるに至つた元來極左に對しては治安維持法の規定あり、その極刑は死刑迄が盛られてあるが、極右の取締りには僅かに爆發物取締規則と治安警察法があるのみでその法上の精神も

徹温的

なものである、故に右傾の暴行者も左傾同樣治安維持法によつて排除する意味からここに法律の上に之を明記して嚴罰すべしと云ふのである、從來治安維持法は[illegible]して暫定的な單行法としておくのがよいと云ふ人それではよくないと云ふ人があつたが現在では改正刑法へ取入れやうと云ふ空氣が[illegible]まつて來たので、この際恐ろしい思想的なあの[illegible]を左傾の思想と同一に看做して

嚴罰に

した方がいいと思ふ十六日の委員會では右傾的直接行動の危險を排除する爲め私學も一[illegible]する腹りであるが多分可決されるであらう

暗殺團の中心人物

古内も遂に逮捕

私服卅餘名寢込みを襲つて

井上も近く檢擧か

【東京十一日發電通】井上日正と共に暗殺團の中心人物と目されてゐた古内榮司は、十一日午前四時市外代々木の例の撮影所[illegible]に潛伏し居るを三十餘名の私服刑事が寢込みを襲つて逮捕、直ちに[illegible]に留置した、古内が逮捕されたので井上も木日中頃には同所より餘り遠からぬ場所から檢擧されるか又は自首の形式に出るものと見られてゐる

駈落者捕はる

【基隆電話】[illegible]は情婦なる[illegible]と駈落ちし大阪神戸と轉々とする内金に窮し女を[illegible]に[illegible]した後こつそり[illegible]に入り込み女を連れ出して逃亡[illegible]月一日基隆着アメリカ丸で來た、自分は[illegible]に[illegible]し女をカフエーに[illegible]として稼がせてゐる所を[illegible]より[illegible]により十日夜[illegible]の[illegible]中に基隆署[illegible]木刑事に[illegible]兩名とも取押へられ目下取調べ中

[illegible]百名、閉會前一時間餘に[illegible]の[illegible]況であつた、氏は多年の[illegible]生活と社會事業に[illegible]したる[illegible]とを[illegible]めて[illegible]に[illegible]く[illegible]かせ[illegible]を與へた、同氏臺北に於ける講演會は十一日夜を以て終るが當夜の演題は「[illegible]文化と宗教生活」である

火藥商講習會終了

[illegible]時局に鑑み臺北州保安課主催で三月一日より州[illegible]に於いて開催された火藥取扱ひに關する火藥商講習會は十一日を以て終了午後四時から[illegible]部長[illegible]保安課長、南北兩警察署長出席の下に終了式を舉行した、因みに講習員は臺北、基隆、宜蘭、花蓮港、新竹、屏東からも參加し二十餘名である

賭博から喧嘩

足指二本

切り取らる

臺北市外下內埔四九二番地の[illegible]に於て十日夕刻三人の本島人が[illegible]と稱する賭博を開帳してゐたが金錢の事から喧嘩となり、午後五時三十分頃三人の本島人は逃走したが下內埔一五四王[illegible](三)は左足拇の中三本を殆ど切斷され路上にうめいてゐたので、臺北赤十字醫院に運び直ちに手當を加へたが、左足指三本は僅かに皮を以つてつながつて居るだけであつた手癖の手段はないと言はれてゐる、臺北南署の調査の結果加害者は臺北市富田町一九七[illegible]金水(二)と判明したので目下嚴重に手配り中である、因みに兇器は鐵棒の物であらうとの見込である

小型活動撮影競技大會

オリエンタル寫眞工業主催となり[illegible]館西[illegible]支部と市內[illegible]尾フタミ[illegible]の四[illegible]競技大會を催し[illegible]と小型活動撮影競技大會を開く事となつた期日は十三日(日曜)午後一時から新公園で[illegible]會當日は普通カメラ、パテーカメラ、十六ミリカメラの三部に分ち高木新平[illegible]一等[illegible]撮影競技をするので[illegible]はオリエンタル社製を使用する事を[illegible]と[illegible]の大きさには制限なく作品の締切は三月二十五日で入賞者には一等金メタル(一名)二等銀メタル(二名)三等銅メタル(三名)選外佳作に記念品(二十名)を贈呈するさうだが當日は小型活動ファンの爲めに高木新平一座[illegible]が出動新公園で大[illegible]をするさうである

自動車營業組合の定期總會

臺北州自動車營業組合では十四日午後三時から明石町[illegible]會館で第十回定時總會を開き[illegible]を[illegible]終つて午後四時から[illegible]會を開くと

ゆうかり句會

三月例會を十三日(土曜)午後七時より市內東門町五二ゆうかり發行所にて開催、兼題[illegible]雜詠(五句)同好の士の出席を希望すと

ウエルカム

▲中學校英語考査成績が臺北市各學校揃ひの不良に反し新竹中學校は斷然好成績コレ何を意味するや(不安生)▲三井さん外米は容易に移入しますか待つてゐます(需要者)▲商工の新校舍は斷然よい、若者はとなたですか(卒業生)▲何か武肉彈だ先づ自分を犧牲せよ、それとも支那へ臨れ(感想家)▲武肉彈生よ、君は恐らく戰爭にも行けない臆病者だ、住所氏名を明らかにせよ(不肉彈)▲豆腐砲さへ抱いて行きされない武肉彈生よ默れ(報時生)▲大和民族代表よ大和魂、を大きく強く見せないので言つたのだ(武肉彈)

天氣概況

(十一日)

本島內は臺北は小雨、基隆は曇り北部は多少陰鬱ですが中南部方面は晴れ又は快晴の好天氣となつて居ります

▲天氣豫報(十二日)

第一區　風弱く曇り後晴れ

第二區　風弱く晴れ

第三區　風弱く晴れ

臺北地方　風弱く曇り後晴れ

	滿潮	干潮
基隆(十二日)	午前一一・〇〇 午後一一・四五	午前五・四〇 午後六・四五
淡水(十二日)	午前一一・五〇 午後[illegible]	午前七・三〇 午後八・[illegible]

寫眞で見る……滿洲新風景(一)

奉天本社通信員　小濱新

多年虐げられてゐた滿蒙の民衆にも春の訪づれがあつて三月一日新國家成り、九日に執政就任と共に新政府が出來上つた。踏みつけられてゐた雜草の下草も春と共に芽を吹き伸び出して來たその民衆の動きと胸ときめきとは[illegible]い彩雲の下に[illegible]から東方へと[illegible]しい勢ひで[illegible]いて來た、その民衆の流れと勢ひ、それは[illegible]東に於ける新天[illegible]の現[illegible]である。以下次々に其の[illegible]を寫眞で紹介しやう。第一[illegible]は新國家建設のため蠍人までが街頭に進出して來た光景で、[illegible]は遼西地區[illegible]大會に參加した婦人の講演隊、興城縣その他各地方から集まつた女性の群で何れも各地で「新國家へ」の趣旨につき熱弁を揮つて來た婦人達である

會葬御禮　後藤正毅

商況

米況

十一日

正米市況(前場)

[illegible]

大阪期米

[illegible]

東京期米

[illegible]

神戸期米

[illegible]

株況

大阪短期

[illegible]

大阪長期

[illegible]

東京短期

[illegible]

東京長期

[illegible]

各地氣温(十一日)

[illegible]

入學進級　四月號　子供の國　幼稚園　一年生　二年生　三年生　四年生　五年生　六年生　定價三十錢　全國小學生[illegible]新學期　八大學習雜誌　附錄　トツサリ山程　成績滿點　明日發賣!!　發行所 小學館

產前產後

ロイマチス　神經痛・關節炎　たゞ皮膚に擦り込めば宜い　氣候の變り目毎に關節に鈍痛又は劇痛ある時…迅速に鎮痛の快感を得せしむる。　サロメチール

確實有利　株　株式投資秘訣　御一報次第　進呈　東京日本橋區江戶橋一丁目　大和屋商店

殘月譜（126）

志乃田廸司作
清水三重三畫

分限者（八）

いゝかたり、と聞くと、勘造元の旦那が、顔をぐいと、三子ヶ浦に向けて。

「やいっ！飛んでもねえことをぬかしやがると、唯あ置かねえぞ」

「いや」

と、顔川、青ざめた丸散の旦那は、勘造元を押し止めた。

「仔細あつて、其の縮取とは、一寸知り合つてるんでねえ」

「知り合つてる？旅もあるけえ、何処へ失せやかつたと思つたら、こんな所に出やがらあ」

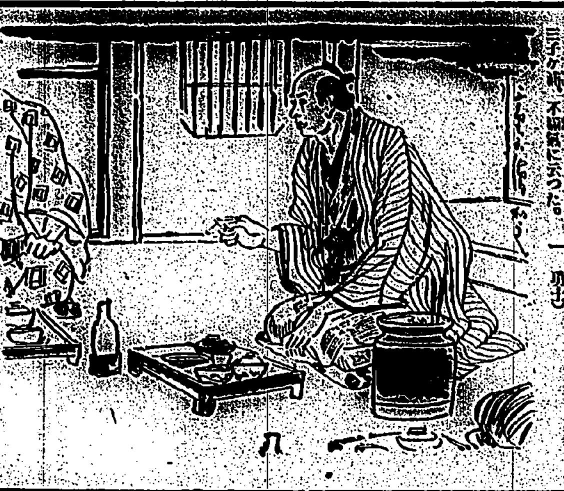
「おいつ！」

又しても勘造元が喚き立つた。

「たとひ、千両、お知り申上げたつてさ、旦那だぜ、いゝかい、いい加減の啖呵切りやかると、俺が承知しねえぞ」

「たつて、俺あ、そいつに貸しがあるんだ」

三子ヶ浦、不敵気に云つた。



「はゝはゝは、親方、かたりと云つたり、啖呵吐いたりするのはねえその縮取にね、一寸借りつ放しのものがあつたからでね」

丸散の旦那は静かな口調で云つた。

「さうなんだぜ、親方、俺あ吉原が貸してある！」

「吉原？」

勘造元が眼を丸くした。

「さうでしたね、縮取、吉原を騒がる縮取だつたんだが――」

「ちえつ何だと親や、そんな貸しか、おい！江戸の縮取、人聞きの悪い、かたりとか貸しがあると、へんそんな業目を吐くやうなことぢやねえちやねえか、いい加減、出放題ぬかしやがると相手は誰か知らないが、此の俺が足腰立たねえやうにしてやるぞつ！」

「そ、そんな無茶な」

三子ヶ浦、顔曇らせた。

「すつこんでろいつ！」

勘造元、ぴしやり、と怒鳴りつけた。

「まあ、いゝ、親方、貸しは貸し、たとひ吉原でも借りは借り、さ、まあ、みんな御苦労だつた、一杯やつて貰ひませう」

丸散の旦那は、ぽんぽんと手を叩いた。

「あ、用意が出来たら早くね」

静かな大旦那振りだつた。

「へい、どうもありがとう存じます」

両々の前へ膳部が並り、銚子を向けられると、一緒に、丸散の旦那に向つて云つた。

「なあに遠慮なものはありません」

自分も、一口、ぐびりと飲むと

「縮取、一寸来て貰ひたいが、親方、いゝかい？」

「堀川でしたら、どうぞ、縮取、あんまり啖呵吐きなさんな、失礼しちやいけないよ」

たて膝けで、酒を呷り乍ら、勘造元、もう酒をいれるといい機嫌である。

三子ヶ浦は默つて立つて行つた無愛嬌、そのものの面だ。

丸散の旦那は先きに立つて行く小ちんまりした座敷に、小女が火鉢に炭をついで居た。

「いい女だらう」

「へん、ごま化すない」

三子ヶ浦の顔つ先きは嶮しい。

「しばらく、だつたね」

「へーん、とにかく恥いたよ」

「どうだ、ちつとはかりの金なら融通するぜ」

「ふざけるないつ！」

「さ、さう怒りなさるな。時にあれから御主人は、どうなされました、え？」

噫軍神『肉彈三勇士』

特別番外（九日ヨリ芳乃館上映）

新派同名映畫中一頭地を拔く
新興キネマ製作 一大軍事映畫
監督 石川秀二

――キャスト――

作方一平、松井松、森山松（三勇士）

松下大尉……草間 實
内藤隊長……荒木 忍
東島少尉……原 牧
大島少尉……伊藤 和治
内田伍長……松 光迪
北川一等兵の母……河合 静子
家谷計男……松尾 文人
江下一等兵の母……中村 栄子

梗概 上海事變勃發の報をうけて我軍の上海戰局は悪辣なる支那軍の頑強なる抵抗を一擧に殲滅すべく我軍精鋭の出動による總攻撃の開始と共に戰火熾くたけなはであつた

×

異状、江灣鎭、わけても廟行鎭の敵陣地は廣瀬の鐵條網陣地によれば鐵條網を頑丈にめぐらし、流石の我軍も鐵條網の效なく數次突撃に悩まされた、鐵條網による殿破の日時は切迫する、我が〇隊本部では隊長を始め幹部の間に沈痛な默考が続けられた

×

かかる時死を決し自ら爆彈となつて鐵條網を身につけて鐵條網の破壊を決議したいと志願した者があつた、それは出征の際見送りの少年家谷計男に励まされ、出發のハンカチを形見に與へた一等兵江下と、母を以つて君國に殉ぜよと勵まされた北川及び作江の三名である

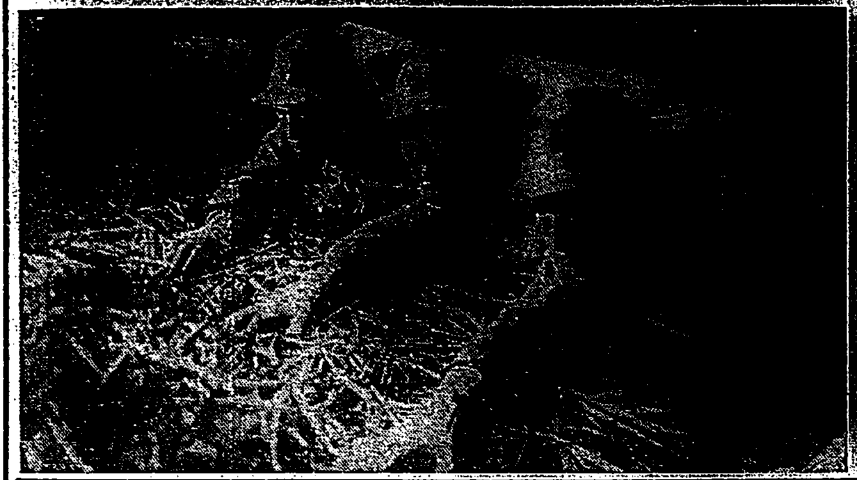
隊長は部下の一人をも殺させ度くはなかつたが、そのけな氣にも悲壯な決意に動かされ、三人の手を固く〳〵握つたが決意の三勇士は隊長を始め戰友に別れを告げ出發した、そして點火した爆彈をいだいて決然敵陣へ飛び込んだ

×

敵は小野大佐等、さしも頑丈な鐵條網も見事破壊、待機の突撃を待つてゐた歩兵隊の勇壯な突撃、敵陣に突進する我が將兵、かくて廟行鎭は完全に我が軍の手に陥し日章旗がひるがへつた

×

悲壯なる三勇士は爆彈と共に粉碎し、一命大和魂の權化と化し去つた、三人に壯烈な戰死の報一度び傳はるや熱誠なる全國民は感激した、肉彈の三勇士として後世永く語り傳へられるであらう



（寫眞は三勇士の場面）

漫談家大辻司郎來臺

十二日から鐵道ホテルで漫談大會

所謂「漫談」の創始者で全國的にファンを持つてゐる大辻司郎君が柳家金語楼君同伴で十日蓬萊丸で来臺した、両君は鐵道ホテルに止宿し、十一日には臺北放送局で漫談「東京銀座風景」を放送し、十二日から四日間毎夕六時半から鐵道ホテル食堂で漫談大會を催す、會費一般一五〇錢、學生六〇錢、柳家語楼は大辻とは小當の相棒、柳家金語楼の得意である、第一日より第四日までの番組左の通り

第一日
一、落語　題未定　柳家 語楼
一、漫談　落語のファンに挨拶　大辻 司郎
一、漫談　ＪＯＡＫラヂオ漫談　大辻 司郎
一、落語　問答とお閑話　柳家 語楼
十分間休憩
一、漫談　モダンガール　大辻 司郎
一、映畫　大辻司郎、柳家金語楼主演「モダン彌次喜多東京見物」（三卷）　解説　大辻 司郎

第二日
一、落語　題未定　柳家 語楼
一、漫談　素晴しきかな野球狂　大辻 司郎
十分間休憩
一、落語　題未定　柳家 語楼
一、漫談　メリケン山賊日葵酒　大辻 司郎
一、映畫　大辻司郎、柳家金語楼主演「モダン彌次喜多東京見物」（三卷）　解説　大辻 司郎

第三日
一、落語　題未定　柳家 語楼
一、漫談　蒲田スタヂオ見物記（隣のすみ子が何故泣いたか）　大辻 司郎
十分間休憩
一、落語　題未定　柳家 語楼
一、漫談　東京銀座風景（或はワイフオンパレード）　大辻 司郎
一、映畫　大辻司郎、柳家金語楼主演「モダン彌次喜多東京見物」（三卷）　解説　大辻 司郎

第四日
一、落語　題未定　柳家 語楼
一、漫談　スポーツ漫談（或は野球狂）　大辻 司郎
十分間休憩
一、落語　題未定　柳家 語楼
一、漫談　浅草見物（アラ恥かしや、しくじり話）　大辻 司郎
一、映畫　大辻司郎、柳家金語楼主演「モダン彌次喜多東京見物」（三卷）　解説　大辻 司郎

臺日案内

書籍　刊本珍書類販賣　臺北新起町西門市場前　平光書店　電三〇八〇
男女學生の受驗必携　受驗と参考書は東陽堂書店　臺北新起町一丁目
寫眞　新鋭カメラ各種新著　臺北市榮町
初春に小型活動寫眞機　パテー九ミリ半　臺北榮町
活動寫眞は（電話四一二八）臺北市表町三丁目
下宿屋　下宿屋の御用命は太陽館　臺北市本町三丁目　電話三〇二五
自轉車　拾九圓半より　大阪田中製作所
樂器　山葉オルガン　日本樂器　臺北市新起町
食料品　大衆向の十錢辨當　臺北市北門町　金泉本店　電五一二

ラヂオ器械　ホームダイン受信機　ラヂオ部　電三八二
染物洗張　萬染物洗張り
高等理髮　七田理髪館
運送業　勉強引越運送　山村運送店（電話八二四番）
自動車　三福は自動車　電話三〇五三番
雜件　メガネは東京堂　臺北本町
伊萬里燒は末源　臺北市若竹町
雨傘各種大勉強　臺北京町　電話五五四番
牛乳とパン十五錢　電三〇一七番
カベ塗料　庄司組　臺北老松公學校前　電三八二〇番

使へば使ふ程書きよくなる
アテナ萬年筆
アテナ權威
アテナ萬年筆の稀有な耐久性とアテナインキの流麗無比により「アテナ」は世界の文具界に絶對絶大な主張する――この特殊権益な認識愛用して新鮮各人は一大飛躍！
アテナインキ
日本のインキを代表してゐます

東京・丸善株式會社特製
最寄の文具店で御求め下さい

湯上りに
シッカロール
和光堂

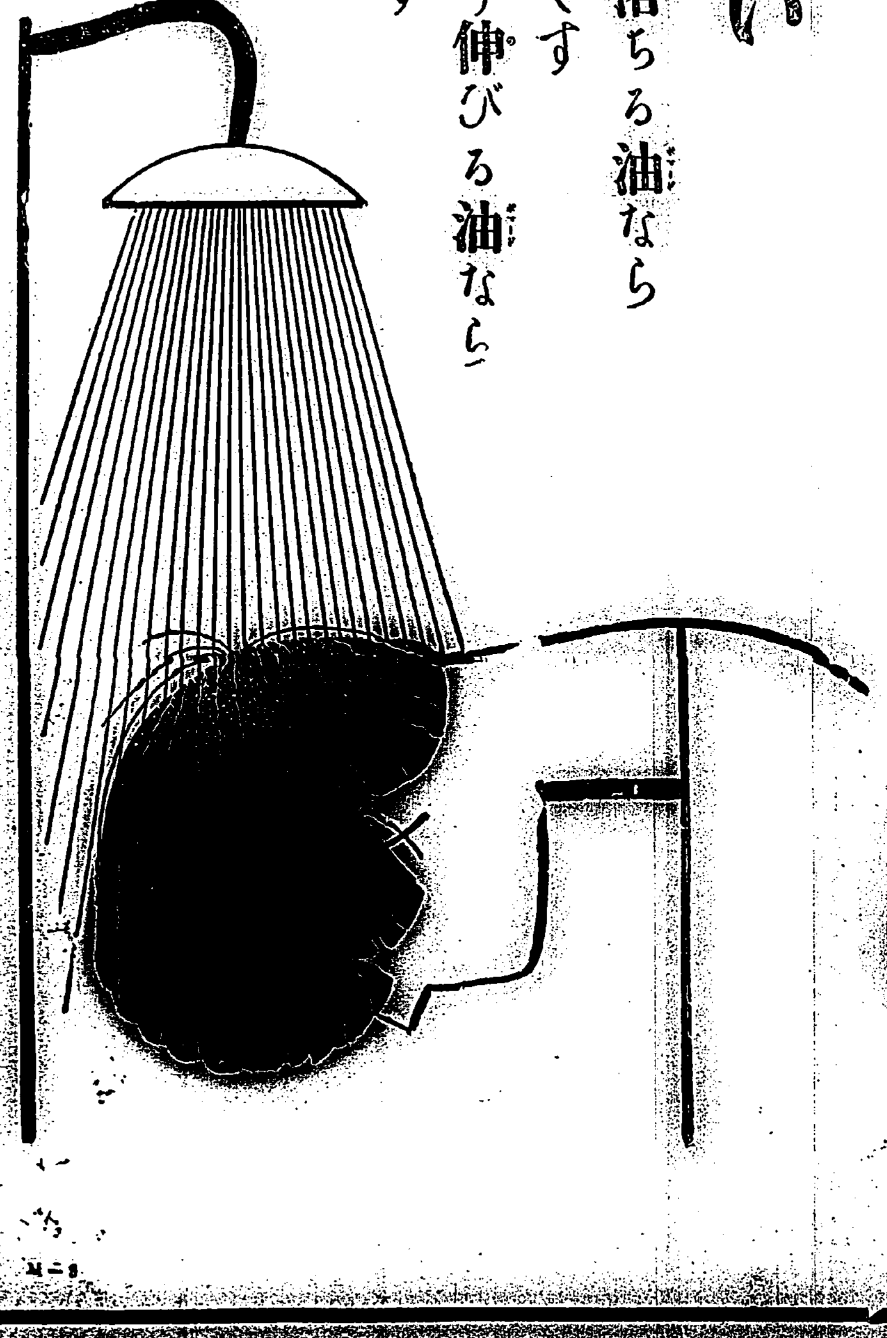
3-17

森永ミルク
日本で一番よい坊やのお乳！

タバコのみの
スモカ歯磨
よだれダラダラ時間をかけてそれでも落ちなきやスモカを使へ

十五錢
御近所小賣店にあり

メヌマポマード
質が良いだけに
落ちもよい
さつと洗つてさらつと落ちる油なら
きつと純良な植物性油です
ちよつと附けてすつきり伸びる油なら
修練された技術の證です
この二つの獨自の誇り
に盛られた唯一つの
メヌマポマード



男子の整髪に婦人の結髪に養毛美髪効果随一のメヌマポマードです。油は中性、粘りは適度、特に石鹸によく落ちるのが絶對的特色です。朝夕の常用は發毛を助け漆黒の光澤を増しフケや脱毛を防ぎ頭髪の臭氣を消し芳香を與へ且つ髪容を清新に整へる大量廉價の近代的美髪料です

東京　井田京榮堂　大阪

漢文臺灣日日新報

國府允重光公使提案 受諾開始交涉

十日上海至急報。中國許重光公使提案。以討議範圍限定之留保付。受諾開始交涉。

十日午後應諾交涉 國民政府回答

十日上海電。中國於十日午後。應諾重光公使交涉開之提議。左記回答送來。中國政府。承認三月四日聯盟總會所可決決議案。照第三回決議案規定。有與日本官憲開始交涉之用意。但右乃首席代表顏惠慶氏承認決議案時所聲明。

一、此種交涉。限定戰鬪行爲之對於停止。及日本軍完全撤退有關係之事項而已。

二、此種撤兵。不附何等條件。

中國政府。既由該府首席代表。於前記目的及諒解之下。發表有開始交涉之用意。日本官憲。於此事實。信其十分知悉。二月九日午後五時半。因接南京駐英公使所領收之日本官憲通牒。知貴國亦同樣有交涉開始之用意。中國政府。因考慮交涉開始方法也。

必要時開總會 權能附與聯盟議長

十日壽府電。日華紛爭所關聯盟臨時總會不閉會。議長若認必要時。不論何時。皆得開會。附與此權能。

日華兩國諾否回答 十四日中諒必到著 伊曼議長談

十日壽府電。議長伊曼氏。謂大約于十四日中。日華兩國政府。對于決議案之諾否。回答諒必到著。十五日午前十時。或開一般委員會。

軍縮會議 空軍國防兩委員會

十日壽府電。軍縮會議陸軍委員會之專門家會議空軍委員會。及國防委員會。十日午前十時。一齊開會。

聯盟總會 設置委員會

十日壽府電。聯盟總會起草委員會之總會委員會設置于聯盟所關小委員會。十日午前十時二十分。開始協議。然其結果。報告于正午開會之起草委員會。

英蘭銀行 第二次降利

十日倫敦電。英蘭銀行。十日將公定割引步合五分降爲四分。同行會於二月十八日。公定割引步合六分降爲五分。今乃第二回之降利也。

欲殺馬尼拉 日本總領事 脅迫狀

十日馬尼拉電。三月十五日午後十一時。有以中國語。書欲殺害日本領事之脅迫狀。十日寄到馬尼拉日本總領事館。總領事館。即交於警察。信中詳造住所。警察重大視之。正嚴探犯人。

美日滙水 忽起一弗

十日紐育電。本日當地美日滙水。俄然起一弗。現二十三弗三十七仙二分。

滿洲國政府 外交總長 謝氏謝電

滿洲新國家。九日成立。臺灣新竹出身者謝介石氏。就任爲外交總長。本社及島內內臺人諸交遊。多有拍電或致書往賀者。茲接到謝氏十日對本社返電。謝詞如左。拜謝在臺灣親友各位。懇切祝電。不勝感謝。就任匆々。極其多忙。不能一一返電。且恐遲延。茲謝各位御厚意。並祈御健康。滿洲國政府外交總長謝介石

臺北州國語講習 舉修了式

臺北州創開國語講習所。于本月中。各舉行終了式。而臺北市內五處。亦皆決定日程舉式。是日州市當局。均擬臨席。其日程如次。▲老松公學校十一日午後七時半。▲日新公學校十二日午後一時半。▲大橋公學校十一日午後七時。▲蓬萊公學校十二日午後七時。▲大龍峒公學校十一日午後六時半。又臺北市青年教習所修了式。亦經定日程如次。▲太平公學校二十五日午後七時。▲龍山公學校三十一日同七時。

總會決議案 日本代表部似滿足

十日壽府電。日本代表部。謂起草委員會所可決之總會決議案。乃用抽象的字句。日本政府。因無重大反對。又中國代表部。以決議案不規定日本軍之撤退。爲可遺憾。然大體似滿足也。

聯盟起草委員會 決定設置特別委員會

十日壽府電。聯盟總會決議起草委員會。於九日追加提案之夏陀尼。芬蘭。瑞典三國參加。合十八國代表出席之下。十日正午開會。先議特別委員會設置之事。決定設置有左記權限之特別委員會。

一、昨年九月三十日。及十二月十日理事會決議。監督其實行。

二、以促進日華兩國間紛爭解決之目的。作製提出於總會之調停案。

三、諮問於常設國際司法裁判所。得以提議于總會。

四、必要之諸般緊急手段。得以提議。

五、於五月一日以前。得以速將上海事態所關第一回報告。提出于總會。

六、凡理事會。認須提出于總會諸案類。委員會得向理事會要求通達于委員會。

七、紛爭未至解決時。得以準備規約十五條四項議定之報告書。

而右委員會。除總會議長日華兩國。以十二理事國代表。及祕密投票。選舉他六國代表。合計十九名組織之。

霧社事件 南州下功勞者 敍勳傳達式

臺南州依霧社事件功勞。去八日午前十時。在州廳會議室。對左記敍勳者。舉傳達式。由橫光知事授與勳章及證狀。瑞八。水島末吉(新營)同。阿保多助(斗六)同。佐藤正勝(嘉義郡)同。吉松梅雄(同)同。西田彌彥(同)同。兼島方道(同)同。倉光平治(虎尾)同。松村佐文治(斗六)同。長野爲吉(嘉郡)旭八。江頭善五(南署)瑞七。栗田傳(新營)同。上釜敬二(虎尾)旭七。角川何重(退職)同。山川辰雄(部)旭八。坂井市郎(東石、死亡)同。蜂手國修(北港死亡)

各地陸軍記念日

△宜蘭 去十日陸軍記念日。午前九時。開始攻防市街戰及空軍來襲。殷殷小銃。機關銃聲。終于練兵場。開猛烈戰後。在該處舉行軍隊。鄉軍。農林學生。消防組。壯丁團。青年團分列式。有機崎分屯中隊長講評。次橫山郡守敍禮。三唱帝國陸軍萬歲而散。十一時在兵營前。開祝賀會。小島街長敍禮。宴開。由柳川農林學校長三唱萬歲。一同和之而散。下午六時。於公會堂。映寫軍事影片。觀衆甚多云。

△臺中 上午四時。由太田知事統裁。開始演習。攻擊軍自豐原。南投。彰化方面。進擊臺中市。警備軍自同五時。開始行動。欲擊破攻擊軍。退于州廳前。七時開市街戰。自屏東飛到飛機。投下爆彈。約十五分間飛去。八時頃。罷戰舉閱兵式。太田知事。三唱大日本帝國萬歲。盛況而散。

△臺南 模擬戰上午七時。由塚本少佐。指揮防禦軍。配置明治町臺南驛後。開始演習。機關銃小銃聲殷々。屏東三飛機編隊。亦來參加。九時照豫定告終。次舉閱兵式。後參拜神社歸隊云。

△高雄 朝來各戶揭國旗表祝意。午前八時半。屏東飛到飛機二架。現于上空。高低飛翔。十時在神社。舉國威宣揚祈願祭。十一時二十分。在公會堂開祝賀會。梅川助役述開會辭。一同歌國歌。今井市尹讀祝辭。野口知事發聲。三唱陛下萬歲。長谷部無電所長。三唱帝國陸軍萬歲。各盡歡散。出席者。有三百五十餘名云。

△屏東 下午二時。各團體集于公園。有統轄官後藤聯隊長及防空司令武田郡守訓示。米長軍醫正指揮。對投下毒瓦斯。演習救護及消毒。同三時頃。各就部署後。報有敵飛機來襲。米機現于上空。投下爆彈于模擬都市。遂起火災。地上高射砲等。猛射敵機。又投下毒瓦斯于各處。地上警備員。開始消火及消毒演習。同五時半告終。同八時。實行夜間燈火管制等云。

△馬公 上午八時半。打揚百雷三發。開始模擬戰。定刻前。觀衆約三千名。集于拱辰門。城壁一帶。馬公重砲兵大隊及鄉軍。警察隊編成攻防兩軍。由磯野兩中尉指揮。開攻防戰。砲聲殷々。十時罷戰。十時半。在馬公會館。有金子要塞司令官。講演軍事。凡一時半。正午開官民合同祝賀會于小學校。文武官民重要者百餘名出席。各盡歡而散。下午一時。有小公校兒童執旗行列。自公園出發。繞行街內。到要塞司令部前。三唱萬歲。次抵大隊營庭。三唱萬歲。同二時頃解散云。

△花蓮港 陸軍紀念日。前日下午九時頃。郡下十一團體自警團出動警備。九時四十分。行燈火管制二十分間。翌日上午四時開始演習。到處展開攻防戰。終集主力于花岡山。猛烈戰爭。七時罷戰。在廣場舉閱兵式。有廣田大隊長講評。盛大告終云。

滿洲國新內閣成立 鄭臧兩氏正副總理

十日長春電。十日午前十時。執政任新內閣正副總理。以下各部總長。錄之如左。

國務總理	鄭孝胥
同副總理	臧式毅

國務院各部總長

（與日本大臣同格）

民政總長	臧式毅
外交總長	謝介石
軍政總長	馬占山
財政總長	熙洽
實業總長	張燕卿
交通總長	丁鑑修
司法總長	馮涵清
立法院長	趙欣伯
監察院長	于沖漢

新國務總理鄭氏。年逾古稀。而頭腦尚新。當夫溥儀推戴執政之際。左右雖有反對。獨毅然排之曰。不知時代之迷妄。欲復昔日之清朝。帝之出馬。非爲復辟。不過爲建新國家。行王道。安百姓。不得不懇之耳。廢帝之心以決。遂出就執政之任云。

京都中學校 到臺灣募生 試驗地獄福音

位置在京都市岡崎東福之川町。京都中學校。此回有同校教頭松井政一、及同教諭松岡豐通兩氏。到臺灣募集生徒。人數一年生百五十名。內本島人二十名。外二三四年生。若干名。入學考試場所。臺北。臺中。臺南三處。場所臺北教育會館。考試期日。本月來二十日自上午九時半起。至下午四時半。試驗科目。國語算術。及人物考查。願書務須進向教育會館學租關內同校臨時受付。係松井政一氏處提出。又是日親自携帶受試亦可。以外臺中臺南之考試場所及期日。則假尚未定。同校本島生在學數。有二十六名。外四年修業。志願入上級學校者。有四十名。如汐止首合格者。由上記兩氏。約定期日率往東上。同校例年之入上級學校。成績頗佳良云。

蔣氏視察前線 知我軍無再進出意 乃考慮停戰交涉

十日上海電。據確實情報。蔣介石氏八日來崑山。與蔣光鼐。蔡廷楷等。視察前線狀態。後歸南京。九日以來。開軍事會議。對于我軍現在進出戰線以上。攻略南京之事。乃欲煽動民衆。海外宣傳而已。日本軍不進出于現在戰線以上。其意思已明。乃考慮具體的停戰協定。方針決定變更矣。

閘北方面華人漸散 邦人陸續自內地歸

十一日東京電。十日海軍省著電。

一、租界外閘北方面中國人。遂將家財搬向去。反之。邦人則活潑復歸。自內地歸還者。每期便船。相當多數。

二、閘北治安維持。[illegible]名。成績極良。

板橋米庫 近將興工

臺北米庫利用販賣購買組合。有自建米庫。有租借米庫。其自建米庫。即萬華驛。景尾。新店驛。淡水驛。松山各一棟。宜蘭三棟。去月總會時。曾決議于受檢查米一年間。兩萬袋以上地方。新建倉庫。即板橋一

臺南漢文講習會 手續時受市當局叱責 諸老儒皆悵然而返

臺南市。現有漢文講習會四處。講生每處約四、五十名。設立者。皆係前清漢學家。年俱六十以上者。昭和二年。當局爲欲整理漢文書房。命各提出許可願。乃變一切書房。改爲講習會。其時設者。凡十一二人。彼等老衰。數年來相繼死亡。故現存抵前記而已。向來每年度願書提出。未嘗何等爲難。此亦當局者知此設立人。均思想穩健。獨今年學期屆。彼等依例手續。市教育係竟反從前。需要設立須未滿五十歲。且解國語及穩健之人。若汝等。可盡行解散。違必罰金。設立者一聞其言。悵然而歸。然講生父兄間。聞此其抱不平。謂設立者穩健與否。賢明之當局應可判斷而知。且爲人貧困之人。不能就學公學。謀生苦痛。精研究多少漢文。以長活計。又如專習漢文者。亦未嘗有反動分子。即所謂赤化及社會運動家等。何一不出自中學以上。及諸大學教授及學生等。現願寄々云。

滿洲問題特殊性 有十分理解 我代表會見席上 三幹部陳述

十日壽府電。十日起草委員會散會後。松平大使。訪蔡文英代表。佐藤代表。訪伊曼總會議長及文部理事會議長。乘決議中日本不滿諸點。相與懇談。蔡文、伊曼、文部三氏。述抑制小國躍起之運動。指導會議至此之苦衷。決議中。包含日華紛爭全體解決之事。吾人事實上。就滿洲問題特殊性。有十分理解。指摘決議案中。各處有傷礙中國之文句。希總會全會一致。可決決議案。

同好會花卉展

臺北園藝同好會。訂來十二日夜七時。假新高喫茶店樓上。開本期總會。附議前年度決算。來年度豫算。來二十日起。主開花卉展覽會事宜其他。而此次展覽會。出品物以瓜菊爲主。並蝴蝶蘭、洋蘭。其他一般花卉類。約三百點云。

全島各地吟友 聲明出席 計二百二十名

全島詩人大會。來二十、二十一兩日間。開於臺北。瀛社實行委員。忙於準備。查至去十日。聯絡報名者。中壢以文吟社。十八名。新竹切磋吟社七名。外十七名。大治吟社二名。外十七名。臺中虎溪吟社三名。櫟社四名。枌社四名。東墩吟社二名。臺南々社三名。無所屬一名。西螺菼社二名。無所屬一名。合計二百二十名。此中女詩人十一名。又州下。其後報名

臺南新竹燈火管制 飛行機亦出動

▲臺南市陸軍記念日祝賀會。午後六時半。開於市公會堂。朝來春雨。至午後開霽。參會者。軍部並市內官民。計達三百餘名。定刻。佐々木助役。起敍開會辭。次菱村市尹述祝辭。後入宴會。至八時過散會。又臺南市。最初之燈火管制演習。午後十時起。亘臺南全市。一齊舉行。初分爲空中警報。非常管制警報。並解除警報等三段。報午機。並市內各派出所警鐘等。驚動全市。十分間。繼續消燈。十時十八分。第一回終了。同十時半。再發同樣警報。消燈。至十時五十三分。一切照豫定告終。又演習之時。臺南警察署員。消防組。在鄉軍人。警備隊員其他。充爲警備。幸不發生事故。同夜七時半。州廳前廣場。公開關於國防宣傳之時局活寫。同八時。屏東飛行聯隊飛行機。在臺南市上空。舉夜間飛行。市內殊呈雜沓云。

▲新竹市燈火管制。去十日午後八時半起施行。先是由本市尹。杉田教育課長。其他各係員。各集在所定場所。知事。兩部長等。則在州市廳舍樓上。雲開警鐘等。觀察狀況。又巡回監視係。則集於市內各要所。八時三十分。豫報々午機盛鳴。次於二十九分起。一分間鳴警報。全市及商港。轉瞬黑暗。而進行中之列車。亦停車消燈。自動車人力車等。此間在鄉軍人。青年訓練所生徒。青年團。壯丁團等。計分六班。以充管制區域內警戒。至八時四十分解除警報。點燈。並無何等阻礙。成績極佳云。

將築新竹市 第二戲臺

新竹市北門外鄭梁基氏。此番單獨出資。三萬餘圓。擇地在北門外沓子私有地築云。

臺南運河死屍續報 兄郭肉粿亦果投水 屍體十日撈起暫寄戚家 恐老母心傷

既報臺南市西門町三丁目和發號。郭肉粿之弟郭池於去九朝溺死運河。及郭失蹤一事。其後郭之家族。成料郭必同投運河。乃於十日黎明。雇人打撈。竟先得郭所乘自轉車。郭之屍身。旋亦撈起。據其家人所推。郭必是早決心自殺。因恐屍沈河底。乃邀其胞弟同往。詎欲使之目擊。歸家報信。誰知其弟念於救援。滿城消死。故其屍半伏洞所。擁頭入水。然郭之死。完全保被北郡代主林某所辱。憤而出此。郭之長媳。亦因病入某病院。現瀕於危殆。而郭母。年逾古稀。愛子心切。聞其次子之死。已痛不欲生。故現郭之死耗。尚祕不敢與聞。暫將屍寄其戚家。古人云禍不單行信然傷哉。

鴨母康賣 每斤十二三錢

臺中市上。日來恒配到鴨母頗多。因業價昂。鴨蛋又跌落。飼養無利。故急欲放手。每斤僅售十二三錢云。

無賴漢送院

嘉義郡小梅庄州頭無賴漢前科一犯陳耳嚴。年二十四。到處嫖賭滋事毆人。其父林讓戒之。不但不聽。且加以惡罵。父憤乃與有力者等十餘名。連署對同郡警察課陳情。請將耳嚴收容於臺東無賴開拓所。殿前月中耳嚴更在賭場。毆傷同所人江生添。八日被拘入司法室訊問後。九日解送臺南地方法院嘉義支部。

龍山寺管理人 選任六名

臺北市龍山寺管理人。原爲吳昌才。李種浦。蔡達卿。林輝宗四名。吳李蔡三氏。經已去世。現惟林氏一人而已。日前林氏感其責任重大。且孤掌難鳴。曾經聲明辭退。欲再選舉新人管理。經於客月念九日午後一時。在龍山寺東廂召集。西區保正代表及有關係者五十餘名出席。州教育課中村社寺係長亦臨場。蔡彬淮氏就議長席。選出方法。有從三邑。三姓。宗教系統選出諸說。莫衷一是。蔡氏乃提議欲開三年前所內定之案。得中村係長同意。即林輝宗氏重任之外。陳天來。蔡彬淮。黃玉對。吳永榮四氏新任。然此寺建築當時。辜顯榮氏曾慨捐巨金。關係密切。一部人士。欲擁辜氏出爲管理人。乃於去二日午後八時。開管理人會協議。辜氏亦到。承諾就任。翌日遣練阿林氏。將情報告于中村係長。得其同意。於是管理人六名均已決定云。

竹東郡番地 狂犬病猖獗

竹東郡下番地。逐漸加新及秦野汗併金奴溪等處。自入本月。各番社畜犬。以患狂犬病。日斃六七頭。且尚有蔓延傾向。駐在所警官。現正苦心籌施豫防

大甲郡下某組合。無罪之嫌派。爭執不已。時延內地人爲幹部。始肯粘服那(根性如是)猶樣某圖。貪得無饜。初回假不收。次回添補即收。若二回以下他次任請不往。其心術一別)

味爲錢奴隸。得稱爲仁術耶(鳴鼓而攻)嚴山某保正。恃川勢力。敗壞良善。本年度保甲費擅不肯公辦理。細民其吃虧也(家查看)這番者番。近見盛川不知古代聖賢。見於最早者何事。新公指教(二尖學者)某某醉教徒。坐視已娘回某青年來往。其非合理的之師愛也(要有分析哉)

線路變更 麻豆番子田間 居民寄附土地

曾文郡麻豆至番子田間指定道路中。麻豆街頂子腳附近。有明治製糖會社線軌道。橫斷二處。附近一帶部落。自動車運轉頻繁。交通不便。每生事故。今回由郡當局周旋。變更線路一部分。約二百餘間。道路用地。居民寄附。明治製糖及自動車會社。各寄附若干。現已着手興工。不久可告完成云。

竹州屠獸場 來年度新工事

新竹州下屠獸場新築工事。新年度豫算。編上三千七百八十一圓。內定將新庄子。貝案、相竹林三屠獸場移築。及關西屠獸場。改築一處。寶山屠獸場新築一處。加蚋排番地新築屠獸場一處。上田心、及觀音、東勢三處之屠場者。各設水井一處等云。

會事

▲竹南公學校保護者會。十日午前十一時。在於同校。開役員會。審議豫算編成。及協議。校舍擴築諸事項。

人事

▲七星郡士林醫師李玉聰氏。醫德醫術。就醫患者多稱頌之。桃園江岡醫院妹。客春半年病危。得友紹介。就醫四月。康復如初。且能操作。近日附謝並登報紙。藉申謝悃。▲淡水街林金鍾氏之次男林錦輝君。經依黃水沛氏執柯。與內湖劉克明氏之次女劉理梅女士訂婚。擇月十六日迎娶。▲由新竹市東門市場日用雜貨商等所組織之共榮社入組合。去九日午後八時起。假北門小世界樓上。開定期總會。由執務者報告損益計算。開本期成績。次再議次期經營方針。繼更新張業務。迨至午後十時頃。移席開宴。更闌散會云。▲竹南郡後龍庄社闈陳棟氏之弟闈吉君。畢業南京國立中央大學後。爲國府派在留學於東京慈惠醫科私立大學。前月中染病長逝。遺骸去四日。運歸故鄉。訂十二日。在自宅出殯。

臺灣日日新報

キング

四月大發展號

……大懸賞……發表

敵陣潜行

軍事探偵 九死に一生を得た本間憲一郎氏の手記

滿洲事情面白繪ばなし

滿洲の事は何でも面白く誰にも判る

▲青年よ日の丸の如く輝け……賀川豐彦

■或る日の二少年……野間清治

■驚くべき一人の力……澤田謙

悲壯痛烈 自爆決死隊の肉彈血戰記

悲壯！痛烈！一千名の將卒中生還者僅かに四十九名

■樽係から世界的大發明家

■面白い最近科學の話

人氣花形作家大座談會

十四大家出席

▲日本富豪物語……石山賢吉

▲歐米大公使感話集

新聞に出る若き人々の爲に

▲末花……菊池寛

▲落花本能寺……土師清二

▲薩摩飛脚……大佛次郎

彼女はユーモア大合奏

怪探偵ドン・ギル　小山莊一郎

問題の大探偵小說！戰慄すべき怪犯罪の正體暴露

▲快傑美人 菊五郎格子（小說）……子母澤寛

▲地上の愛 リビヤの聖徒（小說）……安藤盛

▲勇士の涙 天晴れ將軍（小說）……白井喬二

福運大黑……外二万人當選の大懸賞 詳細本號に發表！是非御覧

[redacted]

俠客鼠小僧次郎吉の血あり涙ある痛快悲壯物語、大評判！

懸賞大當選發表 幸運は誰に？

▲哀話 氷湖黎明……正木不如丘

▲俠勇 振分小平……長谷川伸

▲純情美談 愛は甦る……岡田三郎

▲幕末 小松龍三……大島伯鶴

百夜は明くる……久米正雄

◆ほんとかア……田河水泡

……東日出夫

青春無情　三上於菟吉

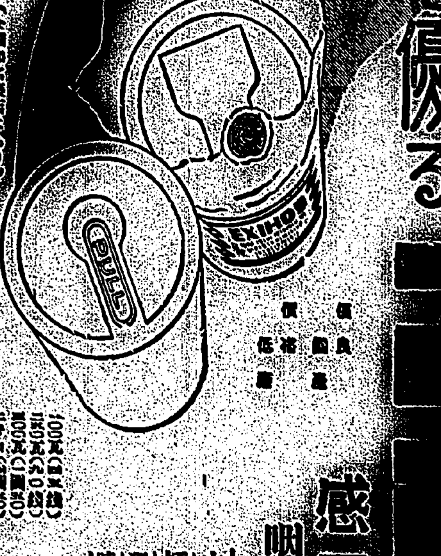
愛する青年畫家を助けるため自ら純潔な美しい身體を泥土に委ねようとするとき

寶物の秘訣廿ケ條……谷孫六

◆人傑讚歌　◆川柳漫畫　◆人生畫訓　◆偉人の言葉　◆名士座右銘　◆頓智トンチ　◆常識大學　◆日常便利帳

定價五十錢（送料四錢）　東京本郷　大日本雄辯會講談社　振替東京（一〇二九三）　全國書店にあり　早く御求めあれ

塗布に優る



感冒・肺炎
咽喉痛・肋膜炎

中耳炎、凍傷、肩凝、關節炎、打撲痛、腰痛、捻挫に對する合理的新治療劑にして一回の塗布よく長時間効力を持續す。

發賣元　株式會社　武田長兵衛商店

製造元　株式會社　星野……

（大阪市……）

……に呼吸器病……散

廿円位の資本で儲るコナ石鹸の製造

毎月百六十圓以上の儲け

米國理學士 中野…… 責任教授
中央化學工業研究所

補血　强壯　ぶどう酒

赤玉ポートワイン

小康を保つべく
苦杯に親しむは迂也
健康を加ふべく
赤玉に凭るは賢也

260

厦門、香港、バタビヤ、爪哇（ジヤパン、チヤイナ ライン）

振成興產株式會社

大阪商船

基隆岡崎造工所
岡崎榮太郎
西村多助
鳥越仙……
北川盛吉
堀田茂
三浦新勝

金融政策にも積極的たれ
現金の物化傾向とその對策

一

金再禁以來わが經濟界には、各方面に亙つていろんな方面に變化を引き起して來たのであるが、殊に最近、これが金融市場に反映した最も注目すべき現象は、銀行預金がひきつづき減少の一途を辿り全國的に預金貸出の逆調が著しく激化して來てゐることである。この緩和策については銀行家自身非常に焦慮してゐるが確たる名案もないらしく、又事態の關係上聲を大にして表面に叫ぶわけにもゆかず、今はただ預金引出し喰止めに腐心しつつひそかに政府當局に盛んに運動して政策の發動を期待してゐるかの如くである。

二

即ち最近の銀行預金減は昭和三年以來の最低記録とされ、尚目先緩和される見込なきため財界の一角ではこの著しき民間銀行手許の逼迫救濟のため、この際、預金利子の引上げか、日銀の利下げを斷行すべきを當局に懇願し、政府筋も何らかの形式でその對策に乘出さんとする模樣が見える。しかしこの預金減の傾向といふものを檢討してみると、預金減は(一)再禁止見越しの弗買が受渡し決濟に至つて預金の大引出しをなしたこと(二)再禁止による貨幣價値の下落と現內閣の所謂積極政策の標榜に刺戟されて商界、株式市場の活潑と貨幣購買力低落見越しによる資金の固定化、或は物品化傾向(即ち換算によつて『金か物に』替換へやうとする原因に據つたものである、從つて、この傾向の特色は銀行の不信用に基いて預金が引出されるのでなく『金で持つより物で持て』との利廻り換算から動かされてゐることは明らかな事でこの點非常に興味ある現象と見ねばならぬ。

三

大體『金より物へ』の轉換作用はこの物價上向きの時代には自然の現象で、不景氣で物價下落時代には物が金に代つてゆくが如く、上向きの今日として金より物へと資本が移動してゆくことは經濟界の原因である、唯だ然し乍ら物へ物へと動いた結果は、急激に金融界を壓迫し逆調を呈せしめたのみか、期待した荷動きや需要も起らず今や物を抱へ込んで金融に喘いでゐるといふ實狀である、金解禁後に當然現はれねばならぬ現象とは言へ、投機的の動機に支配されてゐることだけは動かせない、けれども政府として之が對策とか善導とかに就て今少しく大膽に積極的であつても宜しいと思ふ、蓋し物へ物へといふ此の傾向を善導すれば不景氣の主要原因たる資金の死藏を消滅さすこととなり國家經濟からみて寧ろ喜ぶべきものと思ふ、從つてかかる理由による現在の銀行の手許資金が逼迫したからとて直ちに預金の利上げを策するなど甚だ良策とは云へぬことで、又假に實施しても現在の預金貸出しの利鞘關係から容易なものでなく、低金利政策に反致して資金コストを高めるのみであり、日銀利下げに至つても藏相の嫌ふインフレーション化を察して目先實現望みなしと見られて居る。

四

政府は總選擧に現れた國民の絶對的信任を基礎にして財界の根本的建直しを企て五ヶ年計畫の產業立國の大方針に從つて國策の具體化を聲明してゐるのであるが、更に新滿洲國の出現により滿蒙大開發の局面が加へられ積極を標榜する現內閣にはふさはしい大舞臺が展開された。然かも衆議院に絶對多數の與黨を持ち政策實行の力は充分である、それだけに政府として政策の立案と國家に對する責任は重いと云はねばならぬ、政府當局は今日まで未だ確たる金融政策を示さず、高橋藏相の如くインフレーション化を極度に警戒してゐるが、通貨膨脹はさなきだに日支事變による軍事公債から赤字公債それに借替を加へると七年度のみにて實に總額七億圓を超えるといはれ、これは必然に預金部のみにては應じ切れず一部は市場公募とならうと見られインフレーションは政府が好むと好まざるとに拘らず現されずにはやまぬであらう。

五

政府はこの緊金再禁の跡仕末としても積極的なインフレーションに陷ることは止むを得ぬ。寧ろこの際內閣の飛躍は益々その要を認めねばならなくなつて來てゐる、此際政府は小局に拘泥せず積極政策の運用を大膽にして眞に國家財政の大道を正面切つて進まなくてはならぬと信ずる。即ち素朴にして偶然作ひやすき金融政策の如きも、此際潔く國民經濟を對象とし國家經濟の保算を基本として立策すべきで金融對策に拘束さるべきでない、殊に吾人の云はんとするところは、公、私經濟は兩行並進が望ましいのではあるが、公經濟は私經濟に追從する要は少しもないといふことだ。國家は國家としての立場から大所高所に立つて今日の經濟苦境打開のため國政に邁進すべきである。

我軍部中央部は自主的な撤兵を決意
實行に際しては聲明を發して
再出動の自由を强調の模樣

【東京十一日發電通】上海派遣軍撤退に就き軍部中央部では停戰協定圓卓會議等に依り安全保障が實現した上でなすべきことを原則としてゐるが派遣軍所期の目的は大體達成せられ、且つ飽まで自由の立場に於て出動したる關係上若し圓卓會議等が纏まらない時は自主的な撤兵を斷行すべき決意を有して居り、その實行に際しては日本軍の立場に就き聲明を發する筈でそれには上海が再び擾亂に陷る樣な場合は再出動の自由を有することを强調する模樣である

交渉開始は遅れた
「完全な撤兵」の文字挿入の爲

【上海十一日發電通】松岡洋右氏談　支那側が回答文中に突如完全なる撤兵云々の文字を挿入したので、日支交渉は今日から開始することが出來なくなつた、日本としては三月四日の聯盟總會決議案に從つて交渉を開始せんと言ふので、決議案以外の條件附交渉等に應ずる譯には參らぬ、我軍は停戰協定が出來れば租界及び附近區域に撤退するが、內地までの撤兵は考へてゐない

決議案表決には我政府は棄權に決定
我代表部に回訓を發す

【東京十一日發電通】聯盟總會決議案に關する請訓は十一日正午それ代表部より到達した、外務省首腦部は協議の結果左の趣旨に於て右決議案の表決に對しては帝國政府の態度を表明したる上棄權することに決定し直ちにその旨の回訓を發した、從つて右回訓到達次第恐らく十一日午後四時(日本時間十二日午前一時)より總會を開會し右決議案は日本代表棄權の下に決議として有效に成立を見るものと觀測さる

一、總會決議案は九月三十日及び十二月十日の理事會決議を想起して不戰條約、九ヶ國條約に違反して認められたる一切の協定及び事態を承認せずと云つてゐるが日本は何等條約に違反したる事實なきをもつて決議案の趣旨には何等異存はない

一、然し決議案は第十一條に依る理事會の決議を想起することに依つて第十五條に依り發動しつつある現在の總會が上海事件のみならず滿洲問題にも關與する事を明示してゐる、これ第十五條の適用には日本政府は終始反對し來つた

一、從つて滿洲問題に對する第十五條の適用を明示せる總會決議案に對しては日本は贊成することが出來ない從つて棄權する

委員會、總會の延期を申込む
我佐藤代表より
回訓到著までの

【ゼネバ十日發電通】佐藤代表は十日午後四時イーマン總會議長を訪問し本國政府と決議案に付き打合せを爲す必要あるを理由とし、十一日午前十時半よりの一般委員會及び同日午後の總會を回訓到著まで延期されたき旨申し込んだ

一般委員會開會

【ゼネバ十一日發聯合】聯盟總會一般委員會は本日午前十時四十分開催された

調査員一行神戸出發
上海に向ふ

【神戸十一日發本社支局特電】昨夜ホテルに日本で最後の一夜を明した國際聯盟支那調査委員の一行リットン卿、マッコイ將軍、クローデル將軍、アレスコッチ伯、シュネー氏外隨員等十五名は十一日午前十時自動車にて六甲山にドライブして明媚なる風光を觀賞し再びホテルに歸りリットン卿は一行を代表して記者團に對し滯在中官民より受けたる好意を謝し調査資料と日本を觀察する材料を得たから上海、南京を視察し要人に會ひそれより調査にかかると語つた、正午より神戸官民の歡迎午餐會に臨み午後三時發のプレジデント・ドダムス號にて盛んな見送りを受けて上海に向つた

安保大將戰跡視察
野戰病院も見舞ふ

【上海十一日發電通】安保大將は十一日午前九時から吳淞の戰跡視察後、揚樹浦の陸戰隊本部を訪問して將士を慰問し、次で陸軍野戰病院に負傷兵を見舞うたが、正午からは派遣軍司令部に於ける白川大將主催の午餐會に臨んだが、午後からは各野戰病院を慰問した

馮玉祥が辭任申出
汪兆銘慰留中

【南京十一日發電通】馮玉祥は汪兆銘に對し內政部長辭職を申出たが汪兆銘は目下極力慰留中

上海義勇隊は近く解任
事態回復の爲

【上海十一日發電通】上海義勇隊では事態漸次平常狀態に回復せるに鑑み、從來の警備を緩和し、一定時間だけ警戒勤務に服することとし、數日中には全部解任するに決した

服從を言明
中央の外交方針に
十九路軍の蔡廷楷

【南京十一日發電通】第十九路軍長蔡廷楷は十日羅文幹外交部長と會見の結果、上海事件に關しては完全に中央の外交方針に服從し、十九路軍は單獨の主張をせぬことを言明した

抗日の元兇連外遊を出願
計畫悉く失敗して

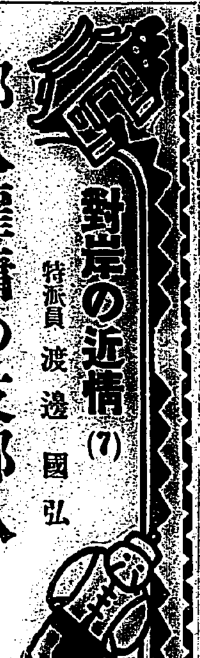
【南京十一日發電通】對日武力抵抗主張の元兇陳友仁は計畫悉く失敗したので居たたまらず、海外旅行を願ひ出で、既に旅券も下附されたがその出發期は猶未定であるが、又蔣天佑も南洋視察その他アジア諸國の經濟視察を爲すと昨日旅券を下附された

日本への金融拒絶
英藏相が答辯
米は勸告せず

【ロンドン十日發電通】十日のイギリス下院に於て政府はアメリカ政府が對支政策の見地からウオール街諸會社に對し、日本への金融を許容することを拒絶する樣勸告したことを知つてゐるや否や、又英國はアメリカと共同し日本に對するイギリスの貸付を禁止する用意あるや否やと質問が出たのに對し、藏相チェンバレーン氏はアメリカは斯かる行動に出たことはないと答へた

西園寺公を近衞公訪問

【東京十一日發電通】近衞文麿公は十一日午前十時駿河臺の本邸に西園寺公を訪問挨拶の上時局各般の問題に付き懇談十一時半辭去した



對岸の近情(7)
特派員　渡邊國弘
邦人雇傭の支那人
『賣國奴』と責められても
生きねばならぬ

日々生起する南支一帶の邦人迫害事件からみても、今度の排日騷ぎが單なる經濟的ボイコットで無くもつと民族的な深い根據に立つてゐることが想像される。香港の吉田總領事のごとき

「これまでの排日騷ぎは、いかに險惡なときでも裏面でいくらかの邦貨は動いてゐた。だから困る、困るとはゴボしてゐてもそれは程度の問題であつたが、今度といふ今度こそ徹底的な經濟的ボイコットを喰ひもしこのまま五六ヶ月も現狀のまま推し進んで行くとしたらその間どうにかかうにか食ひ繋いでは行くだらうが結果は滿洲事變發生以前よりもさらに惡化するだらう」

と憂慮してゐたくらゐだ。事實また今度の排日騷ぎはこれまで職業的排日屋の煽動によつて季節的に行はれた『排貨』の排日」と違つて日本商品を徹底的に排斥しない、といふだけでなく、支那の商品も一旦日本人に賣らないといふくらゐ徹底してゐる。陳濟棠等は當時しきりに「對日經濟絶交」を振り翳し日本を男殺せんとしてゐたが、安んぞ知らん！そのとき既に南支一帶の邦人は所謂「對日經濟絶交」の危惑からけつつあつたのだ

×　　×

汕頭に私が廣東にゐたとき、廣東の邦人たちは日本人の常食である米［上海米で實は內地米と同様だと言はれる］を買ふことが出來ず發奮銀支店の鈴木氏のごときわざわざ香港から臺灣米一俵をとり寄せ邦人間に分けてやつてゐたし、汕頭では和泉洋行?の[illegible]氏が町で白米を買はうとした[illegible]い譯に飛び[illegible]たいくら

ゐだつた

「ちやア居留民は一體どうして生きてゐるんだらう？」

讀者はあるひはさういふ疑問をもたれるかもしれない。が答は至極簡單でいい

「支那人使用人をつかつて買はせるのだ！」

とかういへば讀者はさらにつぎの如く反問されるであらう

「そんな排日の激化してゐるところでどうして支那人を使用人れることが出來るか！」

然り、それは甚だ困難だ。現に汕頭海南島等には、たつた一人の支那人使用人さへゐないのだ。彼等は、日本人に雇傭される同胞を『漢奸』即ち賣國奴！といつて罵しむ讀めるばかりで無く、支那一流の猛烈な弾劾狀がやつてくるのだ

一家おら殺だ。しばり首だ。目玉をくりぬくぞッ！といつたやうな、氣の小さい者なら一ぺんに縮ひ上りさうな脅迫狀が毎日のやうに舞込んでくる

氣の小さくないものでも、山と積まれた[illegible]を前にいささかたじろがざるを得ないのだ

そこで、日に日に彼等の數は、殆ど

人の家から、銀行會社から消えてゆく。が、中にはその脅迫狀の雨を浴びつつ平然と踏張る『忠實な奴』もゐる。彼氏には、恐怖心が無いのだらうか。恐怖心（脅迫過つた恐怖心であらうとも）が無いのだらうか

否、斷じて否

恐怖心はある。恐怖心もあらう。が、それ以上に彼は生きねばならぬのだ

×　　×

私は汕頭で貿易益銀支店長の午餐によばれたが、そのとき給仕に出たのはちよつと小綺麗な風をした支那人少女だつた

彼は訊ねた

「怖かないかネ」

彼女はふふふと意味のない笑みをした

と賀志さんが言つた

「怖かないこともありますすい……がやめてもすぐ代りが來るんですよ。食べないのかほれみるんですネ」

「一食、ないのかー」

汕頭私は、思はず腹にズキズキとうづくものを感じた

「支那にもこの頃とても失業者が多くなりましてネ」

「はアー」

何氣ない風に答つたが、私の心は痛かつた

排日だ！抗日だ！日貨は敵だ！と騷ぎまはつても、所詮それは『腹の空いてゐない人々』の遊戲にすぎないのだ。遊んで食つてゆける人の贅澤な自己陶醉、自己欺瞞にすぎないのだ

「漢奸」とよばれ腹をいためない彼女ではない。一家おら殺だ！と脅迫されては、夜もオチオチ眠れない彼女であらうことも想像される。にも拘らず彼女は日本人賀志氏を離れやうとはしない

何故か？生きるためだ。生存のためだ。これに假說でない。一國賣たる事實だ。ひとり彼女のみでない。私は、香港でも、廣東でも汕頭でも、多くの彼女をみた。彼女の國へ入るなかで、私たちはこれを前に、一方她を深くてみても、一かいに「賣國奴」「貧切り者」と[illegible]か！

日銀金利引下
二厘方引下に決定し
十二日より實施

【東京十一日發電通至急報】日本銀行では利率二厘引下げを決定十二日より實施する事となつた

財界には好影響
本島でも利下げに追從
十二日臺銀で協議對策する

日銀金利引下につき臺銀吉田頭取は語る

「豫期されては居たが意外に早くやつたものだ、金再禁止以來『金から物へ』の轉換作用が激しくなり內地方面では預金の著減で民間銀行の金融がかなり逼迫して居た折柄その救濟策として日銀利下げが要望されて居たのであるからいよいよ實施となれば金融緩和には大いに力となり民間銀行の潤ひから事業界にも資金コストが安くなり好都合で人氣も立つといふわけだ……本島としては當行は未だ何ら公電にも接してゐないので何とも云へぬがいづれ十二日協議の上內地側の意見も聞いて利率引下げに追從することにならう、島內他銀行も別に差務はないがやはりそれに準じて多少の色をつけるに至らうと思はれる」云々

日銀利下げ觀
インフレーションへの一歩か
一記者

斷然やるべきだ……と要路はされてゐたが政府筋の意嚮はやらぬやらぬで頑强押し通して居たので今度の利下げ發表は全く突然であつた、よほど急き要求が傳はれたためか市場相場にさへも現はれてゐたらず全く出し拔いた形だ、大臣たるものもこれが突然實施期を早めたわけは金再禁以來『金から物へ』の限りなき逃避に民間銀行の預金が激減し金融逼迫が頗大影響を及ぼさんとしてゐるのでその防止救濟の意味もあり、又今一つは滿洲國は國立、南支未だ解決されてその紛爭の際、上海事件もどうやら見通しがついたのでこの際思ひ切つて斷行したものであらう、金利引下げの理由は見やうによつていろいろ言へやうが、一つは前內閣の末期井上藏相が正貨流出を防止するため政策的立場から無理に第三引上げ斷行した悲から惱み今や金輸出禁止をしたから金流出の不安が消え金利を元へ戻さうとする常なる反動だとも云へる。しかし、今一つの見方によると氣づかれた日支事件も先づ見通しがついたので總選擧によつて國民の絶對信任を得た力を自己本然の積極政策によつて表現しやうとする積極政策への第一歩とも云へやう、こ

限外發行税一分引下げ

【東京十一日發電通】政府は日本銀行の利下に伴ひ十二日から日銀の限外發行税年六分を五分に引下げることとなつた

れによつて漸く人氣は好轉し株式市場も活況に拍車をかけ事業界も活氣づくから政府は恐らく[illegible]期を見て第二次第三次の利下げを斷行して小ダシにインフレーション[illegible]

小濱內務局長
十七日東京出發
十一日入京して
總督に挨拶

【東京十一日發本社支局特電】內務局長小濱淨鑛氏は昨日午後入京した、今日(十一日)午後三時首相官邸に太田總督を訪問し挨拶した同氏は記者に語つていふ[illegible]は初めてだが公務の方は昨年自治研究會にて公務の方々より承り來り[illegible]一從行き從いと望んでゐたところ今回は[illegible]からずもその望が達せられた、故郷に先帝の不[illegible]及び[illegible]大勢の友人が居られるから心強く思ふ、赴任は總督から早く行くやうにとの事故十七日東京出發十九日の船に乘る豫定である、取り敢へず[illegible]で赴任する

十二日からの
公定日步

【東京十一日發電通】日本銀行は十一日午後六時同行公定日歩を二厘方引下げ十二日より實施の旨發表した之に依り同行の公定日歩は十一月五日の改正と同時に引上げした前の日歩に復したもので

一、商業手形割引歩合日歩一錢六厘

一、國債を擔保とする貸付利子及び國債を保證とする手形割引歩合、日歩一錢七厘以上

一、國債以外のものを擔保とする貸付利子及び國債以外のものを保證とする手形割引歩合、日歩一錢八厘以上

一、當座貸越利子及びコレスポンデンス貸越利子、日歩二錢

ゞ政策の[illegible]を來すに至らう──[illegible]要に向ふもので國民を[illegible]『大[illegible]』といふものへの[illegible]であるとみて國民はその成行きを[illegible]するわけである

殘存米は合計
四千二百萬石
三月一日現在

【東京十一日發電通】農林省發表三月一日現在殘存米は內地米、朝鮮米、臺灣米、外國米を合せて四千二百三十四萬六千五百七十三石でその內譯左の如し

△內地米　四〇、八七〇、八四七石
民間持(生產者持)　三一、五一三、〇二三石
米穀商人持

△朝鮮米
政府持　五、一七二、五七〇
民間持　四、一八五、二五四

△臺灣米
民間持　一、一五一、一三九

△外國米
民間持　二七八、一四五

△合計
民間持　四六、三四二
政府持　四二、三四六、五七三
　　　　三八、一六一、三一九
　　　　四、一八五、二五四

督府辭令
(三月十一日)
督府法院判官　松山宏一
四級俸下賜
補高等法院判事兼督府法院判官

新總督歡迎の
行事は簡素に
長官以下が種々協議

南總督着任の際に於ける歡迎方法について十一日午後三時より長官官邸に於て長官、不山外事、內海市尹、民間の主なるもの數氏の出席を求め種々協議するところあつたが出迎へは一切簡素にする方針であるらしい

新守備隊司令官
著任の儀式

外山臺灣守備隊司令官は十九日午後二時五十分基隆發列車にて著任することとなつたが著任儀式は左の如くである

北部第一部隊は臺北驛前廣場に參列、步兵第一聯隊及び山砲大隊は臺北驛前十字路を右翼として表町より博物館前を經て總督府前に至る間に整列するが、司令官は驛頭より乘馬にて儀式を受く、午後三時三十分より總督府前に於て將校相當官の閲兵式が行はれる

栃內海軍大將
勅選に內定

【東京十一日發電通】海軍大將栃內曾次郎氏は貴族院勅選議員に推薦されることに內定した

倉富樞府議長
も園公を訪問

【東京十一日發電通】倉富樞府議長は十一日午後二時西園寺公を訪問時局問題に付き懇談した

◇シナチク◇

東京府外北澤の清閑な住居に晩年を心靜かに送つてゐる元の山力社長高橋是清?[illegible]翁は、故郷の[illegible]を遂げた人で浮世とは無關心ではあるが、その社長の心算[illegible]して[illegible]の際にはまつた[illegible]十年間の[illegible]であつた[illegible]

本日肉食デー
(肉類)二割引
內地肉
鳥伊

移轉御披露
今般都合に依り左記へ移轉致し候間
臺北市川端町四二一　電話二三五九番
西里月花園

外科 皮膚梅毒科　本町二丁目　一番瀨醫院

內科　表町二丁目　殿村醫院

外科　京町二丁目　大場醫院

產科 婦人科　鶴田醫院

眼科　大和町四丁目　笥井醫院

耳鼻咽喉科　本町二丁目　藏田醫院

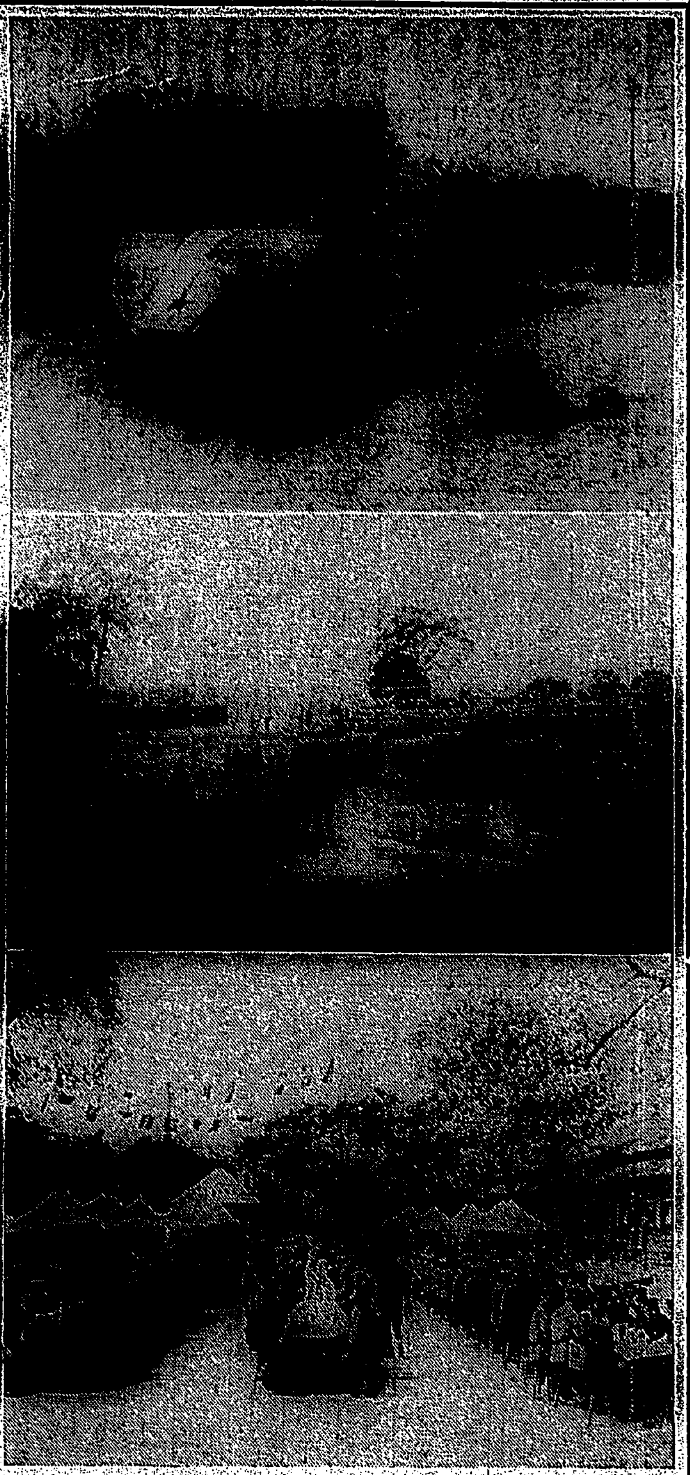
齒科　京町一丁目　小林醫院

耳鼻咽喉科　榮町　天野醫院

小兒科　京町一丁目　関屋醫院

內科 皮膚科　臺北市本町　千本醫院

外科　本町三丁目　菅沼醫院



陸軍記念日寫眞（上）新竹の攻防戰に出動したタンク（中）嘉義摸擬戰後の閲兵式（下）宜蘭の祝賀會

—同緯度でもこの違ひ—
新高は一尺五寸の積雪
臺中市はもう夏景色

【臺中電話】臺中の昨今は漸く初夏に入った氣溫で既に八十度を突破してゐるが新高山方面はまだ依然雪に閉されて居り、十日の陸軍記念日には小雪でこそあれ降雪もあり[illegible]（海拔一萬三千餘尺）附近は十一日現在積雪一尺五寸餘あり、臺中の[illegible]から新高山を問合せたに對し同山は目下の所右の如き積雪のため登山不可能との旨同駐在所から返事があったと

盤手、淺間兩艦
馬公に入港
晝夜盛んなる歡迎

【馬公電話十一日發】十一日午前十時入港の豫定であった練習艦隊盤手、淺間は午前八時半[illegible]入港、午前九時[illegible]司令官、木下[illegible]艦長、[illegible]艦長、[illegible]は陸上[illegible]に[illegible]午前十時[illegible]より[illegible]からは[illegible]、[illegible]、馬公街[illegible]では[illegible]、武徳殿、馬公會館、[illegible]、在郷軍人[illegible]を開放して歡待、在郷軍人[illegible]の案内で[illegible]各所に[illegible]の[illegible]を設けて歡迎した午後一時から[illegible]を[illegible]された[illegible]續いて[illegible]午後六時から[illegible]司令官以下[illegible]を招待[illegible]いた

軍樂隊演奏と
艦隊の軍事映畫公開

【高雄電話】練習艦隊乘組員の上十三日午後一時より第一小學校にて軍樂隊演奏を催し十四日午後七時より艦隊の軍事活動寫眞を第二小學校にて一般に公開する事となった

高雄在泊中の
練習艦の拜觀
十四日午前九時から

【高雄電話】高雄における練習艦隊の拜觀は十四日午前九時より午後四時迄で拜觀者は可成團體として學校生徒は五年生以上で、在郷軍人分會、青年團で拜觀者の世話をするが、[illegible]から[illegible]の[illegible]は大人十錢、[illegible]生徒に十二歲以下の子供、在郷軍人[illegible]者は五錢を徴收すると

新高分會の
射擊大會
十日盛大に擧行

【嘉義電話】在郷軍人新高分會では十日の陸軍記念日に[illegible]在郷軍人の射擊大會を[illegible]主催で[illegible]午前九時より[illegible]で[illegible]を[illegible]したが當日はやや曇り日で時々小雨を催し射撃日和とまでゆかなかったが[illegible]と日月潭[illegible]の[illegible]力會社、[illegible]所、[illegible]工業所[illegible]在郷軍人の出席もあり、總員六十五名來賓二十餘名[illegible]の射撃まであり[illegible]大に午後五時近く終了した成績次の通り

▲在郷軍人の部

[illegible]一人五發一人[illegible]平均點九、三七[illegible]

第一部八七五

一等三十三點　川[illegible]　秀（[illegible]）

二等三十一點　[illegible]　[illegible]（[illegible]）

三等三十點　[illegible]

四等二十八點　内田　[illegible]（[illegible]）

五等二十八點　[illegible]（[illegible]）

△學生の部

[illegible]

一等十四點　小林　乙七

二等十一點　王　有　[illegible]

三等　十點　黄　財　炎

四等　四點　[illegible]

五等　一點　呂　金　[illegible]

以下適中者なし

彰化高女の卒業式

【彰化電話】來る十六日午前十時[illegible]彰化高等女學校では同校第九回卒業式、[illegible]證書授與式を擧行すると

遭難か—
竹筏で
出漁したきり

【高雄電話】高雄市[illegible]外二名は九日午後六時頃竹筏で岡山郡下に出漁したが十一日夜になっても戻らぬので遭難したものではないかと搜査方を高雄署に願ひ出た

屏東獻金二つ

屏東[illegible]會は既報の如く[illegible]四日に[illegible]たもの[illegible]金八十二圓を十一日[illegible]に提出した▲屏東[illegible]金五十圓を國防獻金に申出た

不正の秤で
數萬圓の富
驚き入った屏東市場の
奸商四名罰せらる

屏東街六二九番地[illegible]同八二二番地[illegible]同[illegible]一一七〇番地[illegible]（以上[illegible]）の四人は市場内で[illegible]を巧みに細工して五分乃至一割の不正な[illegible]をし中には數萬の富を積んだ者もあるとかだが過般の[illegible]で發見され取調中だが[illegible]に依って營業を取消し市場使用も取消す方針であると

產組協會
臺南支會總會

【臺南電話】產業組合協會臺南州支會では十二日通常總會の開催を[illegible]式として功勞者表彰式を擧行の筈で同日午前九時總會に先立ち功勞者として臺南州民[illegible]

見事な燈火管制に
暗黑の空と地に戰鬪
十日陸軍記念日の夜
人出一萬に及ぶ

【臺南電話】陸軍記念日夜の臺南市に於る燈火管制は初めての催しであるだけ成績その他に一般の期待や興味は大なるものがあった、午後八時頃赤色燈火の飛行機一臺飛來し市上空を高く低く旋廻し[illegible]ら模擬投下演習を行って先づ市民の心を緊張せしめ、十時八分響き渡るモーターサイレンとともに臺南市は暗黑と化し闇に乘じて[illegible]設置せられた市内高所八ヶ所より[illegible]な機關銃の[illegible]人は非常の場合を想起して[illegible]れた飛行機から一發の[illegible]を[illegible]第一回十分間の消燈後[illegible]に上る火災に對する消火演習は市内[illegible]町[illegible]廣場に建てられた假家屋に火を放ち燃え上る所を消防組第一、第二部の消防組は[illegible]部長指揮の下に一齊に放水作業をなし夜空に高く火勢水勢が入亂れて[illegible]する壯觀を呈し附近一帶に集った約一萬人と稱せらるる大觀衆をして[illegible]たらしめた、終って同十時三十八分第二回の消燈十五分間行はれたが[illegible]成功裡に終了した、尚當日は臺南署は[illegible]交通整理に全力を注いだ爲全市に互り大觀衆を來したが事故無に終らしめその機能を完全に發揮した

高雄の音樂會
十二日青年會館

【高雄電話】高雄州教育會主催の州下[illegible]校教員、小公學校兒童、[illegible]年團員の音樂會は十二日午後二時より青年會館にて開催する

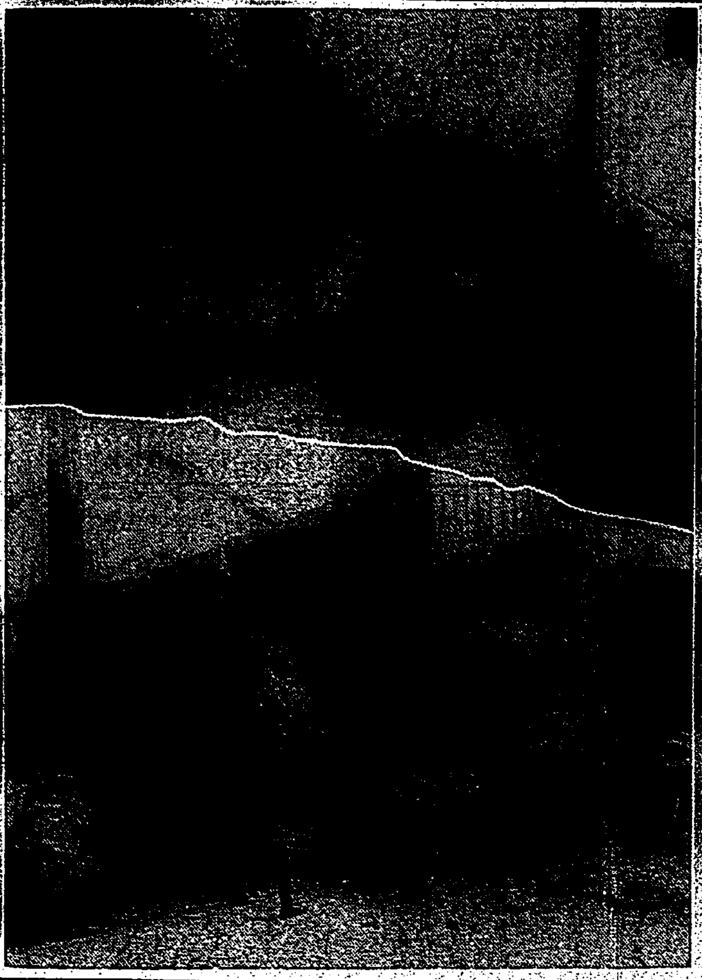
臺中の火事
一棟五戶燒く

【臺中電話】十一日午後二時半頃臺中市[illegible]町三丁目[illegible]職工[illegible]の家から出火したが[illegible]の事でもあり近所の者がすぐ發見し臺中消防組も駆けつけ消火に努め一棟五戶を[illegible]して三時鎭火した、出火の原因等につき臺中署で取調べ中

臺中での
賀川氏講演
十三日、日曜で

【臺中電話】神の國運動者賀川豐彦氏は十二日來中十三日午前十時半と午後七時半の二回に互り臺中大正町日本基督教會にて信者のために講演し、又十四日は午前十時臺中高等女學校にて同校生徒のために神の國の宣傳をなし、午後は七時半から公會堂にて一般市民のため有益な講演をなすこととなったが公會堂は入場料十錢を徴收すると

[illegible]利用組合[illegible]氏に對し[illegible]支會長[illegible]より[illegible]に賞品を授け來賓の祝辭につき櫻井氏の代表答辭があって終了の告げ、[illegible]それに引續き第八回通常總會に移り支會長の挨拶から七年度收支豫算に關する件、[illegible]決算報告があって散會の順序である、七年度豫算は八千七百三十一圓で前年に比較し九百六十六圓の減を示し事業にあっても特に見るべきものはない



實戰を想はす壯烈さ—（上）は臺南の陸軍記念日摸擬戰に於けるタンクの活躍（下）同じく宜蘭に於ける當日、寫眞は機關銃による市街戰

臺南州警務部の
非常召集
そのまま烏山頭で
發火演習

【臺南電話】臺南州警務部では十日の陸軍記念日を卜し警務部及び各支部聯合で非常召集を行ひ土井警務部長、[illegible]部長指揮の下に[illegible]烏山頭貯水池を[illegible]すとの想定に基づき各支部は攻[illegible]六十名午前零時半より警務部は[illegible]四十名、同二時より夫々出動し同貯水池を中心に壯烈なる發火演習を行ったが附近一帶の部落民は黑山の如く押し寄せて[illegible]好成績を示して同九時終了散會した

貨車に觸れて
少女の絶命
北港製糖所の慘死

【北港電話】十日午後零時十分頃北港郡北港街大日本製糖會社北港製糖所[illegible]にて同郡[illegible]林[illegible]長女陳氏[illegible]が休憩中、入替作業中の機關車に衝き倒されて[illegible]骨三本折損し大騷ぎとなり直ちに醫師の應急手當をうけたが午後三時遂に絶命した同人は同所構内に作業中の[illegible]のものに弁當を運び歸途同所に休んでゐたもので衝き倒された原因は本人の過失か入替作業中の機關手の過失か取調べ中にてまだ判明しない

[illegible]は[illegible]でも[illegible]な[illegible]の[illegible]だけに[illegible]に迫るものがある[illegible]なく五十キロ[illegible]、[illegible]馬力、イスパノシーザー三百馬力、[illegible]ブロペラー[illegible]臺中[illegible]などを[illegible]に[illegible]十數機は[illegible]の[illegible]、[illegible]外[illegible]に用ゐたものだけに[illegible]一般[illegible]上って[illegible]に[illegible]から[illegible]れなかった所のものである

花蓮港高女
十一日卒業式

【花蓮港電話】花蓮港高等女學校では十一日午前九時から同校講堂に於て第二回卒業證書、第一回研究科修了證書授與式が行はれた、卒業生二十八名、研究科四名であるが、式終了後生徒の作品展覽會があり來觀者多數盛大であった

臺中高女卒業式

【臺中電話】臺中高等女學校では來る十五日午前九時から本科第八回卒業生に補習科第六回修了生の證書授與式を擧行すると

臺中市國語普及會

【臺中電話】臺中市國語普及會では十二日午後一時から臺中女子公學校講堂において[illegible]、[illegible]、新富町、有明町、[illegible]の各國語普及會[illegible]生二百九名に對し終了證書授與式を行ふと

珍物揃ひの
防空展
屏東聯隊の
大努力

屏東會館で十日陸軍記念日に開催された防空展覽會は飛行聯隊で特に力を入れたものでポスター[illegible]

蜿蜒一里に及んだ
中壢の記念日大行列
未曾有の盛況を見る

【中壢電話】中壢街に於ける陸軍記念日は正午公會堂に於て盛大なる祝賀會を催したが午後六時を期し[illegible]天城攻擊の模擬戰が展開され日本軍は[illegible]部隊は市場より公學校[illegible]入口に[illegible]猛烈なる砲火を交へ遂に敵軍を[illegible]して天城を占領し萬歲を三唱し七時[illegible]に引揚げたが[illegible]時半より[illegible]二萬餘の中壢官民合同に依って陸軍記念日祝賀行列に移り[illegible]郡守、[illegible]、[illegible]庄長、[illegible]街長を先頭にして[illegible]隊、[illegible]隊、上街隊、小公學校隊、青年團、[illegible]隊、街役場隊、下街隊、中壢デモ新聞社、[illegible]等[illegible]蜿蜒一里近き大行列をなし各商店頭には萬國旗及[illegible]を[illegible]裝飾し中壢市街は一面火の海に化し各地より見物人は數萬を越え實に未曾有の大盛況を呈し十二時頃散會した、本社[illegible]主催の[illegible]新聞號外發行は數回に互り[illegible]を[illegible]一般から好評を博した

屏東—花蓮港間
往復飛行演習
三日に互り豫定通り完了

【花蓮港電話】花蓮港、屏東間の往復飛行第三日目の十一日は九三號[illegible]機長機午前十時四十分[illegible]、[illegible]の五二八號機は同四十五分[illegible]し五二八號機は午後零時十三分九三號機は零時二十五分何れも[illegible]飛行を[illegible]についたが[illegible]飛行場には[illegible]部長、西村[illegible]、[illegible]中隊長、[illegible]等多數出迎へ三日間の飛行無事終了の祝盃を擧げたが九三、五二八の兩機は花蓮港街上空を低空飛行名殘を惜んで屏東よりの[illegible]物二十七通に達したが來花中であった[illegible]中尉は五二八號機に搭乘して歸隊し[illegible]中尉が交代操縦者のため[illegible]日間滯在することとなった

玉里庄の
堤防施設工事

【花蓮港電話】玉里庄[illegible]の防[illegible]工事は八日入札に附されたが右工事は[illegible]の[illegible]に沿ひ[illegible]部落の[illegible]の區域で[illegible]民が久しい[illegible]してゐたもので[illegible]工事延長は六十間であるが[illegible]のため年々[illegible]五十甲歩から[illegible]の田畑の[illegible]を見てゐるために[illegible]は[illegible]の[illegible]分に當る二千人分の勞力を提供し[illegible]一ヶ所もこれを[illegible]することになってゐる右工事は近日入札に附せられる筈である

臺中州農會

【臺中電話】臺中州農會では來る十九日本年二期作の稻種査定會を開き[illegible]の決定をなすと

內務局技手
太巴塱で殉死

【花蓮港電話】內務局地理課勤務[illegible]技手[illegible]氏は官有地整理事務のため太巴塱に出張中同地にて[illegible]に罹り九日同地で病歿したが[illegible]に赴き[illegible]に附し[illegible]へ十一日[illegible]へ向ったが[illegible]長は[illegible]をなした

馬公便り

▲[illegible]新竹州[illegible]部[illegible]として八日夜[illegible]九日[illegible]内で各方面[illegible]をなし同夜高雄に向け出發した

▲久保博士一行　[illegible]氏等は各方面[illegible]を完全に終へ九日夜[illegible]丸で高雄に向け出發した因みに[illegible]

屏東閑卓

▲今年の陸軍記念日が[illegible]されて然し[illegible]あったのは[illegible]

橋板

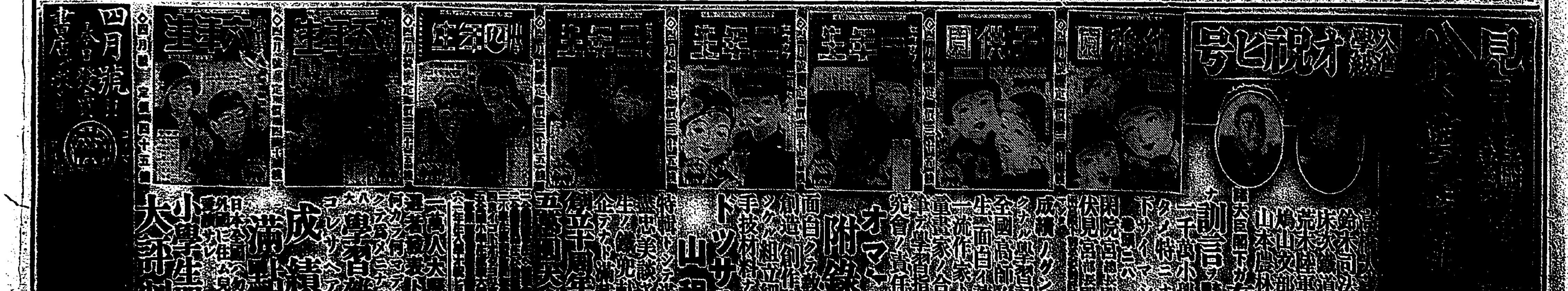
▲[illegible]に於ける[illegible]記念日[illegible]

南投郡堆肥品評會

新竹州警務部武道講習會披會式

光榮の小學生

內科、外科、產婦人科
齒科、レントゲン科
同生病院



見よ
入學紀念オ祝ヒ号
幼稚園
子供園
一年生
二年生
三年生
四年生
五年生
六年生
四月號各誌發賣
訓言ヲ賜ハル有益
附錄ハオマケノ
山程!!トッサリ
成績ハ滿點!
小學生間ニ大評判

敵陣營爆撃の壯觀！

日本軍大勝の目に『支那軍大勝』を報す

氣狂ひ沙汰の支那紙の與太

白川、菱刈兩大將戰死と宣傳

（香港通信員大航生發）三月一日から三日にかけ、上海に於ける我軍の段段的總攻撃は一擧にして大場、眞茹、南翔、嘉定、[illegible]各地を席捲、占領したのであるが、香港、廣東方面では「支那軍が空前未曾有の大勝を博し日本軍が遺棄せる死屍は八千に達す」とあつて澳門では三日夜、香港では四日夜、實に物凄いばかりの

祝勝爆竹 が全市を蔽ひ熱狂した、香港在留日本人にはこの祝勝大爆竹は實に寢耳に水である「支那軍大勝し日本軍を退却中」とか「日本軍潰滅し、生き殘れる者は全部として軍艦内に避難した」とかいふ大々的宣傳文字に、すつかり有頂天になつた支那の狂態を、在留日本人は「非常識な無智な人間に對する哀れみ」を以て眺めないでは居られなかつた、三日に我軍は支那軍を二十キロの

地域外に 遠く驅逐したのであるが其の翌日、香港や廣東では「支那軍が空前絕後の大勝」を博した形になつてゐるから、爆竹屋や旅館や與論屋に買收された紙の新聞を讀んでゐる支那人こそ全く馬鹿げた限りである、廣東の在留邦人は、支那人との間の商取引が絕無となり

居留民會 では『沙面以外に出かけないこと、關係者は成るべく早く歸國すること』を決議し、唯一の邦字紙だつた廣東新聞も三月一日を以て遂に廢刊のやむなき有様となつたが、廣東在住日本人の引揚げにつき

支那側で は次の如く新聞紙上に發表して、在留邦人を啞然させた

一日本軍は全部上海に出拂つてしまひ國內の防備に當るべき兵隊が無くなつてしまつた、そこで日本政府は國防上の見地から各地在留民を引揚げしめ、彼等に召集令を發し、從軍せしめざるを得ない事となつた云々

五日の新聞で見ると『上海は支那軍により全く占領せられ白川大將及び菱刈大將は遂に戰死した』と大々的に報道、常識ある者をしてアツと驚かせた

兵器獻納金獻金者氏名

一金四千四百六拾七圓五拾四錢二月六日迄ノ分

十四圓五十五錢金子保太郎、大四圓八十七錢服部榮三郎、六圓三十八錢渡邊里樹、五圓七十三錢藤井與、五圓七十三錢永井敬一郎、六十六圓八十九錢二反田彥一外六八名、十圓五十九錢上田白藏、五圓十九錢下瀬芳太郎、十一圓卅七錢福澤平治外廿一名、九圓八十錢太田茂作外十名、二圓三十四錢居部照外二名、一圓三十八錢藤原泰英外一名、二圓四十二錢葛西滿住外四名、一圓九十三錢大和田泰治外四名、六十四錢岡根忠夫外一名、一圓六十一錢平山季春外三名、八十六錢金田藤市、一圓十五錢岩佐正榮外一名、八十錢足山兵庫、三圓三十四錢神保三作外六名、一圓十八錢岩切武弘外一名、百圓手島主從華道協會手島ふじ、十圓大竹那代、五圓千木信次、五圓岡田廉治郎、五圓岩谷榮、七圓吉本昭子店外五名、百圓鈴木サキ、二十四圓三田喜米、三十圓志賀德藏太郎、五十圓和泉伊右衛一同代納紹江德太郎、六圓三十七錢作所田武吉、五圓十九錢藤陵竹藏、友良茂、二十三圓六錢山本宗三郎外二名、十六名、三圓打木崇太郎外、五圓十九錢山口豬、六圓九十二錢松崎貞吉外十一名、二百圓足利正夫、十圓山川德平、五圓前田初五郎、二百圓三谷芳太郎、五圓中野友三郎、十六圓四十錢堀內次雄、十二圓六十五錢小島勝二、十一圓四十三錢久保信之、十四圓六十二錢梅川池、五圓十九錢九山谷、五圓十九錢早田元助、五圓十九錢安藤好次、五圓七十一錢日野一郎、五圓十九錢杉山九一、五圓七十一錢弓削久兵衛、五十三圓六十二錢宮原毅外五十四名、六十四圓二十錢平原盛藏外二八一名、百圓桐原音次郎、五圓日蓮宗信行教會代表者田潤日藏、千圓松原政太郎、十一圓高橋兵吉、九圓九十錢高橋兵吉、八圓三十七錢高橋兵吉、二圓無名氏、五十圓井本芳太郎外九名代表者井本芳太郎、五十圓鹽田ブサ、十四圓五十三錢池田藏六、七圓六十錢角田園次、六圓八十一錢、中島二郎、百二十四圓八十七錢玉手治一外一六八名、十四山中前平

計二千五百六十一圓五十五錢

累計七千二十九圓九錢

臺日歌壇

安成二郎選

（用紙はがき▲一紙五首以內▲宛先臺日歌壇）

臺北　都　文子

兵隊の砲煙の響の聞こゆればわれも胸をとどろかせ聞かんとする

臺南　弘田　朝子

春が來のかざしにさせる櫻の花欲しと云ふ少女のつぶらなる眼よ

あかあかと夕日さしこむこの部屋の黃色の花はやゝしなえてあり

臺北　栗崎　禎子

國民の祝旗を下げし店の前、立止まりては子等の見てゆく

綠路ばたの柳架の新芽に顫え出でし日向が數多枝ゆすり飽り

遊子はつれの旅に飽きて歸國みれり今か名殘は初まりたるらし

JFAK

三月十二日

▲午前六時三十分　朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ（臺北測候所發表）

▲午前八時　全國氣象通報（東京）

▲午前九時三十分　家庭百科問答△夜探偵の子供△かるめ燒の作り方

▲午前十時　今日の家庭料理獻立△風の風呂吹き△黃味卷き

▲午前十一時　月曜臺北市公設西門市場發表

▲午前十一時五十九分　正午の時報△氣象通報（臺北測候所發表）

▲午後零時十分　放送局編輯ニュース

▲午後零時二十分　慰問娛樂時間（レコード演奏）管絃樂　交響詩『死と變容』（リヒアルド・シュトラウス作曲）伯林國立歌劇場管絃樂團指揮リヒアルド・シュトラウス

▲午後五時　子供の時間（東京）

▲午後五時三十分　公民常識講座（大阪）「國際關係」九州帝國大學教授大津淳

▲午後六時　連續童話（臺北）「飛行少年」（その二）栗山武雄

▲午後六時三十分　講演（東京）演題未定、講演者未定

▲午後七時　連續講談その二（大阪）二龍齋貞山

▲午後七時三十分　琵琶（大阪）

▲午後八時　ピアノ獨奏（東京）レオ・シロタ「展覽會の繪」（ムソルグスキー作曲）プロムナード―小人の精―プロムナード―古城―プロムナード―テュイルリー宮殿の庭に子供等遊ぶ圖―牛車―プロムナード―殼のまま孵る雛ひよこの舞踊―サミュエル・ゴールデンベルクとシュミュイレ―リモージュの市場―墓窟―ババヤガの小屋―キエフ市の大きな門

▲午後八時三十一分　奉天より中繼　奉天放送局

▲午後八時四十分　家元△助六曲輪菊（助六）淨瑠璃川內蝶之助、淨瑠璃保吉德次郎、三味線保吉ヤス子

▲午後九時　小唄△江戶小春、本調子「初雪」同「西行さん」二上り「わしにあひたくば」本調子「こころところ」同「待ちわびて」唄羽六ティ子三味線見晴千代子

▲午後九時二十分▲時報▲氣象通報（臺北測候所發表）▲翌日ニュース▲放送局編輯ニュース▲公示事項告知事項▲明日のプログラム發表

東亞の謎

(216)　作者　國枝史郎　畫家　伊藤順三

取りつ取られつ（一〇）

（兎も角様子を訊いて見やう）

門をくぐつて土間へ這入り、帳場にゐるお神さんへ吉五郎は訊いた。

「辻君歸つて來ましたかな？」

眼のしよぼしよぼした六十近い老婆が好人物らしい顏をして。

「まだお歸りではございませんが二階へ上がつてお待ちなすつたら……ぢきに歸つて參りませうよ……それは然うとどなた様でしたかな」

「僕は辻君の友人ですが……いや夫れでは又來ませう」

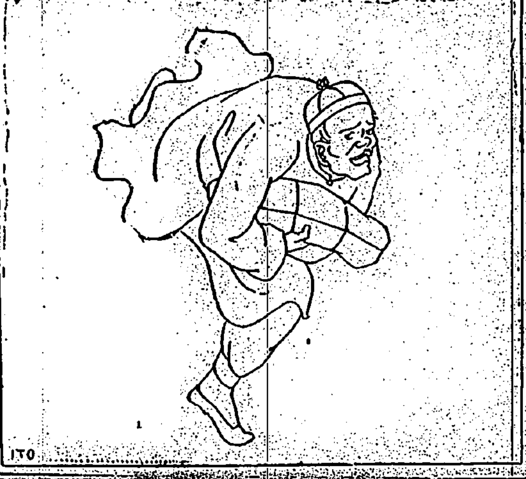
吉五郎は土間から出た。

この邊の通りは薄暗くて狹く人の往來もまばらであつた。

その通りへ通れる露路があつた。

その露路口へ身體をかくし、しばらく吉五郎は待つてゐた。

道でつかまへて嚴談してやらう場合によつては張り倒して、どうでも包物を取つてやらう。必然持つてゐるに相違ないと、彼はかう思つてゐるのであつた。



小雪がチラ〳〵降つて來た、全く人通りが絕えてしまつた。

彼は可成り長いこと待つた。どうにも寒くてならなかつた。

こんなことなら云はれるままに彼奴の二階の部屋へ上がつて、火鉢にでもあたつて待つてゐればよかつた。――こんなことが思はれて來た。

足踏みして彼は待つた。

と、市太郎らしい人影が、通りの一方から步いて來た。

（それでも遂々來やがつたな）

吉五郎はニヤリと笑つた。

不意に彼は飛び出して行つた。

「近、おい、地圖をよこせ！」

「…………」

ギョッとして市太郎は後へ下がつた。

その市太郎が大切さうに、脇の包みを胸に抱いてゐるのを、決して吉五郎は見逃さなかつた。

そこで文句は無いことになつた。

ポカーリ！

「痛え！」

「十年でも喰らえ！」

ひつたくつた包みを小脇にかかへて、もう吉五郎は走つてゐた。

背後から喚き罵り叫ぶ、市太郎の聲が追つて來た。

（畜生、色男、十年でも呪へ！……が何處へ來られさい。ものした奴をものされたんだからなあ）

吉五郎はイラ〳〵した可い氣持で、後を振り返らずひた走つた。

×　×

吉五郎が家へ歸つて來た時にも朱日鄉と武村とは同じ部屋で、互ひに相手を睨はしさうに、探ぐり合ふやうにして向ひ合つてゐた。

そこへ吉五郎が飛び込んで行つた。

「お二人さん何うしたんで」

吉五郎は得意でハシャイでゐた。

「地圖のことでせう、盜まれた地圖の……地圖なら此處にちやんとありまさあ。……お話はゆつくりお話しするとして、何より先に眞物をね」

吉五郎は包みを解いた。

中から出たものは古新聞であつた。

「ソーーン」

「…………」

「…………」

×　×

翌日早朝に大連驛から、奉天の方へ向つて發車した、滿鐵列車の三等室に、女が五六人乘つてゐた。北方へ賣られて行く娼婦達であつた。

その中に梨影といふ女もゐた。古いトランクに寄りかかりながら梨影といふ女は考へ込んでゐた。

臺なかだち

求職一件一回壹圓貳拾錢　其他一同壹圓七拾錢　廣告二名倍額

電話直賣恩給立替商品券　本町電三六二六　三成社

電話賣物あり貸しても良し　兒玉町二ノ三電九五八　渡邊商店

下宿屋　居抜きの儘讓渡したし　魚新

紅葉園住宅地　月賦賣却　電二七六五　建物會社

女中入用　十七歲より廿五歲迄數名　希望本人來談　北投電話三〇番　松濤館

女給さん　入用四五名至急　素人の方にても可　新起町電八六九　カフエー銀河

貸家　三立町　電一九〇九　王理商店

貸家　四山運動場の東　電話一八六五　杉江家

貸家　文化村七條　市場北通り　電四五一一番　本店

新青年　四月特大號

肉彈戰にも心の物語がある！

幻の兵隊（獨逸部隊）

燻鷄屋の兵隊（滿洲戰線）

シガレット（英國部隊）

送葬曲（米國部隊）

連載長篇　妄談銀座　佐藤春夫

武州公秘話　谷崎潤一郎

恐怖城　佐左木俊郎

傀儡師　ウイツト・マーシ

◆リビアの月夜　稻垣足穗

◆さぼてんの花　深尾須磨子

◆西湖の屍人　海野十三

日本の野心は何處に？（排日の巨頭は斯く語る！）

野球　新人論　早大の陣營から　佐伯　私の希望　井川　明大の新人　赤木　期待される新人群　飛田穗洲

◆アダナ展覽會

特別附錄　青春辭典

引く辭典なら何處にもある　讀む辭典！これは少ない！

原稿紙にして一千枚の豐富さ！

◆此の他數十篇大滿載！

特價八十錢

博文館（振替東京二四〇）

貴顯名流貴婦人御愛用

大日本俳優協會推奬　日本俳優學校專用

第三回化學工業博覽會優良賞受領

三木元子女史創製

サーワ白粉

チタニウムを主劑に特殊の成分を配合せる

滲込んだ樣に生地に沈んで

汗に崩れず　剝げ落ちない

白粉下要らずの　空前の優秀白粉

それで居て　純無鉛無害なのです

紫外線を反射するから　其仕上りの冴えた明るさ　寫眞を撮つて見ると　目立がくつきり寫ります

されはこそ　お顏面を自然に生々と若返らせると　鴈治郎丈も激賞　愛用してゐる

サーワ白粉

長三郎丈も扇雀丈も揃つて愛用

中村鴈治郎丈と其書翰

ミツワ石鹸本舖　丸見屋商店

米價の立直りは
都會地の大滯貨減少後
時局の影響で白米は買旺盛

堂島　文箭郡次郎氏談

（承前）米專賣實行の曉、臺鮮米の移入を統制する事は政府の方針であるが此の統制には外米をも包含するものと見て好からう而して

臺鮮米 の移入を統制することは兩地の米[illegible]を調節することにもなるから內地や朝鮮に取つては相當大なる問題である兎に角米價の法外なる暴落に永年苦い經驗を嘗めた我が國として米を專賣にすることは農政上將た社會政策上當然落付くべき理想であつて根本の趣旨に於ては吾々とても反對出來ないが、問題は唯だ實行に幾多の難點があるといふことである、而して此の

專賣に 對する政府の決意は相當固いやうであるから吾々米業者とても此の問題につき一層深く研究すると共に專賣になつても困らぬだけの覺悟はして置かねばならぬ、實は堂島の私の店は二月一杯で廢業しやうと思つてゐたのであるが、米專賣實行の曉には前述の如く五ケ年平均の一ケ年出來高に應じ石五錢宛の割で營業補償金が貰へるので堂島でも

比較的 賣買出來高の多い私の店を今やめるのは惜しいといふ氣にもなり廢業は思ひとまる事にしたサテ金輸再禁止後の米價は私が昨年十一月來臺した當時お話した通り廿四圓から三圓上つて二十六圓臺まで昂騰し二月より反動安に移つて過日廿四圓四十錢迄崩落したが此邊で與して底を入れるか何うかが問題である何しろ再禁後猛烈に騰致された「金より物へ」の傾向は

全國的 に商品の投資を要旁盛んにし米の如きも都會地商人の思惑買付非常に多く不作年にも珍らしい大在米を現出した農家は金に詰つて賣り急ぎ正米筋や定期筋はドシ〳〵それを買付けては上鞘の定期に賣繫ぐといふわけで正米筋の多くはその買持數量以上に定期を賣つてゐる、堂島筋の正米買持だけでも實に四十萬石の巨額に上つてゐる、大阪の

在米は 二月二十九日現在政府所有米共三百四萬二千餘俵に上り神戶には二十萬石の在米がある、東京は政府所有米を除き二十四萬六千餘石を算し其他各地小都會にも山のやうに米が積まれてゐるが農家の手持は少いといふ實狀である、一方朝鮮の在米は何うかといふに大邱仁川、木浦、群山、鎮南浦の各地を合せて三百四萬八千餘叺、釜山だけに百十八萬三千叺といふ之また未曾有の

大滯貨 を見せてゐる之等は何れも期米に見れて買方を壓迫し二月以來買疲れの傾向著しく崩落步調を辿つて買方は鞘と買を兩方に喰はれるといふ慘めな有樣、昨年末より一月にかけて買方針で當つた客筋も今は殆ど吐出した形而も買方は死に代り〳〵買つては投げ〳〵又新たな買方が買向ふといふやうに新陳代謝、アト〳〵と買人が絶えない、堂島の三期取組は

表面少 いやうだが取引員の擔玉を合せると約五倍に上つてゐる勢だ、從來不作年には十二月から二月にかけて高値を出し二月、三月に反動安を示して底入れ後四、五月頃又高くなるのが例であるが、本年は餘りに買思惑が旺盛で都會の在米が多過ぎるのと不作だけに米質も惡い上に貯藏方法が宜しくないのと消化足が鈍いので春暖期から五月頃にかけて變質米が澤山出はじないかと懸念される從つて既往の不作年の例のみを以て律することも出來まいと思ふ殊に近頃

期米の 鞘も縮んで來たので今後[illegible]が衝むと買方は乘替をやめて正米を渡し切るかも知れない、そこで案外な安値が出はしないかと云つたやうなことも豫想されるがそんなところがあれば或は好買場となるかも知れぬ兎に角今の在米は餘りに多過ぎるから行々その一部が田舍へ逆送されて然る後又高値が出るのではないか左から白米だけは近頃飛ぶやうに賣れるこれは時局の影響であらうと思ふ(完)

典型的なカルテル
洋灰聯合會の危機
滿洲新市場を迎へ葛藤暴露

【大阪十一日發本社特電】その緊密な組織と規律ある統制によつて典型的なカルテルと云はれてゐる洋灰聯合會は

新市場 滿洲への出荷を如何に規定するかと云ふ問題から一般の豫想を裏切つて激しい葛藤を暴露するに至つた、この兩三年需要の著しい後退と市價の激落とに惱んだセメントは金禁止後の避くべからざるインフレイション政策による內地需要の增加と滿洲獨立による鐵道、道路、建築等々各種土木事業の勃興から生ずる新しい需要とで

急激な 好轉を齎らすであらうと見るのが多くなつた、これが一の現象でないか否かについての見當は他に讓るとして何よりも去る二月の聯合會總會で三月より五月までの操短率を五割七分より五割二分へ緩和することに對して異議のなかつたことは今後の需要に對する業者の見解を物語つてゐるやうであるが長い期間に亙る高率操短の重壓から逃れるための新市場獲得の動搖は個々の

企業家 の間に高まりつつあつた、たま〳〵滿洲の獨立は此の希望を實現すべき市場を提供したやうに見える、しかも與へられた新市場は出荷比率に縛りつけられ販路擴張の望みなき內地市場と異なり全く自由なる市場である、それ故にこそ僅か一萬噸の需要からの註文を繞つて統制ある筈の聯合會が無統制を暴露せざるを得なかつた此の一萬噸は註文を受けた七尾が獨占するところとなつたが

今後の 需要に對しては互ひに獨占を許すまいとする鬪爭が必然に激化することになる、滿洲出荷を內地出荷として取扱ふか輸出と看做すかについての小野田七尾の爭ひもその根抵を右の如き獨占的勢力の獲得鬪爭に置いてゐる本來關東州滿鐵沿線を內地として取扱はれてゐるが小野田の大連工場は此の方面に獨占的な出荷比率を持ちこれを輸出扱とすることは同社にとつてその地位を

總體的 に引下げられることとなる、又七尾の如き三菱を背景とする會社は滿鐵より自社への直接註文が頻繁にあるとの豫想の下に此の註文を獨占することが決定的に有利であるから內地扱とすることには本能的に反對の立場へかり立てられる、斯くて後者の態度は時に大局をなしてゐるのであるがしかも形こそ異なれ兩社とも滿洲市場の獨占を試みてゐることは明かである、斯くの如く兩社の要求する所は何れも自己の

消長を 賭けた問題であり從つてそれ〴〵自己の主張を死守する所以である、斯く見る時生產制限、新規增產計畫中止、出荷比率等々の協定によつて秩序ある活動を營みつつあるかの如きセメントカルテルも何等か新しい狀勢の展開即ち此處では新市場の獲得に直面する時個々の企業の間に潛在的に高まりつつあつた自由競爭の

行動か 決河の勢を以つて統制の堰堤を押破らんとするのを知ることが出來るであらう

臺銀券依然膨脹
十日現在…四千七十餘萬圓

十日現在臺銀券發行高は四千七十三萬圓で米穀資は一段落に近いが製糖資金の放資尚ほ旺盛で砂糖の出廻り增加で月初來四千萬圓臺を依然維持しこれを先月初めの舊年末の膨脹に比べると四百三十萬圓方の收縮であるが之れを前年同期頃に比べると五百萬圓方の膨脹を示してゐる、二月初に比しての收縮は砂糖季資金需要と地租納期といふ特殊關係であり前年に比しての膨脹は金輸再禁止による物價騰貴殊に米價昂騰に基くものでとにかくに約一割以上の通貨膨脹はそれだけに本島經濟界の多少活況を示すものといへやう、尙ほ臺銀當局者の觀測によると當月は下旬に所得稅の納期あり殊に下旬からはそろ〳〵夏期物資への季節放資が始まるので月一杯現在一千萬圓の限外發行額は勿論四月に入れば夏物仕入其他夏期商物放資等時期で發行高膨脹が見越され限外發行高に頻繁の事態を要するに至る見込である

純國產の
サラダ油
日清製油で發賣

臺北市北門町の日清製油合資會社では東京に本社を有する日清製油株式會社の橫濱及大連兩工場にて製造した日清サラダ油の島內發賣元となり此程より之が賣出を開始したが此のサラダ油は滋養豐富なる滿洲大豆より最新式設備で搾油し獨逸メルク技師監督の下で完全に脫色脫臭精製加工した食用油で製菓用は勿論天ぷらフライ等の揚物に用ゐて少しも動物臭味なく又胡麻油の樣に濃厚過ぎもせず頗る消化よく輕快な味が出るのを特色としてゐる、臺北では臺總購買、鐵道購買、臺北購買、臺銀購買各組合及銀行社等からその眞價を認められて續々註文を受け其他島內各地の購買組合からも歡迎されてゐる姉妹品に落花生サラダ油、フライ油、金ぷら油(純正胡麻油)等がある

漸次復活の
上海航路
北支航路も賑ふ

【大阪十一日發本社特電】上海航路は漸次復活の過程に入り郵船も一部定期を復活し出荷に應じ臨時船差立の方針をとつてゐるが商船北支航路の出荷が少なくない、即ち青島航路に對して近來棉花、砂糖雜貨等が增加してゐるのはこれがため見られ又從來上海經由の天津行アメリカ出荷が時局以來神戶經由となり天津航路の繁盛を賑はしてゐることは一現象とせられ當分繼續する模樣である、商船上海線航路としてスレートの引合增加の傾向を示してゐることは無視し得ない

蘭陽茶業組合組織
工場をつくり共同製茶に著手

蘭陽方面には礁溪庄を中心としてゐる百餘甲步の茶園を有してゐるが同方面の茶業者も大に目覺むるところあり、今回

五十七名 茶業者全部が合同して蘭陽茶業組合を組織し本年の茶期から事業に著手することとなつた、組合長は林俊英氏、技術者としては昨年度督府茶業傳習所を出た某氏が技手となり茶園面積百十八甲步から生產さるる生葉を全部買取つて共同製茶をなすものである同組合は出資金を四千五百圓とし、この內から千五百圓を投じて七十坪の工場を作り製品は主として

ウーロン茶 としこれを對岸及花旗方面に販賣し一面[illegible]茶共同販賣所にも出荷するが追つては包種茶をも製造する筈同茶園は大體文山郡坪林地方から入れたものであるので良品種であり製茶としても可なり優良茶を出してゐるが何等の統制なき茶業地か急激に進步した共同製茶を營むに至つたことは非常な

茶業經營上 の革命で其前途は注目されてゐる

人絹輸出と新販路
印度方面への輸出
激增に當業者一層努力

上海事件勃發の結果、從來我人絹綿の輸出市場として重きをなしてゐた上海への輸出は杜絶したが、政府及び人絹業者の努力により最近では印度及南阿アフリカ方面に上海に代る販路を見出し人絹輸出は異常の活氣を示して來た、即ち印度は主として木綿との交織用として年額一千萬乃至八百萬ポンドの人絹絲をイタリーを筆頭に歐米各國から輸入し我國からは僅かに年十萬ポンドを輸入してゐたに過ぎなかつた然るに最近インドではそれ等輸入品に對して五割と云ふ高率關稅を賦課することとなつた爲他國品は皆夫々大打擊をうけたに反し我國人絹絲はこれを反對に五割の高率關稅を乘り越え去る一月中に於てさへ約二十萬ポンドを激增し現在では更に五月物まで契約進んでゐる又南阿アフリカに對しては四月物は勿論一部には五月の先物まで商談が出來てゐると云ふ盛況であるから現在のまま進む時には我が人絹界には上海事件は何等の苦痛とはならない模樣である

時局と糖界
―假需要至つて少なく
―消費は未だ不振時代

十日來臺、十一日屏東に直行した臺灣製糖監査役丸田治太郎氏は例の若々しい風采で元氣よく語る

今度はゆつくりして居れないので先づ屏東に赴き各製糖工場全部を一巡し臺東には行かないで歸る豫定です

內地は 時局關係で各會社や各工場或は農村などの人々の動きが目に立ち各方面[illegible]に非常な活氣を呈してゐる事變も何うやら一段落を告げたやうだが、之が若し五月頃迄に片付かぬと、農村の生產力にも影響しはしないかと思ふ、內地の金融は可なり緩慢してゐる、時局關係から來た緩慢氣分も一因をなしてゐるから此の不安を取除くことが必要である「金より物へ」の傾向も砂糖にはさしたることはなく

糖商の 抱擁力が乏しいのか實際の動きも期待したほどでない、消費はまだ〳〵不振時代を脫しないやうに思ふ、私は臺灣製糖創立直後山本氏に次で明治三十四年四月に來臺して暫らく臺灣にゐましたが甘蔗の栽培に就ては一向經驗したことがないので本年の霜害には一寸異樣に感じてゐる、臺灣の氣候が變調であつた上同樣に內地の氣候も變調で私の鄕里新潟は珍らしく暖かで雪が甚だ少かつた云々

二月中の移出米
三十七萬九千餘袋
東京橫濱へは十七萬餘袋

臺灣米穀移出商同業組合調査による二月中の本島產米移出高は合計三十七萬九千百三十二袋で之が種類別は左の通りであるが此の中六年產一期米は蓬萊米のみで一萬六千九百二十一袋二期米は蓬萊が十萬二千二百六十五袋、普通米が十一萬九千七百十七袋、丸糯米は九萬八千二百六十袋、長糯米四萬一千九百六十九袋、二期米合計三十六萬二千二百十一袋となつてゐる

蓬萊米	一一九、一八六袋
普通米	一一九、七一七
丸糯米	九八、二六〇
長糯米	四一、九六九
合計	三七九、一三二

而して之を前年同月の移出高と比較すれば左の如く增減を示してゐる（△印減）

蓬萊米	△ 二、〇一六袋
普通米	六七、四一五
丸糯米	△ 二八、八六八
長糯米	二六、四七七
合計	六三、〇〇八

次に仕向地別は左の通りであるが此の中基隆から移出されたものは二十萬六千四百五十四袋、高雄からの移出は十七萬二千六百七十八袋であつた

北海道	
東北	一七、一三五袋
東京	・
橫濱	一七二、三七二
中京	三五、六六九
大阪	三四、六三九
神戶	四九、三三四
中國	六、三六四
四國	五〇〇
九州	二三、九八五
沖繩	二〇、六〇四
朝鮮	八、五一〇
合計	三七九、一三二

（米界漫言）

各地期米は前日に引續いての保合、何等の刺戟のない以上は當然かもしれぬがお蔭で人氣の引立ないこと夥しい▲米の方でも不作の先高見越で返つて在米賣れとなり當地の所へ[illegible]は依然膠着となり勝ちである▲蓬萊丸糯も同樣一向に人氣が冴へないが地場は至つて底堅い▲土庫、斗南の米穀改良協會のものがやつて來たかと思ふと今度は西螺のものがやつてくる、何れも鄕の方の米がよいと言ふ宣傳であるが……場所柄之は一致してやつたらどう！▲何れにしても米界にとつては歡迎されて行くのだから同慶に堪へないこと……他の所も斯く熱心に歡迎されて行くことを期待してゐたい。

生絲商談頻々

某所入電によれば十日の橫濱絲況は定期當限六二圓四〇錢と前電より五十錢安、先限六六四圓九〇錢と七十錢安、引續き各絹買氣衰へず歐洲向の商談續いて行はれ品により十四圓高出來、信州上一番見當相場六百廿四圓と前電より十圓安、(備考、前當相場六百三十四圓也)

正市
二月中成績

正米市場に於ける二月中の立會日數は二十二日間で之が出來高四千八百十七車、その中譯は次の通りである

一期蓬萊米	一、一八四車
同丸糯米	三、六三三

爲替市場强調
あと一息の模樣

【神戶十一日發電通】國際聯盟の好轉米日爲替一弗方强氣米英クロス緩落等好材料に惠まれた爲替市場は强調に轉じ三十二弗半に回復し三十二弗四分一、三月物に手合を見せ一部外銀に三十二弗八分三限りまであり商狀氣勢であつたが後東京市場で高値狙ひの賣物出動に依り三十二弗八分一賣と稍々軟調を入れたので高値留保へ氣味となり[illegible]一息の模樣である

電氣統制案
內地に施行後本島にも實施

內地に於ては近く電氣事業法施行規則並に電氣工作物規程が改正されそれと同時に電氣事業會計規程及び電氣委員會官制が新に設けられ多分四月一日より實施の運びに至るべく之によつて內地電氣業界は一エポックを劃するものと期待されてゐる、右改正要旨は要する所電力統制の根本方針を決定の爲で後者の電氣事業會計規程は各社の經營狀態の爲[illegible]いては電氣會社自體が經營難に陷り電力料暴落することあるに對し監督官廳に徹底的に監督せんとするのであり、即ち從來は主として技術的監督が主であつたが之により會社の內容を改善し料金問題等も合理的に官廳が支持せんとするものである、右電氣に關する規則改正施行されれ次第本島に於ても實施する筈で目下遞信部電氣課に於ては之が準備を進めてゐる

臺中米價(十一日)

蓬萊米三等新八五五錢、舊八一〇錢、丸糯三等八七五錢、在來米三等一〇二五錢、[illegible]出來高蓬萊米二六袋丸糯三〇八袋(臺中電話)

魚類卸相場表(十一日)

臺北市中央卸賣市場

魚名	(百斤相場)		
マメヒ	六〇・〇	三〇・〇	[illegible]
鮪(シビ)	三六・〇	一四・〇	[illegible]
カヂキ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖サワラ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大フカ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
丸サワラ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
アラ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
クルマ蝦	[illegible]	二〇〇・〇	[illegible]
中エビ	[illegible]	[illegible]	[illegible]

北南西東

ネクスル煉乳の臺灣出張所が閉鎖された今日同出張所前と其後を對比してミルクの消費を調べてみると、一昨年の島內販賣高は四萬三千箱で昭和四年の四萬五千箱（既往の最高記錄）より二千箱減じたが閉鎖後の六年は輸入高三萬九千箱で內四年より九千箱を減じてゐる▲出張所の閉鎖は一手販賣權を引上げ自國に依つて大に販路を擴張しやうといふにあつたが、躓く係爭事件を惹起して販路を失ひ返つて販賣高の減少を來したのは皮肉である▲此の減少は米價安農村疲弊等本島人側の購買力減少も一因だが係爭中輸入品の販路拡へを受け國產ミルクに奪はれたことが主因をなしてゐる▲國產ミルクの內でも明治メリーミルクの擴張目覺ましく三、四年前迄年移入千五百箱乃至二千箱に過ぎなかつたもの今や一躍一萬箱に上つてゐる、係爭による影響の大なるかなである▲フォード自動車も此の轍を踏まなければ幸ひである。

青物卸相場表(十一日)

臺北市中央卸賣市場青物(百斤相場)

品名	最高	最低	平均
大根	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕪	[illegible]	[illegible]	[illegible]
人參	[illegible]	[illegible]	[illegible]
牛蒡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

【備考】當日總賣上高一、〇六三圓五〇錢

商況 十一日

米況

臺米相場

基隆倉庫渡平均百斤

		前月對比
二期在來米	六、二八	三高
北部一期蓬萊米	七、二八	三高
北部二期蓬萊米	七、九二	三高
中部二期蓬萊米	八、〇五	二高
南部二期蓬萊米	七、八〇	同
北部二期丸糯米	八、七七	八安
中部二期丸糯米	八、九〇	一〇安
南部長糯米	六、五八	一三高

正米市場(公定相場)

		當	中	先	出來高
二期蓬萊		八、〇四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一期丸糯		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總出來高					一四四車

基隆在庫米(十一日現在)

二期蓬萊米	一、八四二袋
二期蓬萊白米	四、九八二
一二期丸糯米	二二、三六二
二期丸糯白米	[illegible]
二期長糯米	[illegible]
同白米	[illegible]
一二期在來白米	[illegible]
其の他	[illegible]
合計	[illegible]
到著米	十車(二二四噸)

高雄在庫米(十一日現在)

二期蓬萊米	二〇、一[illegible]袋
同在來米	[illegible]
同長糯米	[illegible]

正米市況(後場)

▲一期蓬萊米　期米止高に蓬萊強し

	中限	先限
當限	[illegible]	[illegible]

昨日の市況

株式	伸悩
綿絲	鈍重
期米	底堅
砂糖	保合

堂島兩建控除前場

主なる手振り

賣方　村岡一、六〇〇、須井政一、一〇〇、廣瀨一、〇〇〇、楠辰八〇〇、北川七〇〇、磯先六〇〇、岩崎五〇〇

買方　海關一、八〇〇、小河一、〇〇〇、岩崎、上柏八〇〇、田中、金七〇〇、岡米、村岡六〇〇、太田五〇〇

內地殘存米總量

【東京十一日發電通】三月一日現在內地在米は左の如し(單位石)

內地米	四〇、八七〇、八四七
鮮米	一、一五一、三三九
臺灣米	[illegible]
外米	四六、三四二
計	[illegible]

堂島米況前場

【大阪十一日發電通】昨後場保合の氣先今朝は材料難に氣乘薄く當限は正米筋の緊穀で惡いが先は地場止米筋買に地場海關買が目立ち二十六圓十錢と小堅く寄り後買物續かず〇三錢と押し小口商內に〇二、三錢と揉み〇四錢と附けたが正米筋繫ぎと地場秋海賣り又も小甘く保合ひ各地商狀、結局〇二錢と引け

堂島米況後場

【大阪十一日發電通】化掛引に變方氣乘せず地場の小口商內で二十四圓九十九錢から五圓丁度の間ありて五圓〇四錢と寄り〇三錢と垂れたが諸株式高と海關神戶筋の賣物買戾ひに十錢と乘せ合地高に十七錢と大引

大阪期米

▲後場　神は入荏少く不申、丁高一本に五車、先限は九、二〇錢と八九丁高に甫り九〇錢と止め、當限[illegible]

節	當	中	先
一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米

	當	中	先
寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安	[illegible]	[illegible]	[illegible]

神戶期米

	當	中	先
寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安	[illegible]	[illegible]	[illegible]

堂島兩建控除後場

當限　賣方北川以下九店、一二、六〇〇石
中限　買方海關以下二十六店、賣方北川以下十四店、一五六、六〇〇石
先限　買方海關以下二十四店、賣方梅辰以下十八店、八九、四〇〇石

株況

大阪短期　大阪長期　東京短期　東京長期　東京銀行實株

[illegible]

東京國債

	寄	引
甲號五分利	八七、一〇	八六、一五
第三五分利	[illegible]	[illegible]
第一四分利	[illegible]	[illegible]
二十二年物	[illegible]	[illegible]
二十八年物	[illegible]	[illegible]
佛貨公債	[illegible]	[illegible]
國債出來高	[illegible]	[illegible]

東京株況前場

【東京十一日發電通】英國銀行の利下も利かず當限の玉整理に壓迫されて市場は存外無活氣で寄[illegible]

商から綿絲圓貫さと相俟つて新舊株無付き諸株も軟化して商狀で結局鐘紡二圓八十錢安新二圓十錢安と低落砂糖九十錢方小緩し日糖新は十錢各八十錢安ビール新一圓安等目立ち東株九十錢高から新八十錢安と仲値鈍化んだ

糖況

爪哇　總　〇弗三分二五

紐育　[illegible]

大阪定期　大阪現物

[illegible]

絲況

外棉　米棉不變　印棉八十五錢高

大阪綿絲　大阪棉花　橫濱生絲

[illegible]

穀肥

シカゴ小麥　神戶豆粕　神戶穀肥市中相場

[illegible]

米日爲替　米英クロス　神戶爲替

[illegible]

銀塊

倫敦現物　同先物　紐育現物　同先物

[illegible]

だまされるな
新藥や新發見の療法
淋病と尿毒の併發症

「かさ氣」と自覺のない者はない」と云ふ諺がある。大概の人には「かさ氣」油氣のない者はない。殊に若い人には油氣が多い。油氣の多い者が淋病に罹ると淋病菌は尿道內を荒ひ荒し、その體口へ體內が集合して膿となつて出るのである。手當の結果、一部の淋菌は取れても、體口の深部に淋菌が潛むことになり、一時治つたやうでも時候の變り目や酒色等の關係で再發する。之は重篤な淋病ではない。淋病、膀胱の併發症であるから、淋病の藥のみで手當をして居つたのではいつまで經つても治らない。居るから、いつまで經つても治らない

有田音松鑑製
りん病　ばい毒
合藥
百圓進呈
英米獨佛醫科大學病院にて
帝國大學醫科大學病院

梅毒　完全驅毒療法
ヨコネ、カンソは切らずに治る
本舖　大阪內本町二
發賣元　大阪　有田ドラッグ

他の藥店に販賣を許さず
有田ドラッグ專賣所
有田音松鑑製を御買取あれ
臺北市本町二丁目　有田ドラッグ專賣所
台北新起町三　台中榮町四
大平町三
基隆哨船頭　嘉義驛前
宜蘭街南門　台南錦町一
新竹東門市場前　高雄山下町

SPORT

帝大競技場に刻んだ 大スパイクの跡

織田、南部兩選手の成績

三月五日帝大競技場は期待された如く輝ける大記錄を得て終幕と徹笑んだ、三段跳の十五米五十五…走幅跳の七米七十六…之は織田、南部にしてはじめて出し得る記錄だ、そしてそれは世界的の大記錄であり世界記錄へ肉迫したものであつた、此日の織田は非常な彈性を見せてゐた、最近稀なやらなかつた走高跳に一米八十五を跳に跳じてしまつた、そしてん附で止した、調子の惡い時にはよくロールオーバーで跳躍する織田が此日正面跳で實に無理のないベストフオームでバーを越えた

◇

踏切に際じては踵からリフトせ上そしてバーへ向つて肩から突つ込め、振あげられた前脚を退りて…といつた具合に彼の根本原則を示してゐた

◇

そしてまた彼の走り幅跳に於ては常に見る如く、彈丸の飛ぶる如きスピードを見せず反つて鞘部性の闘つてゐるが如く踏切つてから再ぶ氣味にグツと腰が入つてゐた、跳躍であつた腰をついたが七米六十五は彼の最高跳躍であつた、スピードが乘つてゐたら完全に容健したものと思はれる、それ程彼の彈性は強かつたやうだ

◇

そして彼が臺灣に來てから體重が六百匁程增してゐたといふからそれも預かつて投擲技に於て素晴らしい元氣さを見せてゐた、砲丸投に於て十米五十四の投擲をなしたあの十五貫強の身體で此記錄が出るのだ、圓盤投には三十四米八十二を記錄した、槍投に於てもトライアルに實に四十六米程投げてゐた、彼の練習時のレコードとして圓盤投げ三十七米餘を有つてゐる相だ、あの小さい身體でどうしてそんなに投げ得るのだらうかと思はれるが、それは彼の投擲技に對する完成されたフオーム即力の彫跡があるからだ

◇

砲丸投げに際して肩を引いて腰を落して砲丸の投擲高度を定めグツとストレートに押し出すとき彼の投擲力は彼の異常なバネと共に最大限度の力となつて砲丸に加へられてゐる、圓盤に於ても然り、腰が伸び切つてしまつては駄目だ幾々腰を落して最後の反撥的動作に要するあたり、最後の強いスナツプにまで加速度的な回轉を利する最も驚く科學的な洗練されたフオームを見せてゐた

◇

『助走を柔軟にせよ』助走が固くなつてゐては踏切もできない、思ふやうに助走が動かなくては競技はやれない、彼の金言は蓋し然りだ

◇

三段跳に於て彼は十五米五十八、此の彼の保持する世界記錄を打破すべく試みたが不幸第二跳躍で、大腿部を傷めてしまつた、あの時の彼のコンデシヨンとして世界記錄は僅に破れてゐたことと思ふ、惜いことであつた、十五米五十五のコンビネーションがホツプ六米二十五、ステツプ四米十五、ジヤンプ五米十五と比率は六、四、五の割合、彼の保持する法則の其儘だ、茲にも完成された彼の競技の跡を見る、彼の努力と共に現代日本がそして世界が求め得るベストフオームのハードルに於ける彼のクリアランスを見ることのできなかつたことは返す／＼も殘念なことであつた踏切足—後脚を腕につけるやうに肩を前脚に觸れるやうにといつた姿態を眼前に見得なかつたことは殘念至極であつたが、今は彼織田選手の一日も早く回復の卒えて更に強い彼を見ることを祈ることとしやう

◇

南部のあの猛烈なドライビングはどうだ、強く而も柔かに早く前後に動く、アームモーションそれは彼の足のキツクと同じ早さであり同じ強さ柔かさを有つ完全な上下のハーモニイだ、強く引かれた腕は……と同時に前を振出される腰を中心に無理のないスタートからスプリントダツシユまで無言の裡に「疾走」を敎へてゐた、彼の走幅跳は稍スピードが勝つてゐたやうに思へた、助走から踏切まで踏切から着陸までスピードと彈性の完全な調和だ

◇

想ひ浮かべたまま、彼の走るるまま南部選手が踏んだ帝大競技場のスパイクの跡を踏んだ、競技に關して専門的のテクニツクは指導を受けた競技者自身が味はつて困り自省してゐる所であらう

南部選手の走幅跳（帝大競技場にて）

日本とテニスの歴史的發展過程（下）

慶應大學庭球選手……樋口佳雄

大體物事は希望があつて初めて張り合ひもあり意氣も盛んになる、進步は庭球の開拓者なんだといふ當時の人々の盛んな意氣と崇高な理想を目がけての精進は筆舌には盡しがたいものではあるが、やはり人間である以上目前に何らかの刺戟がない限り、いつとなく元氣が銷沈してくる、練習に覇氣を失ふ、その氣配を察して

主將野村 氏がどれ程心配した事か、何んとかして相手を見つけ出さねばならない、といつた所でその邊にうろ／＼してゐる試合のものでもない、キヤツプテンも亦辛いかなである、やつとの事で當時コーチのつもりできてくれたコールマン先生に頼んで横濱あたりでやつてゐる、外國の官吏商人連中をまとめて貰ふ事とし大正二年五月の九日（硬球を初めて一月目位に）に彼のコートで初めて試合する事となつた、一同は初めての硬球の試合といふので非常に勇み、那狀又何する者ぞと非常の

意氣込で 戰つた、所が嚙つて見るとまるで問題にならない位に勝つた、こつちが巧にかつたのでは決してないが先方があんまりまづすぎたのだ、すつかり拍子拔けのした一同は物足りなくてそのまま承知する事ができないそこで一つ横濱の外人倶樂部とやらうといふので、度々行つて挑戰した、しかし先方はトーナメント中とかでアレンヂしてくれない、かうなると試合の相手をさがすのでこつちも夢中である、時しも偶々

英國軍艦 が入港したと聞くや英國は何にしろ本場の事だからテニスをやる士官が三人や四人はゐるに異ひないと飛ぶ樣に横濱にかけつけ英艦に刺を通じて艦長の學生でテニスのチヤンだといふとそこはスポーツを愛好する國人の事とて、敷衍いたらざるはない有樣だ、そこまではよかつたがさてテニスの試合を申込むと先方の士官は戸棚の奥の方からガツトの破れたぼろ／＼のほこりまみれになつたラケツトを引張り出して、こんな有樣だからとてもやれないし、又やれても此艦の士官にテニスマンは二人位しかないから

駄目だご 案外に斷られてしまつた、やつてきた時の元氣に引換へて歸つてゆく時の悄然とした顏、自分の踊りを首を長くして苦戰の至るを今やおそしと勇みたつて待ちかまへてゐる選手一同の事を考へ及んだ時、野村主將の胸はおしつぶされる樣に苦しかつたさうである、二十年後の今日この際盛さに思ひ及べば、その頃の先輩の人達の苦勞が身にしみる樣に有難く感じてくる、今のテニスプレヤアはその當時の苦勞を考へて見るならばまるで比較にならない程結構な御身分達だといふ外はない

×

かくの如くボールにコートに、相手にその他事毎に

未知の世 界が開けてゆく度に、困難と苦痛は激增して行つた、だがそれと共に創業の人人の忍耐と決意は益々高められ努力と精進は續けられたのである

×

この人々の努力に對してその試練の機會が意外に早く訪れてきた、硬球を初めて八ケ月足らずして、その年（大正二年）の十二月、熊谷一彌氏の……マニラの極東競技會から大正三年一月のカーニバル祭に催されるトオナメントに出場しないかといふ勸誘狀がやつてきた、一同の意氣すでに天を吞む、そこで早速出場選手選拔テストを行つた結果、野村主將を初め熊谷、三神、市川の四氏が選ばれてマニラへ向つて初めて

海外遠征 の途に上る事となつた、これが後年大熊谷が生れたそも／＼の初めであり、彼が世界の舞臺に乘りだした第一步であつたのである

×

慶應庭球部が明治三十四年に創立され、大正二年硬球を採用するまでの軟球時代は十三ケ年であつた、實にこの十年間は日本の庭球を國際的に守り立てる爲の準備時代であつた、その間に幾多の先人達の庭球部の爲に努力は遂に花しく實を結んだ、その實は英邁に大きかつた、熊谷一彌氏を誕生した、熊谷一彌氏はこの軟球時代十三年間の部員の努力を背中一ぱいに背負つて國際庭球界を訪問したのであつた、デ杯戰ではアメリカ迄戰場まで押し詰めた、今日に至るもデ杯に接近した熊谷氏の名前が庭球の代名詞になつた事は當然である

アメリカ の第三位といふ順位は、今日迄現はれた事のない、最高標準のものだつた

×

私はこれで日本の硬球が謂はば畸たる一學校庭球部の中に誕生した事を物語つた、困苦缺乏、不自由誰一人として助ける人もない寂寥の中にうまれその搖籃のうちに爾來八年といふものを過ごしてゆかねばならなかつた、全く一人ぼつちの生活である、かつては互ひに交はり互ひに輸贏を爭つた、早稻田、高商、高師は硬球採用について白眼視し應分の出しぬかれた感に對する嫉妬も交つたであらうが「慶應のハイカラ好き」と嘲笑し非難の聲をあびせかけたのである

×

慶應庭球部は昨年を以つて創立三十年を迎へた、しかしこの大正二年から九年に至る八ケ年の時代が一番苦しい悲しい時代であつた、內にあつてはともすれば刺戟のない爲にたるみ勝ちになる選手の勇氣を引きしめ、こつ／＼と外國の技術をたどりながら

獨學研究 して行かなければならない、外に對しては一切の嘲笑や非難に對してぐつと我慢じこらへて行かなければならなかつた、胸の中にも煮えかへる樣な憤激の血潮が高鳴らうとも、たがこの白眼と我慢の時代がなければその後に今のこの硬球華かな時代はやつてこなかつた、大熊谷を凌ぐかと思はれる原田武一氏も、不世出の傑物早大の佐藤次郎君も出現しなかつたであらう

×

大正二年は慶應庭球部の維新であつた、大正九年は日本庭球界の大維新、大變化の起つた年である、當時高等商業の先輩清水善造氏は印度カルカツタにあつてその雄名をとどろかし、それはひいては現選手の胸に硬球熱の炎をもやし上らしめた、更に又海外の先輩の硬球採用を頻々と說き來るより、[illegible]用の[illegible]が保證する先輩の[illegible]する等、硬球採用の火の手は一躍にして上つた、偶々大正九年春、高商は早大高師を打破つて天下を平定したを絶好の機とし、突如同年秋より

硬球を採 用すべき旨を市外に宣明したのである、而も硬球を採用するなら三校同時にやらうと約束してゐたのを高商が脱盟して採用したといつて憤慨したが今更始まらない、何時迄も軟球を固守する事は出來ない故、色々の內部の議論はあつたが遂に硬球採用と決定し、其他の專門學校も續ひここに全國的に硬球が實現したのである（終り）

臺灣球界を語る 明大選手座談會（二）

本社東京支局主催にて

各チームに對しての批評

永井　有難うございました、第一はそれ位にしまして、次に臺北、それから各地のチームに對して忌憚ない批評をして頂きたいのですが、除り概念的ですが天知さん一つ臺北のチームに對して批評をして下さいませぬか

天知　僕は審判として見て居るに過ぎないのですから選手の方から言つて下さい

永井　松井さん一つお願ひします

松井　鐵道のセンターは宜かつたね、守備も宜かつた

井野川　本多とか云ふのだ二回戰だつたか、三回戰だつたかにスリーベース一本打たれた

横澤　渡邊さんの方のキヤツチヤー（鈴木）も宜かつたね

井野川　あの方（鈴木）がよく打つた、今度はCBの方（田中君）は一本も出なかつた

岡田　あれどうして惡いのだらう、練習の時宜い球を投つたよ

井野川　練習の時はすごい球を投げて居たね、あれは何だね試合になると力加減をするのだらうと思ふね、試合の時に見て居たが、力が入り過ぎてモーションはとても深かつた、練習の時は力を出さないから宜かつた、それが試合になつて力を入れ過ぎたもので、球が浮上へ行つた下へ行つたのはなかつた

岡田　投げて居る時のフオームは……

二ツ木　決つて居なかつたやうです、僕はさう思つたんですが、どうも弱氣に見えましたやうに思ひました、それだから自由自在に翻弄することが出來るやうに思ひました

天知　それは弱氣でなくて、是（？）……だよ

二ツ木　どうもさう云ふ氣がしたんです

永井　CB團は球を選んで居たと云ふやうなことを聞きましたが、そんなことがありましたか

井野川　見逃して居たんぢやないですか、見送なんかのピツチヤーの時には選ぶと云ふ餘裕はなかつたと思ふ

天知　見逃したんでせうね

松井　一人打つたら、二人、三人續けて打つたが、あゝ云ふ所は卿術見たいだ

井野川　ストライクでも、アウトコーナーへ入つたら宜いけれども、インコーナーへ入つたら打てない

二ツ木　中に全然惡い人が居た、カーヴだつたら絶對に打てないんです

天知　CBのキヤツチヤーで左の人が居た

井野川　右の人でぐるつと回ると打てない人が居た、五番か六番で……

岡田　兩方に居たよ、カーヴが入つたら絶對に打てないと云ふのが居た

二ツ木　ショートの人で、此處へ斯う持つて行く人が居た

井野川　鐵道のファースト・バツターだらう

松井　セカンドはどつちも下手だつたね

二ツ木　CBと鐵とはバツターに立つた時の氣分が違ひます、CBなんかは小さく持つてこんこんと當てて行くやうに思ふし、鐵の方は大きく當てて行く、發聲で聞いたんですが、CBと鐵とやると鐵が負ける、所が外來チームに當ると鐵が勝つ、さう云ふやうな所は矢張りバツテイングの所から起きて來るんぢやないかと思ふのです、その外に氣持の上に影響して居るやうな所もあると思ひます、片方には大學選手が入つて居るし、片方にはそれが少いから、さう云ふ所から外來チームに對して鐵はひどく感じないが、CBの方はさう言つた感じが強いやうに思ひました

永井　渡邊さんの方はどうですか、是はあなた方の御批評であられるが、渡邊さんの球の力が大分昨年の早稻田の時より非常に落ちたと言つては何ですが、速力が落ちたと云ふ評判を聞いて居りますが、矢張りさうですか

岡田　さうでもないですね

永井　今度はアウトコーナーばかりを投げたと云ふやうなことを聞きましたが、そんなこともあるのですか

岡田　同じやうなものでせう、渡邊大陸が如何にやつても內野手なり、外野手が併行せなければ駄目だ、ゴロを止めさへすれば點が入らない場合でも、好い加減な、ちやらん、ぽらんな捕球をしてフアンブルするのですね、あれが一番僕の目に感じて居ました

永井　フアンブルすると云ふのは……

岡田　除りに怖がり過ぎて居る、或る場合には身を持つて行つて止めて、近いベースへ投れば濟んで居る所を、矢張りバウンドしたと云ふやうなゴロの捕方をして居る

永井　さう云ふ點がいけないのでせうね、止めれば捕れる球を大學の選手は監督の命令ならば怪我しても捕らうと云ふ意氣があるし、あゝ云ふチームになるとその邊多少違ひがあるのでせう、CBと鐵團と試合をなさつて、どちらの方が身が入りますか

岡田　同じですね、鐵團もなければ、CBもない

井野川　同じだね

岡田　強いて區別を付ければCの方は投手が居ないのです、だから何點取られたつて平氣だ、四點やつても五點やつても何でもないと云ふ顏を持つて居る

永井　赤木さん、何か印象に殘つたことがありましたら一つお願ひします

赤木　內野手寄りが間に合はぬ所へ投げたことがあつたやうに思ひますが、もう混亂してしまつて……

岡田　さうかと思ふと無用の投球だらう

赤木　投げ方の惡い人がむきになつて投げるからだ

永井　天知さん、CB團と鐵團に付いて御印象を聞かせて戴けないでせうか

天知　CBはどんなチームで、鐵はどう云ふチームだと云ふのですか

永井　その中の選手の人であの選手はあゝ云ふ點をもう少し氣を付けたらもつと上達するとか云ふ、審判官の眼に映じた御感想を……

天知　さあ、難しい問題ですね別にないですね

永井　さうですか、あれで何ですか、CBと鐵と、兩方のチームが審判官から試合開始の聲をかけられてからぐづ／＼して居ると云ふことを大分選手の方から手紙で言つて來ましたが、そんなことがありましたか、動作が鈍いとか云ふことか

天知　選手の交代なんか急に一遍に行かない、命令通りに行かない、相手としたら鐵よりCBの方が幾らか粘り氣があつたやうに思ひました、鐵團と言へば渡邊君一人ですからね

二ツ木　渡邊さんはあれは僕の方で穴を知つて居るからで、何も知らない人はさうがん／＼打たれないと思ひます

永井　去年の早稻田に比較してやんと皆さんに打たれたと頻りに評判して居るのですが、渡邊さんの癖を皆さんが或る程度まで知つて居るかと云ふのでせうか

二ツ木　その點も少し位あるでせうね、僕なんかこの間入つたばかりですが、それでも渡邊さんのを三回ばかり打つて居ます

岡田　全部木の時に渡邊の球を出る者／＼皆打つた、六人ヒツトを打つた、それで渡邊與し易いと云ふ頭が出來たのですからね

永井　臺北はこの位に致しまして、次に臺中のチームに付て皆さんの御印象に殘つて居る點をお話を願ひたいと思ひますが

岡田　あすこの人達は身體も大きいし、將來仕上げれば物になるだらうと思はれるのが大分居た、あんな連中をOBにしろ、臺北あたりで仕込んだら宜くなるのぢやないかと思はれる連中が居ながら、結局あの程度で濟むんだと思ふ

赤木　チームワークが取れて居たですね

松木　弱かつたけれども氣持が宜かつた

岡田　あの壘押込めてしまふのは惜しいと思つた、コーチして貰つて居るのかと聞いたら、貰つて居ないと言つて居りました

永井　臺中はそれ位にして、臺南ですが、例の臺南農林……

岡田　今だから白狀しますが、あの試合で、グランドが非常に惡いのです、だからエラーが出たり何かして打たれました、實際弱つたですね、六對二かになつた、中學チームに對して投手を代へる譯には行かず困つて居ました、併しキヤツチヤーを代へて、ピンチを出して結局勝ちましたが、困つたです、一番宜いと思つたのは吳明捷と云ふあのピツチヤーです

松木　バツテイングが宜かつた

井野川　日本語は宜かつたね

岡田　しつかり行けとか、頑張れとか言つて居た

二ツ木　あゝ云ふ中學生のバツテイングは何ですか、斯うやつた方が宜いんですか、斯うの方が宜いんですか、どう云ふものでせうか

岡田　それは難しくなつて來るね、中學校として能率を上げた方が宜いか、將來に持つて行つた方が宜いかと云ふと、中學校としては、中學校としての能率を上げた方が宜いと思ふ

松井　あれは習つた通りしかやつて居なかつた、應用が一つもない

永井　赤木さん、嘉義の吳ピツチヤーですが、あれに對する御感想は如何ですか

赤木　さあどうですかね、投げ方をもう少し直さなければ駄目だと思ひました、腕と腕と離れるやうな所があつた

大阪大卸店案內

信用第一主義 顧客本位！
絶對信用して取引出來る [illegible]

小倉綿布 各種ズボン製造卸
大阪市此花區大野町
上原商店

春夏 帽子品揃
商店に限りカタログ進呈
大阪市東區內久寶寺町一丁目
田川一郎商店

◇十錢均一商品特賣◇
糸物組紐問屋
◇商報送呈◇
大阪市南區久寶寺町一
石田秀商店

旗・幕・幟
御用命を
大阪市天王寺區
大釋旗店

春物 荷揃
子供服
專門製造問屋
見本御請求次第
特別カタログ呈
大阪市東區谷町二
瀧本 合名會社

ボタン製造直卸
大阪市天王寺區
鈴木彌助商店

ワイシャツ カラー 製造卸
大阪市東區南久寶寺町
茅本商店

鞄 革具 雜貨 製造卸
合名會社 山田鞄工廠
大阪市東區

鹿印ネクタイ 洋裝附屬品
大阪市東區南久寶寺町
稻村商店

仕入は製造直賣の當店へ
大阪市天王寺區

ゴムバンド
村林ゴムバンド製造所
大阪市

合夏各種帽子 セルロイド 荷揃 婦人頭飾品
楠商店
大阪市東區

ベスト萬年インキ臺
◇商報進呈◇
森敬商店
大阪市南區

運動具製造卸
松葉屋商店
大阪市南區
カタログ進呈

たんせき ぜんそく

痰咳藥

咽喉のほがらかさ……

たんせき、ぜんそくに龍角散一服が如何に効果あるか、世評嘖々たるを見ても分ります。先づ第一に副作用がなくて如何なる人にも安全なること。次に藥効が適確で迅速いこと。香味良しきこと。而して最大特長とも申すべきは、肺炎、肺結核への變症を防ぐことにも合致するのであります。御常備切に祈ります。

龍角散

絶對に副作用なく
效果は最も迅速く
香味は最も爽快

龍角散の適應容體書
（咳嗽）たんにて常にゴホンゴホン惱む人
（喘息）ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
（氣管支）せき頻に出て夜中オチオチ眠兼る人
（流感）流行感冒より起るたんせきの人
（肺病）肺病にて常に力なきせき出づる人
（肺疾）たん臭氣を帶び時々血の交る人
（音聲）音聲のかれ又は咽喉の痛む人
（小兒）百日せき又ははしかせきの小兒

定價
二日分 二十錢
四日分 三十錢
八日分 五十錢
十八日分 一圓
四十日分 二圓
六十五日分 三圓

本舖 藤井得三郎
東京市神田區豐島町
振替東京 九一一番
電話浪花 四八〇〇番

▽全國各藥店にあり△

A7−13

神經疾患治療劑
チバ フイチン
The natural phosphorus reserve of the green plants, the active phosphorus principle extracted from vegetable seeds.
PHYTIN BRAND "CIBA"
(Calcium) magnesium salt of inosit... contains 22% of organic... assimilable...
Increase the appetite... Strengthens the...
PHYTIN

月經 催進劑
チバ アゴメンシン

一副作用なき注射及錠劑—

滿洲國政府 最初の國務會議

今後の統治方針に就き 腹藏なき意見交換

【長春十一日發電通】滿洲國政府は十日午後三時より國務總理鄭孝胥氏以下各部總長列席初の國務會議を開き今後の統治方針に就き腹藏なき意見の交換をなしお互に一身の榮達利福を犧牲にして新國家の健全なる發達と國運隆興のため渾身の努力をなさんと旺に氣勢を擴張、軍閥割據の舊弊を打破するを宣言し午後六時和氣藹々裡に散會した、それより日本帝國部の招待會に出席した

日滿兩國民が 交驩の大デモ

十一日奉天に於て

【奉天十一日發電通】滿洲國成立祝賀日滿兩國民交驩大デモは十一日午前十時から奉天で兩國市民總動員で盛大に開始された、この日未曾有の大デモに參加すべく新五色旗を打ふり詰めかけた民衆十萬人全市新國家を祝ふ裝飾をもつて彩られ、祝賀飛行機數臺は間斷なく奉天市上空を飛翔し、新國家祝福の宣傳ビラ數十萬枚を撒布し、奉天城內外は歡喜の どよめきに滿ち充ち、日本側は午前十時各學校生徒始め各團體一般市民等手に〳〵五色旗を打振り奉天神社に參拜し盛大なる新國家告祭が行はれた後、遙拜式を行ひ、天皇陛下の萬歲を三唱し、それより長蛇の如き大デモを敢行、祝賀塔アーチ綠門萬國旗で隈なく彩られた街道を萬歲を絕叫しながら軍司令部、奉天省政府を訪問祝意を表した、一方支那側デモは 約十萬 午前十時より大遊行を開始し、蜿蜒一里奉天省政府に到着、日支兩國民のデモ此處で落ち合ひ萬歲を連呼し祝し合ひ茲に祝賀の日滿兩國民大會は午後三時めでたく終了した、尚新國家成立祝賀講演會其他種々の催しものは本日各所で開かれ、瓦斯燈、電氣のイルミネーションに全市不夜城の觀を呈し幾萬民衆は深更に至るまで國慶の喜びに浸り切つた

大赦令を發布

執政令第一號で

【長春十一日發聯合】溥儀氏は本日執政令第一號で大赦令と窮民救濟令を發した

滿洲國の承認問題 臨時閣議で決定

十二日朝開會して

【東京十一日發電通】本日の閣議に於て芳澤外相より對滿蒙方針決定に關する研究事項を報告した

即ち、滿洲新國家に對する政府の態度を中心とし外交、軍事その他各般に亘る既存條約問題、借款問題、關稅問題、租借問題、郵便電信及び駐兵問題等今後帝國政府が新國家に於ける諸般上關係ありと見られる全項目に就て閣僚の意見を求めた、結局新國家承認問題は最も重要なものなれば十二日午前十時より臨時閣議を召集し更に協議を續けること となつた

十一日の 定例閣議

對議會策を協議

【東京十一日發電通】十一日の定例閣議は午前十時開會、臨時議會召集切迫に付き議會對策として貴族院方面及び與黨との關係その他に付き協議を行つた後、大角海相、荒木陸相、芳澤外相より上海に於けるその後の經過、滿洲新國家成立に關する狀況等を詳細說明し正午散會した

施政方針演說 行はず

閣議で決定

【東京十一日發電通】臨時議會に於いて犬養首相は議會召集に關する演說は行ふが兩議會は短かなる臨時議會なるため施政方針演說は行はぬ事に本日の閣議で決定した

井上日召も自首

警視總監官舍を訪うて

【東京十一日發電通】警視廳は昨年來井上日召逮捕に就き苦心惨憺してゐたが、本日午前十時十分突如警視總監官舍に現はれ「井上日召」と書いた 名刺を 差出し、總監に面會を求めたので、大野總監は直ちに面會せし所井上は この度の暗殺事件で自分を必要として居られる樣だが、若し自分で役立つものがあらうと思つて來たが、色々自分のことに就ては社會に誤報されてゐると述べたので總監は直ちに石森搜查課長を招致し井上を警視廳に護送したが、彼は[illegible]

端正な 姿をしてゐるが

足袋フェルト草履と云ふ頗る瀟洒し、この度の自首に對しては[illegible]したらしく、焦燥の色は見られない

落付き拂つた 日召の態度

宮城檢事正との問答

【東京十一日發本社特電】井上日召自首の日、日召が宮城檢事正を訪ひ挨拶した模樣は左の如くであつた

井上「私が井上日召です、どうも長々御厄介を御掛けしました」

檢事正「マーかけ給へ」と椅子を指さした井上は頗る落付いた調子で

井上「どうも出るのが遲くなつて濟みませんでした」

檢事正「イヤ僕は君が出るものと思つて待つてゐたよ、少し遲かつたね」

井上「まことに濟みませんでした、世間が餘り騷ぐので恐縮しました、第一新聞等は私を罪人扱ひにしてゐるのには憤慨しました」

檢事正「そりや誤解だよ、新聞と云ふものはニュースバリューを尙ぶのだ、やむを得ぬよ、誤解せぬがよい」

井上「よく分りました、新聞を誤解する事はやめます」

檢事正「さうし給へ、ついては一應警視廳に行つて貰ひたいから」

井上「どうぞ宜しく取計ひを願ひます」

と從容として寧ろわるびれなかつた

自邸に歸る團男の遺骸

五日、三井銀行玄關前で暗殺され家族に護られて自邸に歸る團琢磨男の遺骸（左方は同男夫人）圓內は捕はれた犯人菱沼五郎

團男爵暗殺は 古內が教唆

教唆罪は免がれまい

【東京十一日發電通】古內榮司の取調べは今日までの警視廳での取調べにて判明せるものは、彼は二月十五、六日頃芝本鄕西片町の井上宅方に居り、菱沼五郎と屢々會見し菱沼に團男爵暗殺を使嗾し、ピストルと金四十圓を與へたもので、その目的は日本國民黨の主義に依り既成政黨や財閥を倒さんとしたもので、教唆罪は免れぬと見らる

上海に出動した 米兵は撤退せず

米國國務省で決定

【ワシントン十日發電通】上海事件に際しマニラより出動した步兵三十一聯隊を駐屯地に歸還せしむべしとの議があつたが、米國務省は目下の所では撤兵はせざることに決定した、その理由は發表されてゐないが、この問題に就ては數日中に最後的決定を見ることが出來るものと傳へられてゐる、尙上海よりの報道に依れば上海方面の事態は依然平穩である

比島の海上で 加久丸燒く

米驅逐艦が曳航中

【マニラ十一日發電通】フイリツピン群島のミンドロ島西北方の海上で十日正午日本汽船加久丸は火災を起し、急報に依りマニラよりアメリカ驅逐艦急航し、目下同驅逐艦に曳航されてミンドロの西海岸に航行中であるが船體及び石炭は[illegible]中である

墜死三將士の 死體發見

【上海十一日發電通】去る二月五日墜死した陸井大尉同少佐芹川三等兵曹の死體は其後極力捜査中の所十日午後一時虞茹鎭の北五百米に墜落し現場より二千米南西にある支那人墓地內の十九路軍の戰死者の間に軍服のまま手厚く葬つてあるを發見した

賑やかに 朝日丸出港

【基隆電話】十一日出港の朝日丸は總乘客約七百名內臺北市內小公學校生徒內地見學旅行隊百六十名で小栗前內務局長夫妻の[illegible]とて見送りが多數にあつた又岸壁は旅立ちする、いとけない小公學生の見送りが盛んでテープの網を繰り見事であつた、乘客知名者は[illegible]社長安田安太、鎌田近衞師團長夫人、[illegible]

モダン・ボーイ大辻司郎

きのふ本社前で大濟まし

十日來臺した漫談家の大辻司郎君、十一日各所を挨拶廻り本社を訪問して社長室まで押しかけて漫談振りを發揮する、丁度朝日の寫眞班が[illegible]されてゐたのでそこは漫談家（大辻君は東京漫談界の[illegible]が本職）得意の[illegible]を發揮す。寫眞は本社前でタクシーに乘らうとするところ――「これでもモダン・ボーイだからね、エッヘン……」と濟ましたシーン。尚大辻君は十二日から四日間鐵道ホテルで漫談大會を開く筈

自動車を驅り 我兒を探す

リンディ大佐

【ボーブウエル十日發電通】リンディ二世の誘拐事件は好奇心の強いアメリカ人に異常な興味を與へ各新聞に一際にセンセーショナルな問題などはおつ放り出して書き立ててみたが、未だ犯人も皆目判らず、世人の熱もさめて來た、この間リンディだけは依然悲嘆の涙にならず一人自動車を驅つて搜索してゐる

中研技師と僞り 多數の婦人に暴行

就職を種に誘ひ出して 被害數十名に上る

昨年十一月頃より臺北全市を股にかけて婦女子を欺して外へ連れ出し山中、空家その他で暴行を加へた上女所有の貯金帳を 強奪する 大膽不敵な一本島人男が出沒するとの風評に接した北署刑事係りは淸水刑事主任指揮の下に犯人探索中のところ、二、三日前になつて市內大龍峒町一八〇番地假名張氏英（[illegible]）が又しも件の怪漢のために連れ出され市內大稻埕町の空家で暴行にかゝつたとの報に接し大捜索を續行、十日被疑者として市內下奎府町四丁目三四番地李春風（[illegible]）を逮捕して取調べた結果 右犯人で ある事が判明 昨年十一月より臺北市七星郡、文山郡、海山郡、新莊郡に亙り十數名の人妻或は處女に對し「私は中央研究所の技師で今回私の主任が或る科目の研究で女工數名を募集する事になつてゐるが私達なら君の先生に紹介して上げても良い、月給は少くとも四、五十圓はくれるから……」と巧妙に誘ひ出し暴行を遂げたもの自白した、目下餘罪多數ある見込みで[illegible]、蔡地、何、黄、李の五刑事係で調査中

犯罪の動機は 女性への呪咀

恐るべき犯人の自白

李春風（[illegible]）が斯かる大膽不敵な暴行を働くに至つた動機につき北署刑事係の取調べに對し李は恐るべき女人呪咀の聲を吐いて係官を驚かせた

私は初めは善良な人間であつたのです、今でも自分のこの行を罪惡だと思つてゐますが女性に對する呪咀からで止むなくやつてゐるのです、私の妻は元某醫院の看護婦をした事がありましたが在勤中私と結婚する前に他人のためにその貞節を蹂躙された事を知つたので私はこの汚濁せる社會に復仇し一般貞操觀念の薄い女性に復仇すべく決意したのです

日本刀泥棒

昨日捕はる

臺北南門町武德會臺北支部演武場から竊取された日本刀の行方に關し北署刑事係が搜索を續けた結果市內若松町三丁目五番地[illegible]が竊取した事判明し十一日本人を北署に逮捕し取調べた結果本人は[illegible]に屬する不良少年團員として威嚴を示すべく日本刀を武德會より竊取し部下の不良少年が云ふ事を聞かない時には例の日本刀の柄をたたいて見せては部下を威へつけ威張つて居たもの

門司鐵道の 火事

【門司十日發本社特電】本日午後五時半門司鐵道局[illegible]より出火し折柄の烈風に煽られて火は猛烈に燃え上り二階建[illegible]全部を忽ち燒き盡し更に木[illegible]の屋根に延燒したが各消防必死となつて喰ひ止め類燒を免れた、[illegible]一の損害であつた

新竹驛主催の阿里 山觀櫻會一行出發

【新竹電話】新竹驛主催阿里山觀櫻會の一行大田[illegible]士を初め四十三名は佐藤助役、酒井兩氏案內役となり十一日夜行にて出發十二日登山、十三日の終列車で歸新の豫定であると

基隆驛前の大騷ぎ

捨てたマッチから バス火災を起す

乘客運轉手車掌火傷を負ひ

【基隆電話】十一日午後五時基隆自動車會社所屬乘合バス第九百四十六號を運轉手元町一ノ八高[illegible]が操縱、車掌義重町五ノ二〇西本トシ（[illegible]）同乘して仙洞より驛前に至つた際、機關に故障を生じたので朝日町 車庫迄 押るべくガソリン不足のため運轉不能となり、ガソリンタンクの蓋を開けたところ乘客中の一內地人婦人がマッチの軸を投げ捨てたが床の上にこぼれたガソリンに引火爆發しシートに燃え移つて火災を起し乘客一同逃げまどひ窓から飛降りる等で一時は車中に物凄い叫喚の渦を捲起した幸ひ車庫が近かつたため職工連が消火器を持つてかけつけシート及び天井の一部を燒いたのみで消止めた、其際乘客から[illegible]部長等驅けつけた乘客は十名ゐたが何れも[illegible]であるが車外に 逃去る と同時に何處にか立ち去つてゐた運轉手及び車掌が顏面に火傷を負ひ乘客中內地人男一名顏面火傷、小學生一名が兩足に火傷を負ひその他にも四五名輕微の火傷を負つてゐるらしい事が判明したのみで何れも氏名不詳又燐寸を投げた婦人は國防獻金の菓子行商一行四名でこれ亦氏名不明なので目下基隆署で極力一同の氏名調查中である

機關車貨車を 露領に集中

東鐵ロシア 幹部が

【ハルビン十一日發電通】東鐵ロシア幹部は先般來密かに東鐵の機關車、貨車を東西兩線より露領に集中し居るが其の數機關車七十三、貨車千四百六十輛に達しこがため東鐵の運行に多大の支障を來し經營收入が激減してゐる

青年團幹部 講習會

臺北州が主催

臺北州では每年冬期淡水に於て州下青年團幹部に對し心身を鍛練せしむると共に青年團體に關する智識を涵養せしむるため講習會を開催して來たが本年は時局に鑑み特に國民精神の涵養に重きを置き其の第五回講習會を來る十四日から十九日まで六日間淡水において開催することとなつた講習人員は約六十名で講師は各方面の人々を網羅してゐる

チャップリン 埃及到着

カイロを見物

【ポートサイド十日發電通】六日ナポリ發の日本郵船諏訪丸で渡日の途に就いた喜劇映畫王チャールス・チャップリン氏は十日午前ポートサイド着、直ちに自動車でカイロ見物に向つたが、十日[illegible]スエズに先き同地から再び乘船

內地米穀市場 視察團募集

總督府米穀檢查所では今回內地米穀檢査並に米穀市場視察の爲め左記の要項により視察團を組織派遣することとなつた

その趣旨は本島米穀檢查は近年長足の進步を爲し內地方面の氣受も頗るよきがその需要も益々大ならんとする狀勢にあるも先進地たる內鮮米に比するときは尙改良の餘地尠からずその一方法として內地米穀檢查並に米穀市場の調查視察をなし以つてその狀況を審にすべしといふにある

視察は四月十日より十三日まで名古屋市に開催される大日本米穀會第二十五回大會出席をも兼ねるものにしてその出張事項及び日程左の如し

一、參加者は各出張所に一名は三月二十日までに米穀檢查所に申込む

二、視察員は出發の日たる三月二十五日午前十時までに總督府米穀檢查所に集合し[illegible]局長の訓示を受け同局長の指揮に因つて行動す

三、視察旅費は船賃、汽車賃、宿泊費及び雜費を入れて甲二百四十圓、乙百九十圓の見込

四、日程△三月二十五日基隆出帆△二十九日神戶米穀市場△三十日神戶糯米工場△卅一日大阪堂島正米部△四月一日大阪穀物米移入協會、大阪精米工場△二日京都米穀市場△三日岡山米穀所、岡山山田兵庫、岡崎立倉庫△四日新潟米穀檢查所△五日深川市場、正米協會△六日農林省米穀事務所△七日神田川市場、三菱倉庫△八日東京糯米市場△九日横濱米穀市場△十日名古屋（大日本米穀大會）△十一日同△十二日同解散

西門青年團の 防禦演習

臺北市西門青年團は團員四十名、役員廿名計六十名は不良分子盜人の設定の下に十二日午前六時から十時迄の間防禦演習を施行すると

竹南で現地戰 術演習

【新竹電話】臺北第一聯隊第二大[illegible]

防九に來臨の筈

土性前視學官 十六日離臺

先頃退官した前視學官土性[illegible]九郎氏は愈々十六日基隆解纜の大和丸で離臺する事となつた、因みに大稻埕文教局長等發起の記念品贈呈の寄附金募集は同氏を惜しむ小公學校職員其他多數の熱誠に依り時局柄にも拘らず、豫想以上の額に達した由

鎌田中將夫人離臺

鎌田近衞師團長夫人は十一日午後二時二十八分臺北驛發列車にて離臺の途に就く豫定であつたが、風邪のため自動車にて基隆へ向ひ朝日丸に乘船離臺した、在北將校夫人連は基隆まで見送つた、因みに上京後の住所は東京市麻布區三河臺町二四であると

臺北州募集の 土產品

應募百五十 餘點に達す

臺北州で懸賞募集中であつたみやげ品は去る五日を以て締切つたが應募數は豫想外に多く百五十餘點に達した、當局では審查委員を設け審查に着手し本月中に入選決定[illegible]

小栗一雄氏 きのふ大人氣で離臺

前內務局長小栗一雄氏は十一日朝日丸にて離臺したが、臺北驛へは[illegible]以下多數官民が見送つた、小栗氏は神戶にて上陸、二十日頃上京同行の矢野氏は東京へ直行、內務局長を迎へ同行歸臺[illegible]

小栗氏から謝電

十一日の朝日丸で離臺した前內務局長小栗一雄氏から本社に左の挨拶電があつた

在臺中は格別の御厚情を賜はり感謝に堪へず今なつかしき臺灣を離るるに當り厚く御禮申上げ官民各位へも宜しくを願ふ

大和丸より（來航）

[illegible]以來晴天、不穩なる航海つあり、同船の軍司令官、[illegible]其他多數[illegible]元氣、十二日午後零時半

（十一日基隆無電受信）

九皐會素謠例會

臺北九皐會では會員七名をかね三月十二日（土曜）午後七時より市內明石町[illegible]で例會を開く[illegible]

特別廣告

特に大名篇として臺北キネマリーグ推薦
パラマウント特作發聲映畫邦文字幕挿入
主演 マルレネ・デイトリッヒ、ゲーリー・クーパー

モロッコ

コロムビアレコード實演
春のおどり

店曝し
動物國の天使
ラヂオ

新世界館

島都臺北人氣の焦點！

愈々
今夕七時より
四日間公演

大辻司郎
漫談大會

（番組每日變更）

會員券
一般 一圓五十錢
學生 六十錢

會場 於 鐵道ホテル

漢文臺灣日日新報

一般委員會若不延期表決
則我代表欲退席棄權

十日壽府電。我代表部。反我要求。十一日午前十時半一般委員會。不延期時不拒絕出席。若於同會議表決。則要求表決延期。或不見容時。則欲退席棄權。英代表參列十二日故武利安氏葬儀。然後歸國。乘車票已豫約了。知我代表部決意堅固。午後九時起。伊曼總會議長。宰問陀事務總長等。就此問題再協議。

新國家承認及其他
十一日閣議討論之

十一日東京電。本日閣議席上。森書記官長。報告對滿蒙方針確定所關研究資料。即對滿洲新國家之政府態度。外交。軍事其他各般。既存條約問題。借款問題。關稅問題。租稅問題。郵便電信及駐兵問題等。今後帝國政府。於滿蒙有施設上關係之全項目。求閣僚意見。又新國家承認問題。乃最重要者。十二日午前十時。欲開臨時閣議。更爲協議。

首相於臨時議會
施政方針不演說

十一日東京電。臨時議會。犬養首相。關議會召集。欲登壇演說。臨議會乃僅軍事費議會。故不作施政方針演說。本日閣議決定。

一般委員會及總會
希延至回訓到著

十日壽府電。佐藤代表。十日午後四時。訪伊曼總會議長。本國政府決議案。須協議爲理由。十一日午前十時半。一般委員會及同日午後總會希延至回訓到著。

馬尼拉出動上海
美國步兵卅一聯隊
目下猶不撤兵

十日華盛頓電。上海事件。從馬尼拉出動之步兵三十一聯隊。有歸還原駐地之議。美國務省。目下決定不撤兵。其理由不發表。此問題於數日中。必最後的決定。又據報道。上海方面事態。依然平靜。

馮內政部長
聲明辭任
汪氏慰留之

馮玉祥氏。對汪兆銘氏。聲明辭內政部長。汪兆銘氏目下極力慰留之。

抗日派元兇
稟請外遊

十一日南京電。對日武力抵抗主張元兇陳友仁。計畫俱失敗。乃欲旅行海外。旅券已下附。其出發期猶未定。又戴天仇亦將巡禮南洋印度其他亞細亞諸國佛跡。昨日旅券已下附云

安保大將
視察戰跡

十一日上海電。安保大將十一日午前九時。吳淞戰跡視察後。訪問楊樹浦陸海軍飛行隊陣地。慰問將士。次到陸軍野戰病院。省問負傷兵。正午與軍司令部之。白川大將主催午餐會。午後歷訪各野戰病院

栃內大將
內定勅選議員

十一日東京電。海軍大將栃內曾次郎氏。內定推薦爲貴族院勅選議員。

新竹州爲裁教員
視學會議

新竹州下。十一日午前九時。集郡市視學于州廳。磋商本年度新教員配置。及本年度行事等。十二日

怪僧井上日召
訪警視總監邸自首

十一日東京電。警視廳苦心搜索。欲捕怪僧井上日召。本日午前十時十分頃。忽有以井上日召名刺。到警視總監官舍。求面會總監者。大野總監。即面會之。此次暗殺事件。似欲捕余。故來面晤。然余之事。被社會誤傳。總監即邀搜查課長。將井上護送于警視廳。彼戴中折帽。穿羽織袴白足袋草履。姿容端正。頗見憔悴。似焦慮今回之自首者。無志士之模樣也。

更從本年度施設事項。依配置新教員。秋裁現教員高給者云。

國防宣傳標
展覽會
十日開於舊府衙

國防宣傳標語展覽會。去十日午前九時。開於舊總廳舍。是日値陸軍記念日。來人入場者。陸續擁到。軍人學生。一般市民等。狀極雜沓。第一日入場者。三千六百名。又該展覽會。至十三日。每日自午前九時。至午後五時開場云。

基隆燈火管制
成績良好

基隆市陸軍記念日。去十日下午十時。開始演習。各團員就部署。假想敵動各處。銃聲殷殷。同十時十五分。鳴汽笛。告準備燈火管制。同二十七分起消燈。五分間畢。林司令官及統監部。幹部。上郵便局時計臺。監察全市。十一時集演習員于公會堂下。有軍司令官。講評解散。今回燈火管制。成績良好云

蘭領印度爲補豫算不足
包種茶增課附加稅
中外當業大受打擊

蘭領東印度政府。因世界的不景氣。歲入激減。爲此赤字補塡。決定對各國輸入品課稅。以爪哇爲中心之本島輸出包種茶。亦新課三成附加稅。若合從來附加稅。計爲五成附加稅。若更加輸入稅。則一箱徵收稅金九圓。際此製茶界不況時。大稻埕當業者。對此方面輸出。應大蒙打擊也云。

臺北州保安課
火藥講習

臺北州保安課。自去一日起。在州細菌檢查所。開關于火藥辦理之火藥商講習會。至去十一日告終。於午後四時。由奥田警務部長。高橋保安課長。南北兩署長列席之下。舉終了式。又講習員。臺北。基隆。宜蘭。花蓮港。臺北。嘉義。屏東等。亦參加。計二十餘名云。

滿洲國謝外交總長
爲人豪爽好飲廣交遊
篤念舊誼能爲桑梓造福
臺北郭廷俊氏談

新滿洲國外交總長謝介石氏。既正式就任。乃訪在北市民中。與之交遊最久而肝膽相照。如郭廷俊氏而叩之。欣然作懷舊談。略之如左。

謝介石君。余三十年來老友也。與先兄（郭廷猷氏）尤善。訂交之始。雖在新竹。而相親密。則在北京時也。自少抱大志。長詩文。明治三十六年。遊東京。爲東洋協會專門部。師事法政大學速成科通譯。且主日華新聞余政。其貌端俊。而性豪爽。好飲宏量。善與人交。大有千金散盡還又來之槪。當其時也。前滿政府。方派親貴子弟。來京爲學。並考憲政。其所交如朱家寶先生公子某。爲薦之先生。賴其說項於平津大人先生之前。比赴津門。爲警察學堂教習。會以廣交各界顯要之士。先兄適於其時與之同僚。晨夕同案。所由相親密也。四十一年余一日在東京下宿屋。準備歸裝。君忽過而力招泣言余懷中尚有千餘金。不須悲川資之盡。是後君渡中原。余歸臺島。二十餘年。不復見面。直至客夏。復晉諸新竹鄭鑾其君家。一見如故。是夜聯床。追懷舊事。藉以問所未聞。愉快實甚。不數日後。即見過訪。偕到草山。又共一夜之歡。翌日首途西渡。今聞佳信。不勝欣慰。即日發電遙祝。觀其待人篤念舊誼。將來提携多士。能爲桑梓造福。余確信之不疑也。

蔡第十九路軍長
服從中央外交方針

十一日南京電。第十九路軍長蔡廷楷。十日與羅文幹外交部長會見結果。關上海事件。完全服從中央外交方針。言明十九路軍。不單獨主張。

臺南州徒商
裁撤教員

臺南州關配置師範學校卒業生。欲裁州下高給教員。日前著手調查。計來十五日上午九時。集州下市郡視學于會議室。開教員配置及整理數等磋商會。該裁員數。擬二十三四日發表。又本年配置新教員。約六十名左右云。

嘉義模擬
市街戰
陸軍記念日壯觀

嘉義市內。去十日陸軍記念日。開模擬市街戰。松岡市尹爲統監。小學農林兩校配屬將校。伊藤在鄉軍人分會長。左藤郡守。手貝署長等爲審判。丹生大尉指揮。菱田中隊長引率在鄉軍人二百名。騎兵斥候六名。戰車二臺。荒川荒井兩中隊長引率。嘉義警察署。及郡警察隊。少年義勇隊。立正青年團。林大尉引率步兵一個中隊等。總兵員約千名爲攻擊軍。中學農林兩校生徒五百名。戶根本大尉指揮。爲防禦軍。堀川博士引率警察署員。消防組員等爲警衛及消防。午前七時半攻擊軍在驛前集合。同八時。煙火爲號。重機關銃輕機關銃各一臺。戰車隊二臺。進入市街。兵隊一齊進軍。防禦軍在川中時計店前。受戰車隊猛擊。退至中央噴水。極力防禦。八時五十分。展開猛烈市街戰。同時救護班消防組等。假想有火災。四處活動。未幾防禦軍再退至公園。忽由屏東飛行聯隊。飛行機一臺。入市內空中。投下類似爆烈彈。九時三十分。統監部發號令。各軍戰鬪中止。集合于公園球庭。舉閱兵及分列式。十時三十分。松岡市尹發辭。三唱萬歲解散云。

臺中庶民組
貯金半折

既報臺中庶民信組。前因共濟部組合長時代。有不當貸付金。二十餘萬圓。爾來回收。不能如意。而一面貯金額。現在額達三十萬圓。若照原則辦理。任聽支取。勢必至於倒閉。組合役員。協議結果。乃向臺中法院。申立和議。法院對貯金者。經發和議告知書。指定和議管財人高橋遠山兩辯護士。債權屆出期間。限至來十五日。債權者集合期日。訂定來二十三日。付議條件。係債權額。減爲半折。及全部免除利息。對此半折金額。限至昭和十年一月末。分四回支拂十分之六。餘四分。則俟組合。若有剩餘金。乃年々撥還。但屬予新寄。即自昭和五年十月四日。門後之貯金。則無干累。得全額取回。惟寄於共濟者。無不死焉云

臺南州
產業調查會
籌設進步

臺南州六年度事業。豫定實施之產業調查會。其事業規模。互廣大範圍。大體已認定。而就實施事項十一項。各別基本調查。要爲相當愼重研究。表面上雖未至著手。然就既決定事項各項。州部及郡部。各委囑專門的委員。對其後仮命項目。得就調查研究。又第一著手者。擬在山地開發所關事項云。

時評

◯國府外交部。應承重光公使。直接交涉。他日理論如何。固難逆料。然觀國府當路。表示此意。兩國前途。有可望矣。

◯蔣介石君。視察前線。審知我軍無再進意。國府應承直接交涉者。其爲此乎。

◯陳友仁。戴天仇諸人。決定外遊。蔡廷楷。尤聲明服從中央外交方針。謂於交涉前途。有好影響可也。

◯傳單煽動國人背叛。或諷刺蔣爲退去。似此違法非理之行動。不論左傾右傾。俱宜嚴懲之。

臺南州下
魚苗凍死

去月下旬中。南部地方。因寒氣嚴烈。安平附近養魚池內。虱目魚々苗。凍死若干。又北門郡口湖庄。凍死魚苗五萬三千尾。價格一千三百二十五圓。北門郡七股。將軍兩庄。百六十二萬尾。價格三萬二千四百圓。東石郡布袋庄。並其附近。四十三萬尾。價格八千六百圓。又其他海岸地方。有多少被害。如斯多數之凍死者。爲近年稀有之事。當業者欲回復之甚難。明年虱目魚價格。諒必昂騰云。

賭博爭論
斬人足指
嚴緝加害者

臺北市外下內埔路上。去十日下午。有本島人三名在路傍賭博。因金錢關係爭論格鬪。下內埔人王來年二十一。左足指被斬斷三枝。即昇入赤十字醫院治療。南署接報往查。判明加害者。爲富田町人程金水。年二十四。目下嚴緝中云。

臺南州農會
獎種豚養鷄
派技術員巡回

臺南州農會。新年度種豚改良事業。擬與支會提携。努力于飼養及獎勵。增加經費若干。管內種豚育成所。配布種牝豚。種牡豚即拂下於一般當業者。對防遏傳染病。及指導飼養管理法。配布生產豚等。更加努力。種豚育成所經營。凡六十八處。成績優良者。交付獎勵金。其他六年中。州下一般豫防豚疫。作州家畜救濟事業。在必要地域。施行注射。以防未然。又養雞改良事業。仍決定繼續實施。在種畜場。飼養州下適合優良種。更由中央研究所農業部。受入種卵。賃付孵化育雛。使一般當業者觀覽。以資飼養管理法向上。雛即拂下于畜產組合。一般希望者。豫定三千三百二十隻以上。對疫病防遏在各支會。設備血淸。疾病時期。後爲診療。藉以減少損耗率。而飼養管理指導。每派技術員巡回。實地指導。或講話等。力圖當業者知識向上云。

聯合青年團
結團式

嘉義郡下聯合青年團結團式。十日午前十時。在嘉義公園內運動場舉行。來賓州堀內視學。郡佐藤郡守。大澤視學。及各學校職員列席。出席聯合團男子二團。計十五團。人員四百二十名。又有特別團員四十名。爲教員所組織。定刻整列。大澤視學開式辭。次國旗揭揚。合唱團歌。聯合團長佐藤郡守式辭。堀內視學訓示。田之頭民雄公學校長朗讀綱領。畢舉分列式。開始體育。至十二時閉式。參拜神社後解散云

臺南州下
獎勵栽果
得督府補助

臺南州農會。本年度中。決定獎勵栽培果樹。與支會連絡。協力活動。種類乃同州下特產品。文旦。斗柚。白柚。諸柑橘類。同會自昭和三年度。得督府補助一千七百五十圓。當初計畫。配付柑苗二萬七百株。就中一千株。農會苗圃養成。不足額。向優良苗木配商購入。以上全部配付於農家。務期生產能力擴大。配付豫定數白柚文柚各四千株。斗柚二千七百株。又再充實模範柑橘園能力。將府補助二百圓。其他熱帶果樹獎勵。山農會苗圃。採取果苗。對各農事團體。無償配付。一般農家希望者。即以便宜價格分配云。

臺北州聯合同風會
青年幹部指導講習
本年爲時局置重軍事

臺北州聯合同風會。每年于冬季。招集州下青年團幹部。于淡水海水浴場。爲心身鍛練。並研磨青年團經營所關知識。開講習會。而本年爲鑒于時局。特爲置重于涵養國民的觀念。爰開第五回青年團幹部指導講習會。會期自來十四日至十九日六日間。開于淡水海水浴場。講習員六十名。講習科目。及講師如左。

一、在世界我國之地位與國民覺悟那須州教育課長一、日華關係與中華民國現狀會田臺日記者一、滿蒙問題及上海事變之眞相淺井大尉一、青年團經營及處時局之青年團員覺悟橫尾州教育係長一、青年團事業與產業組合平川州囑託一、唱歌赤尾三高女囑託一、體操小橋川三高女教諭。其他科外講話。一、就神及神社參拜而言山宮司一、丁抹之農民生活岩滿州內務部長一、本島青年團運動之歸趨佐々木府教育係主任一、最近內地青年團之活動松木基隆中學校長一、本島青年團員之奮起田中通信社長一、生活改善與經濟生活之基調鈴樹淡水郡守一、警察之本質與警察官之使命竹內同郡警察課長一、新聞之使命與其效用大澤臺日主筆一、就青年期之衞生渡邊州警察醫。以外談話者。一、軍隊之話福田少佐一、滿洲事變實見談關心奉閣部幹事一、被使于滿洲田中樺山少年團青年健兒。又指導員。爲瀧野淡水郡視學。柿原同小學校長。新井同公學校長。遠山同公學校訓導等四氏云。

三高女移轉將解決
敷地在葬儀堂後約二萬坪

第三高女移轉問題。新得解決。該問題。因該校比他校。々舍狹隘。栽縫室理科教室。亦告不足。現在敷地中。不能增築教室。小野校長。自大正十四年就任以來。熱望增築。每年樹計畫。向州陳情。卒不見實現。昨年六月。賀陽宮殿下視察同校。御覽運動場之時。亦曾言狹隘。不過有庭球場。陸上競技無論不得。今也。志願者激增。又周圍不宜。校舍依然舊態。故昨年七月。平山知事。檢視之時。確認必要。移轉問題。遂見具體化。議選候補地。於臺北市外。或七星郡下。抑何郡下。種種物色。在校長意見。要在市內。離臺北驛不遠之地。且顧慮將來。大臺北市。欲選勅使街道沿道之地。然無適當之處。迨最近。選定三橋町葬儀堂裡水田總面積一萬餘坪土地。向州當局。土地所有者。直接交涉。在州當局。因爲學校用地。對土地所有者。務使應價放手。然在所有者。則不然。殊如問題之地。非一箇人所有。蓋屬許丙。張園。徐乃庚諸氏等外數人之物。其中唯許氏夫人。三高女出身。最先以無條件承諾。然其他仍不肯。結局若價格八圓。則肯放手。至數日前。契約成立。然州當局。因無現款。欲以土地交換。爲此問題。更難解決。其中多要現金之人。然由雙方妥議。不日似得圓滿解決。其後唯俟總督之認可云々。

自動車組合總會

臺北州自動車營業組合。于來十四日午後二時。假明石町警察會館。開第十回定時總會。而總會終了後。新開組合員懇親會云。

新高山附近
開鑿道路
櫻花已漸開放

阿里山至新高山。延長三里半。臺南州當局。自昭和七年度。擬與嘉義郡協力。開鑿道路。俾自動車往來。經費二萬圓。工事完成後。自兒玉山針葉樹林。經楠梓仙溪。抵新高主山。僅費十分間。若由嘉義出發。二日間。便能往復。又水裡坑至八通關延長十八里。自數年來。已計畫開鑿。州土木課早川技手。一行十二名。定來十五日起。三個月間。入山實地測量。開此線路。不依登山道路。另爲選定路線。仍使自動車。得爲交通。目下阿里山氣候溫暖。塔山眠月間。石楠花一葉蘭。及沼之平一帶。吉野櫻等。本月下旬。開花正盛。一年中登山。以現時爲最適宜云。

新刊紹介

▲臺灣經濟研究會。本期發刊雜誌。揭載西澤稅關長。所論臺灣對南洋貿易。並比島與本邦。與華僑關係者。

▲臺灣社會經濟調查所。本期發刊雜誌。其內容略下。社會政策學。之方法論問題。臺灣社會經濟史。同農業問題。千九百三十一年回顧。其他資料。

詩壇

謁太宰府菅廟二首　霄帆　西川鐵

廟宇森林鬱。神威似昨臨。
萬梅環淨域。仰見一聯碑。
宰府尊菅廟。四時人似雲。
歲同明月曜。德與古梅薰。

二首各用梅。及官賞。便是高處。　潤菴漫評

英米滙水	十一日
英米電滙	三弗六二仙二分一
金塊行情	十日
上海金塊	六四六兩
銀塊行情	十二日
倫敦現物	一七片八分七
同　先物	一八片一六分一
紐育現物	二九仙九〇分
同　先物	三一仙八〇分
對外滙水	十一日臺灣銀行調
倫敦電信	一志九片
紐育同	三一弗二分一
孟買同	一二五留比
新嘉坡同	一二二圓
爪哇同	九〇盾
馬尼剌同	一四六圓
上海（參考）	八九兩
漢口參考兩	七九兩
廣州同	八二圓二分一
廈門同	八二圓四分二
福州同	八二圓四分二
香港同	八三圓
汕頭同	八三圓

本日起上映三日
上海聯華影片公司特作
桃花泣血記
主演者　阮玲玉。金焰。
永樂座

登錄商標　味の素

打麻雀與食菜羹同。麻雀無好牌。當無興趣。菜羹不用味の素。即無好味。

あぢのもと
味の素
登錄商標

近有假貨頗多
請認明眞商標

宮內省御用達　味の素本舖　鈴木商店